バンカラウォーカー
スプラトゥーン3
エキスパンション・パス
ハイカラシティ／サイド・オーダー
BancalaWalker
ファミ通責任編集
by Splatoon3
Side Order Special
巻頭特集
ネリバースの歩き方
スケルトーン大図鑑
トキメキ☆秩序の世界の大冒険！
スペシャルエピソード
イイダ＆ミズタ
グラビア
マンタロー
（すりみ連合）
週末おでかけMAP
ハイカラシティ＆
ハイカラスクエア
気になる情報をスクラップ!!!
バトルステージガイド
総力取材 ありがとう!
グランドフェスティバル!!
GRAND FESTIVAL
Splatoon3
エキスパンション・パス
ハイカラシティ／サイド・オーダー
イカ世界の
この本を
翻訳したよ
ステージ・フェス・
音楽・ファッションなどなど
『スプラトゥーン3』の
設定資料の集大成
バンカラ地方の発展は日々目覚ましい
トレンドをおさえたいなら迷わず読むべし！

2024 DEC No. ∞∞

CONTENTS

P052

P073

P257

Dramatic Days in Orderland

巻頭特集

トキメキ☆秩序世界の大冒険！

ネリバースの歩き方

ハイカラスクエアによく似ていながら、
カラフルな色味も心をときめかせる喧噪もない"ネリハース"。
秩序に縛られた空虚なこの世界の魅力を発信するべく、
編集部はハチこと8号たち一行が切り拓いた道を辿った。
なお、現地は敵のスケルトーンだらけなので、
お出かけの際は細心の注意をされたし。

道を切り拓く探求者

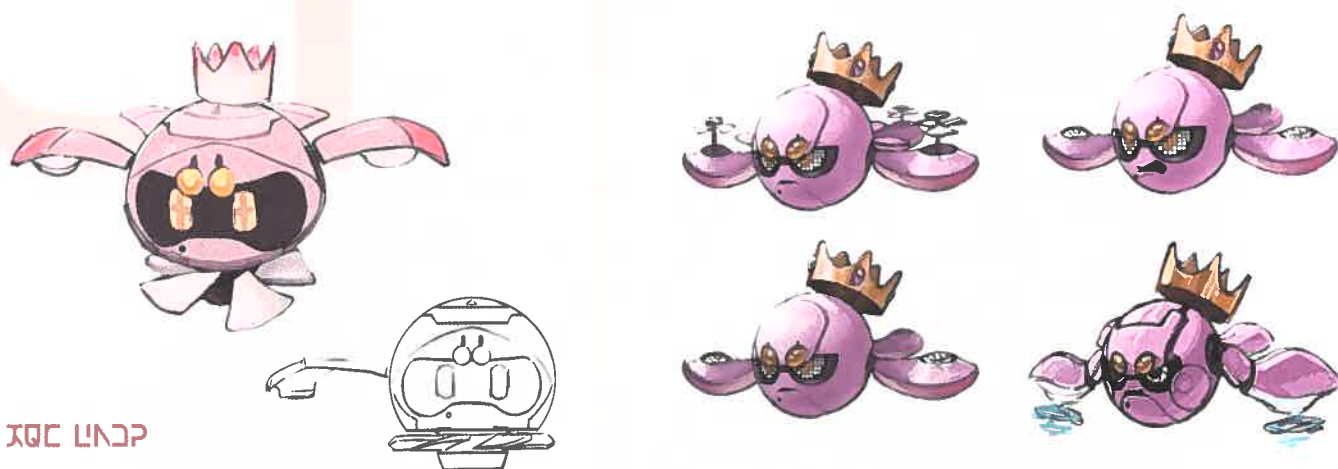
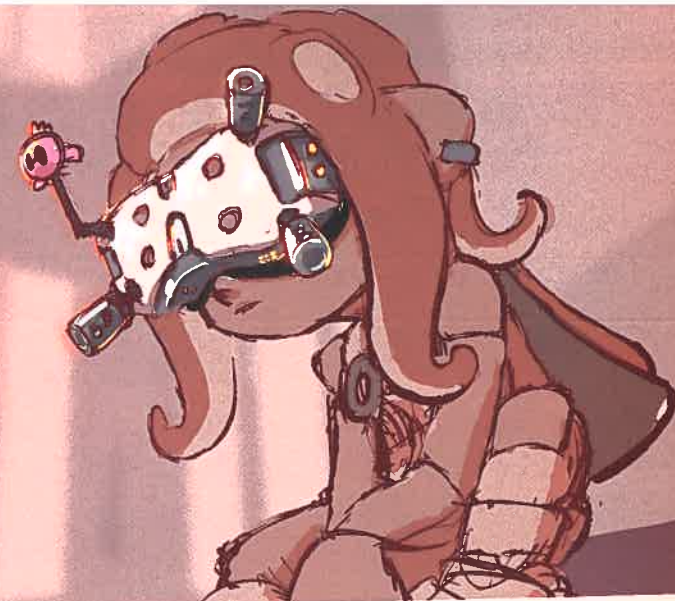
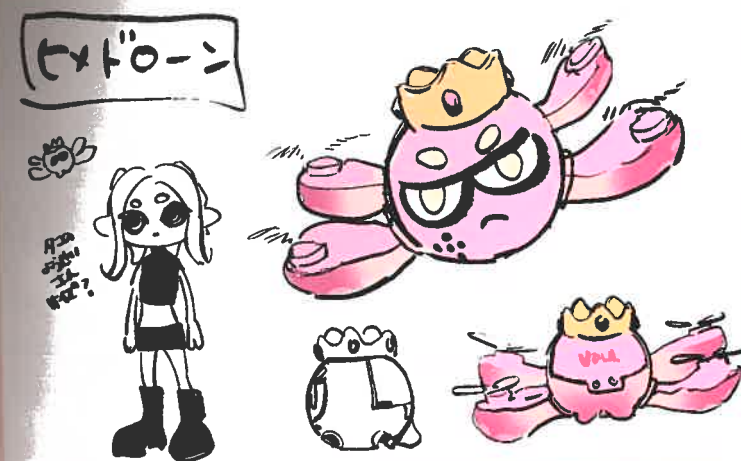
ハチ／8号

ひょんなことからネリバースへとやって来た、ハチこと8号。パレットとカラーチップを活用して塔の頂上を目指すことに。身に纏うギアはシンプルかつデザイン的で、機動性抜群。やや無口だが正義感があり、内に秘めた想いはアツい。

ハチとゆく

Hachi/No.10008

ハチの相棒 ヒメ／ヒメドローン

塔の中で、ヒメはなぜかドローンの姿に。この姿になった理由は本人にもわからないようだが、超高性能マシンで、ハチの戦いをアシストしてくれる。眉毛や目の動きから伝わる喜怒哀楽は、ヒメそのもの。

Hime/HimeDrone

drone megaphone laser

[ドローンバッテリー]

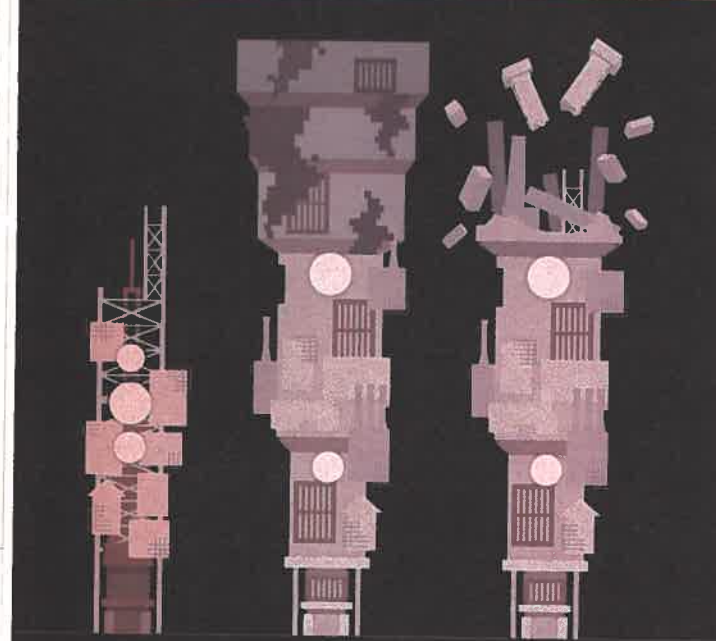
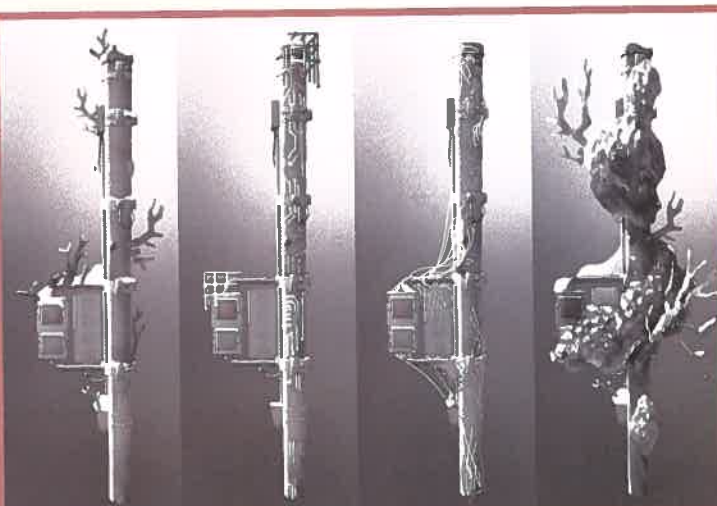
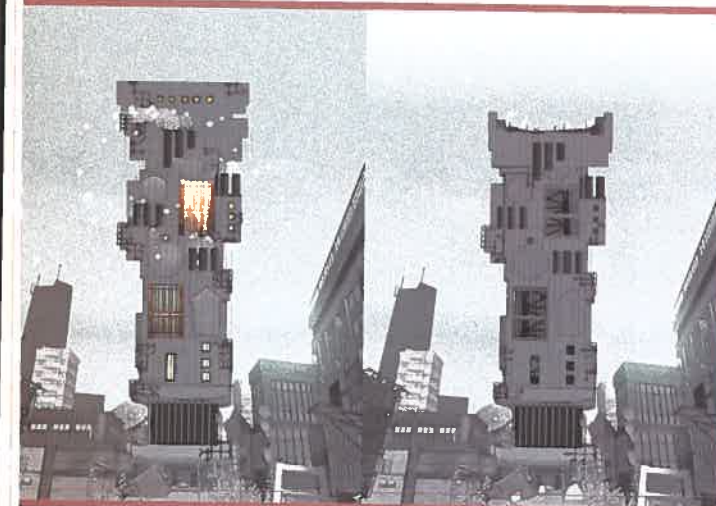
disk parts

Drone Battery

Order Sector

ノンカラ処理に生きる。

秩序の街

無表情で無口な住人たち、白化したサンゴ、舞い散る白い灰、耳が痛くなるほどの静けさ……。"秩序の街"には、まるで来訪者を拒絶するかのような雰囲気が漂っている。そして、そんな世界を黙って見下ろすかのようにしてそびえ立つ"秩序の塔"が印象的だ。

秩序の世界の住人

街を行き交うのは、ハイカラ地方やバンカラ地方では見かけることのない珍しい種族たち。ただじっと虚空を見つめるその表情は変化に乏しい。秩序の塔の近くにはユメエビが店を構えており、店にはここでしか手に入らないフキやギア、オキモノがずらりと並ぶ。

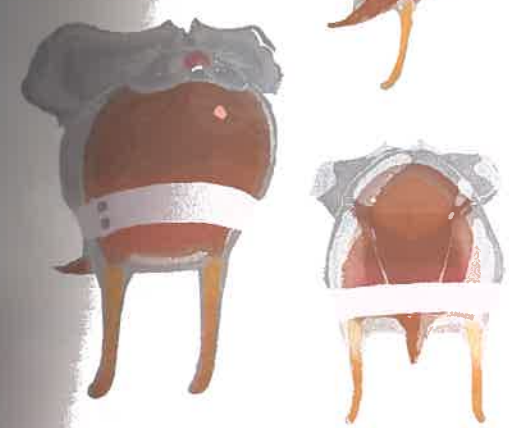
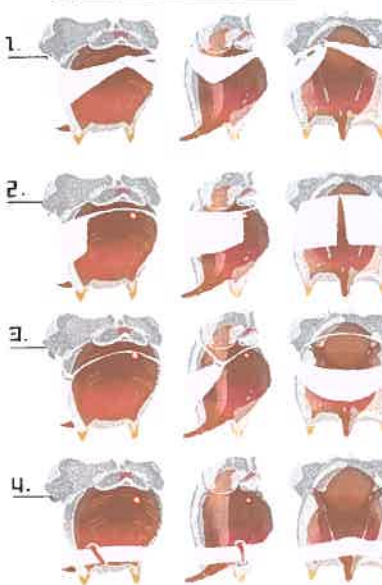
［イソギンチャク幼生］　［コリケウス］　［ソエア］　［ユメエビ］　［カイムシ］　［モンストリラ］　［クリイロカメカイ］

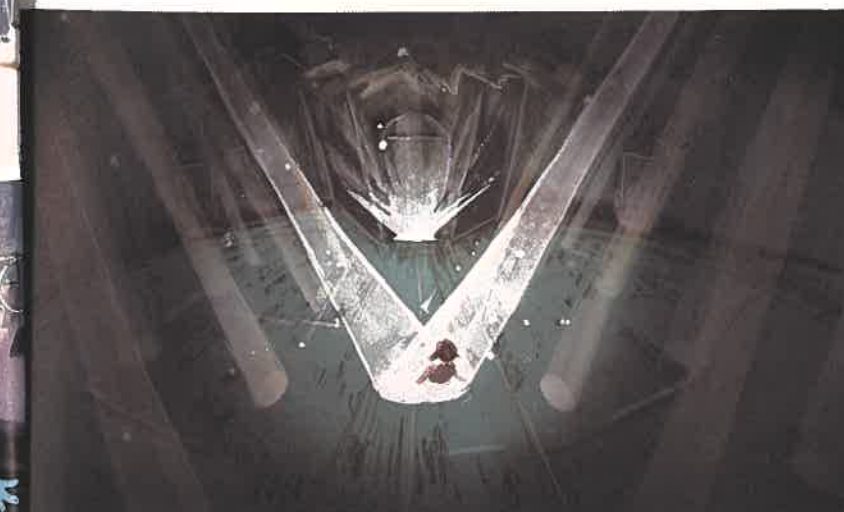
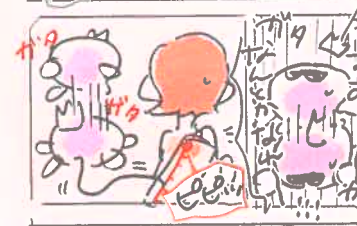
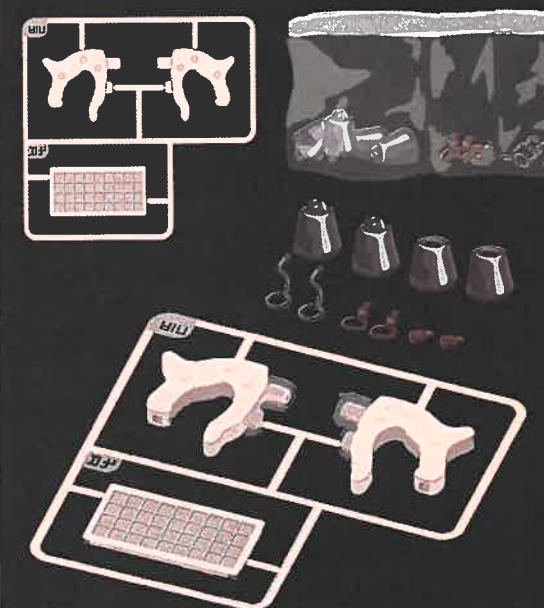
ゾエア

イソギンチャク幼生

モンストリラ

コリケウス

クリイロカメガイ

ユメエビ

秩序の塔の入り口を潜り抜けると、目の前に広がるのは巨大な空間。軽快な音に合わせて光が踊り、街にはなかった華やかさに気分も思わず高揚する。塔へ入る前の肩慣らしができるので、使用したいパレットを選択してブキの特性を掴んでおくのがベスト。

エントランスからエレベーターに乗ると、中にはタコゾネスの姿が。どうやらハチとヒメよりも先にネリバースへ迷い込んでいたようだ。エレベーターは放っておくと勝手にどこかへ行こうとするため、中で待機しているらしい。

イイダの旧友 ミズタ

Mizuta

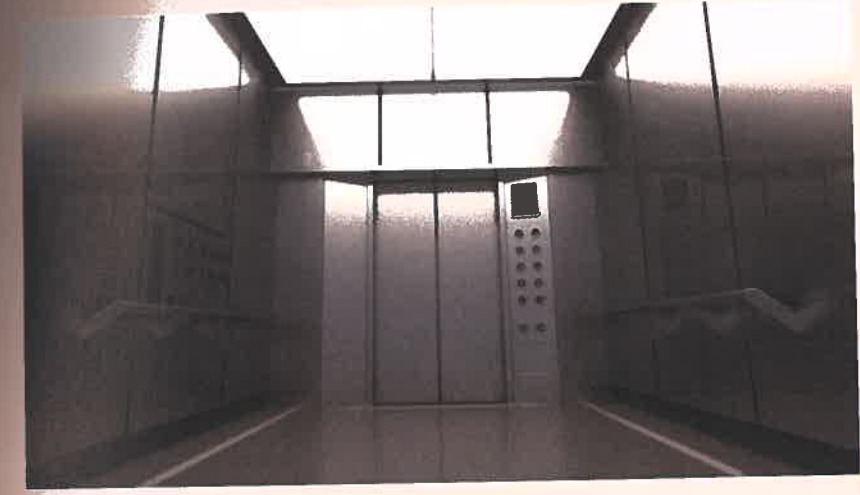
エレベーター

んじゃー とりま 最上階へレッツゴーだ！

何も言わずに出て行って
ホントにごめんなさい

それが、このエレベーターは1階ずつしか上がれないンダ

お、やっとわかったか？
ハチはスゲーだろ！

センパイ、カッコいい…

さて、今回は
ドコまで行けるカナ

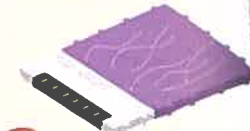
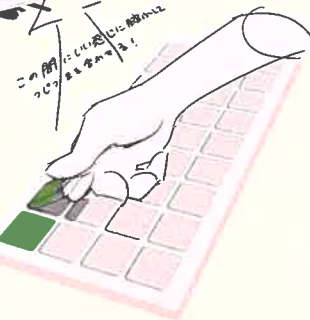
無理はすんなよ、
ハチ！

HEY ハチ、
そろそろ次のフロアの準備を始めヨウ

え～と、ガンバです！

そういえばミズタ、
昔ワタシが作ったゲーム覚えてる？

ったく、ワールドツアーの最中だってのに

強化ガジェット パレット&カラーチップ

塔内部の探索に欠かせないパレットとカラーチップ。パレットは全部で12種類、カラーチップは6つのカテゴリごとに、それぞれ8〜13種類存在する。どのチップを選択したかによって髪の色やギアが変化するのがおもしろいところ。

POWER

RANGE

LUCKY

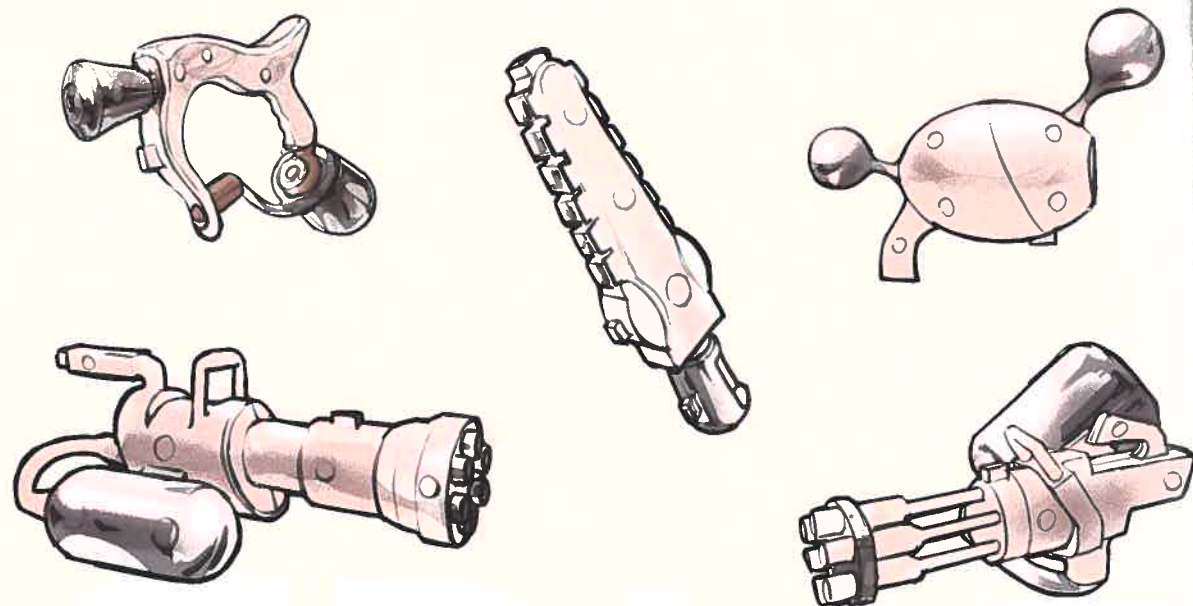
SUPPORT

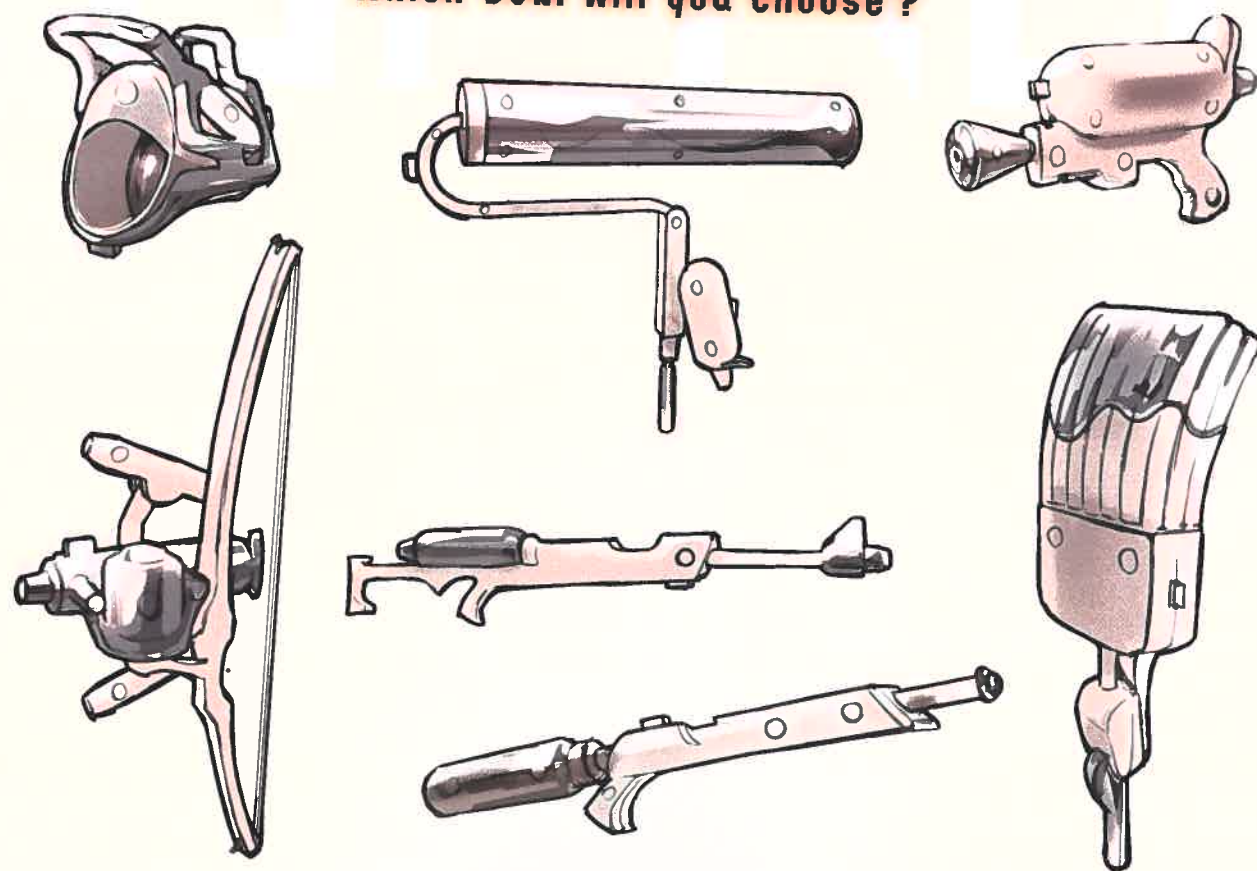
MOVE

DRONE

Hacking>>>OK!

ブキ BUK

塔の内部へ入る前に、必ずパレットを選択してブキの
ブキはナワバリバトルなどで見かけるものと違ってシ
形状をしているが、カラーチップで性能をアップグレ
るスグレモノだ。自分好みにカスタマイズしよう。

どれにする？

Which BUKI will you choose?

[マニューバー] GPNG 01

[シェルター] GPNG 02

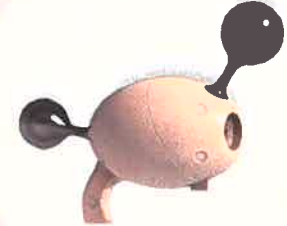
[シューター] GPNG 03

[ローラー] GPNG 04

[チャージャー] GPNG 05

[ストリンガー] GPNG 06

[ワイパー] GPNG 07

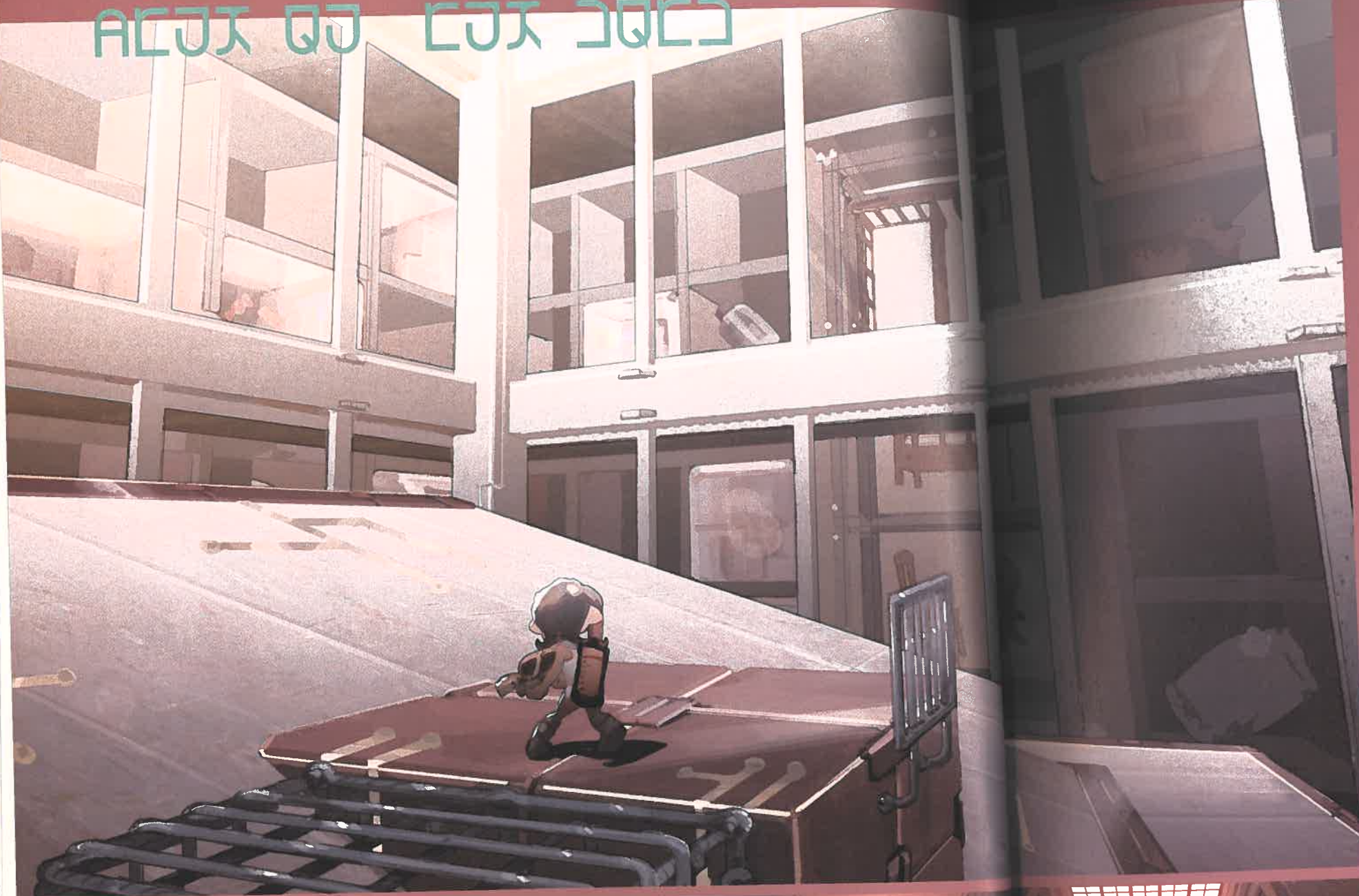
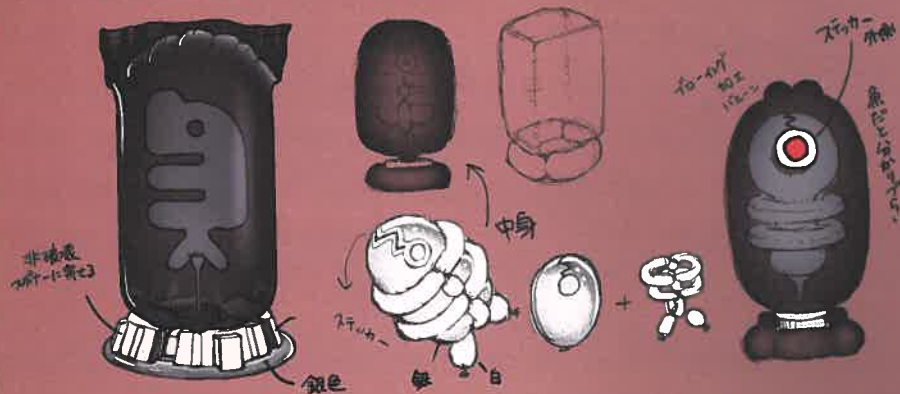
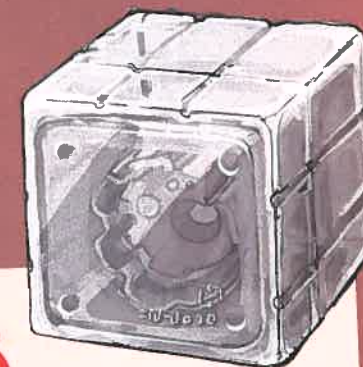
[スロッシャー] GPNG 08

[ブラスター] GPNG 09

[ブラシ] GPNG 10

[スピナー] GPNG 11

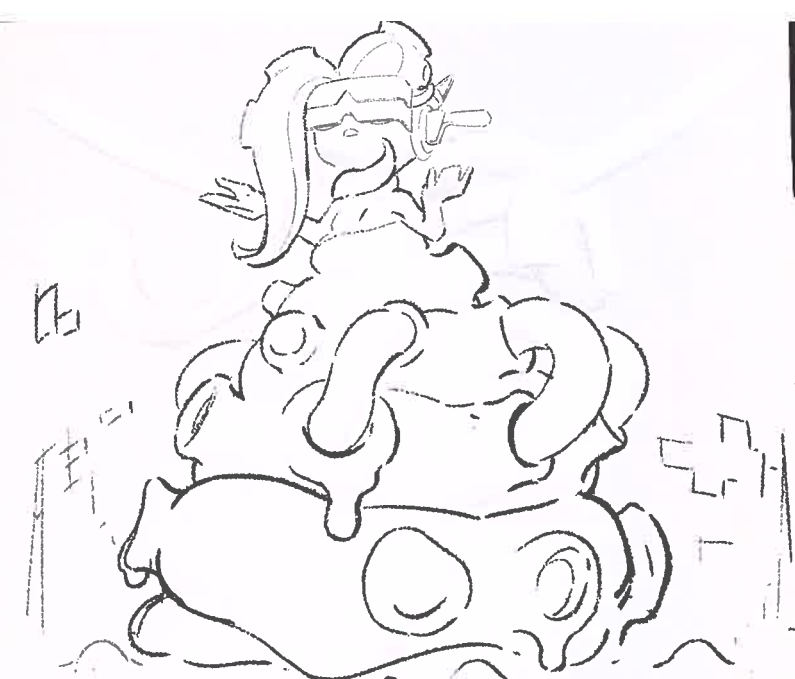
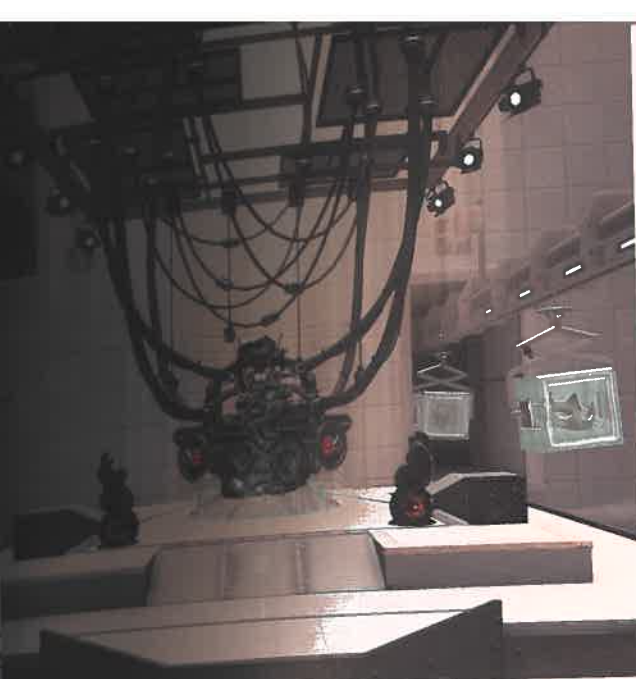
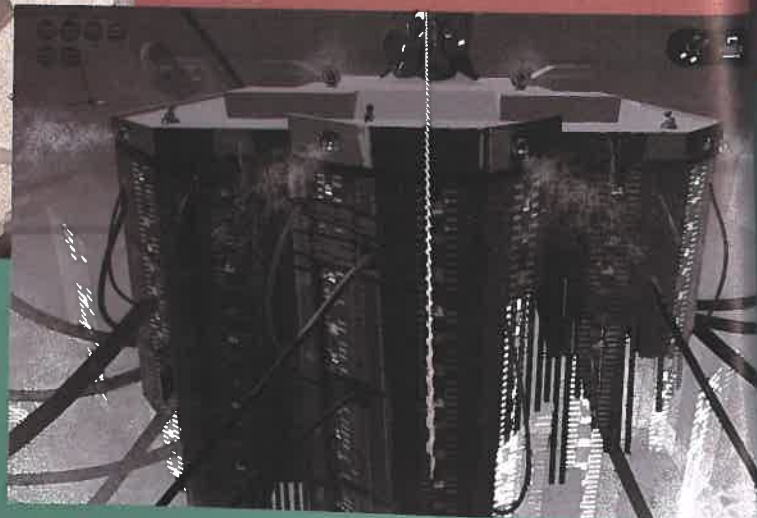
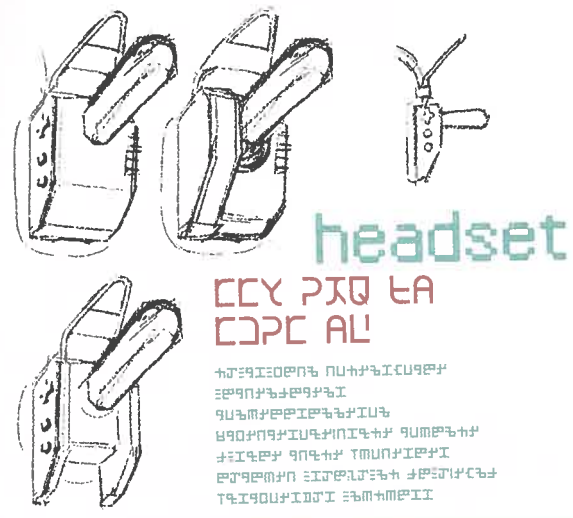
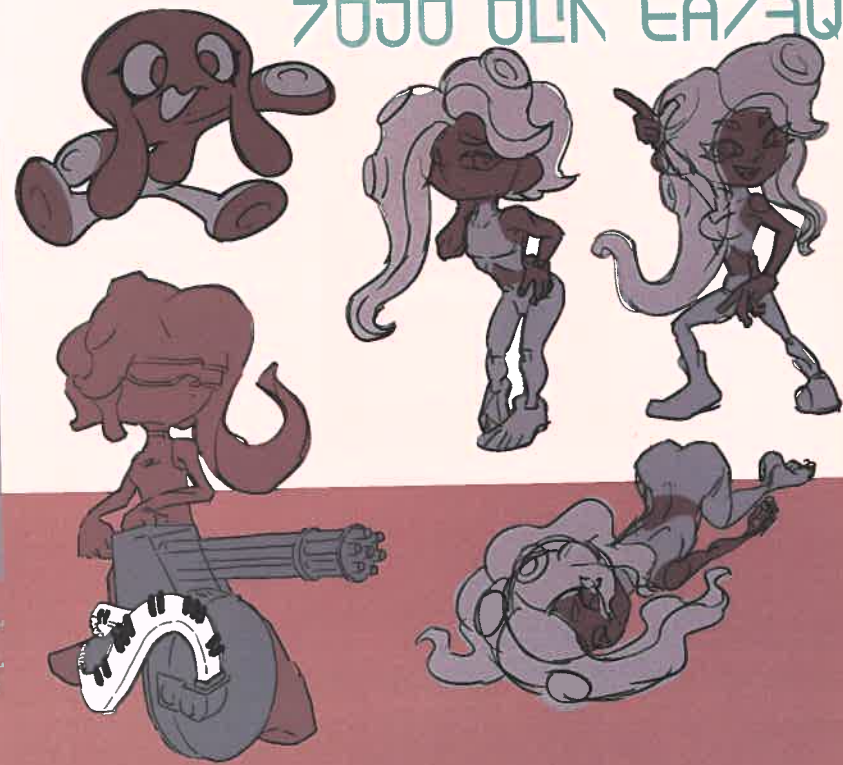
[シューター] GPNG 12

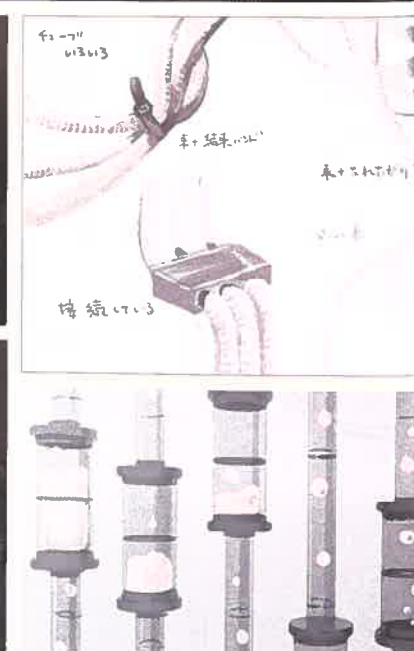
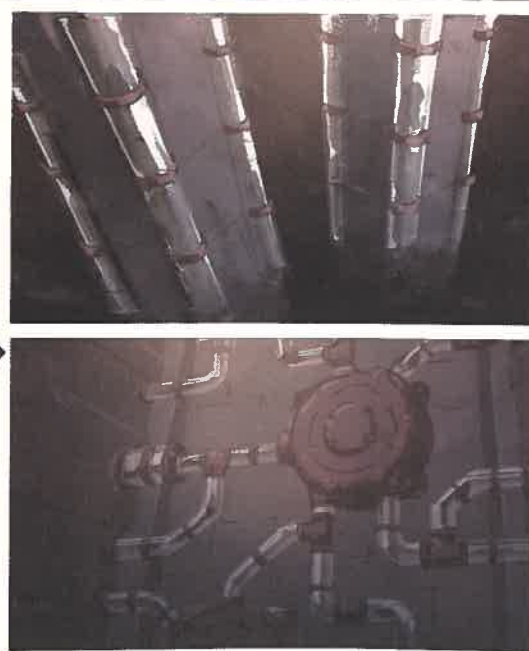
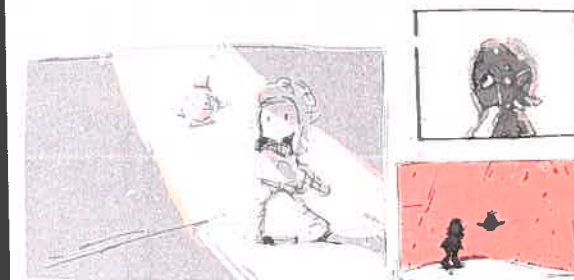
最初の塔

ネリバースに着いて最初に探索することになるのは、10階層からなる塔。周囲をよく見てみるとブリスターパックにも似た容器が並んでおり、中身は子どもの頃に遊んだようなぬいぐるみや三輪車といったおもちゃばかり。一体、なぜ容器に入っているのだろう。

最初のボス イイダ・エジタン

BOSS

IIDA Esitando

10階のコントロールルームに辿り着くと、中央には不思議な物体が。よく見れば、それはなんとイイダの姿。怪しげな機械に拘束され、自我を失っている様子のイイダは、"秩序の…い" としてノンカラ処理を施そうとしてくる。

塔の下層

最初の塔を踏破すると塔の形状や内部構造が変化し、異様な禍々しさが纏わりつく。新たに構成された塔の下層部ではパイプを流れるおもちゃが巨大な加工機でパック詰めされて、ベルトコンベアで移動していく様子を確認できる。

塔の中層

パックに詰められたおもちゃが黒い溶液に浸されて中身が確認できないほど真っ黒に加工され、さらにベルトコンベアでどこかへ運ばれていく。壁にはプログラムのバグのような乱れも生じており、おどろおどろしさが漂う。

ボール

プロペラヤグラ

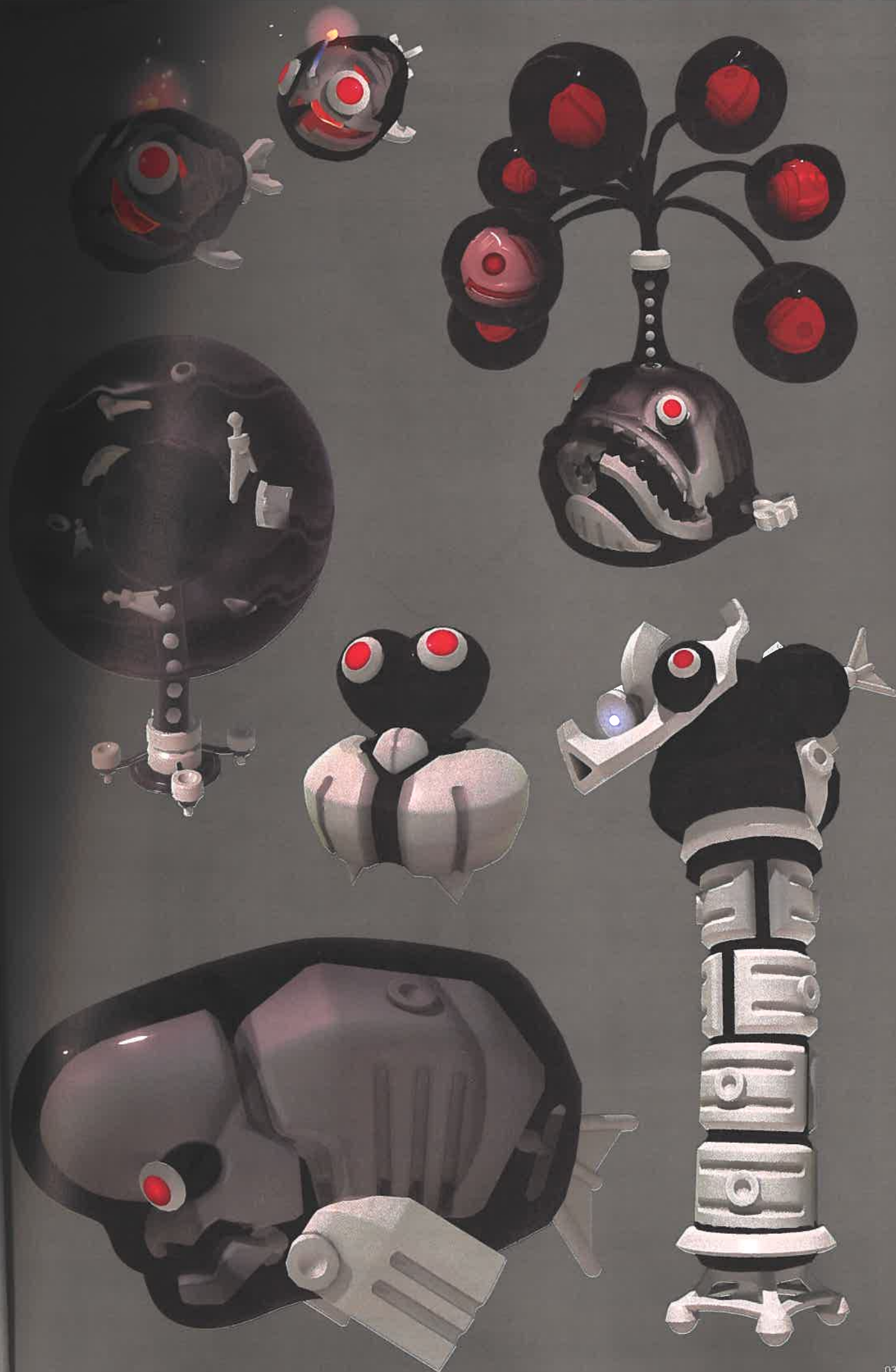
塔の上層

黒いパックは巨大な機械で粉状にされ、送風機で塔の外へ排出されているようだ。街に降り積もっていた粉の正体はこれだろうか。そして、塔の上層はプログラムが構築されていないかのように、バグさながらの乱れも激しくなっている。

自販機

塔には自販機が置かれたフロアがあり、カラーチップやスペシ
ウェポン、シンジュなどが販売されている。自販機のフロアもそ
の内容もほぼランダムだが、見かけたら休憩を。周囲を魚のよう
ホログラムが周遊している様に、じんわりと心が癒される。

[スケルトーン] 大図鑑

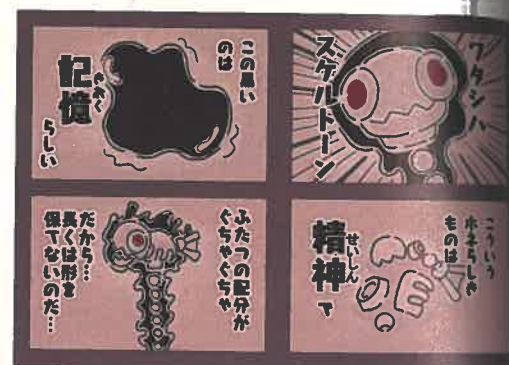
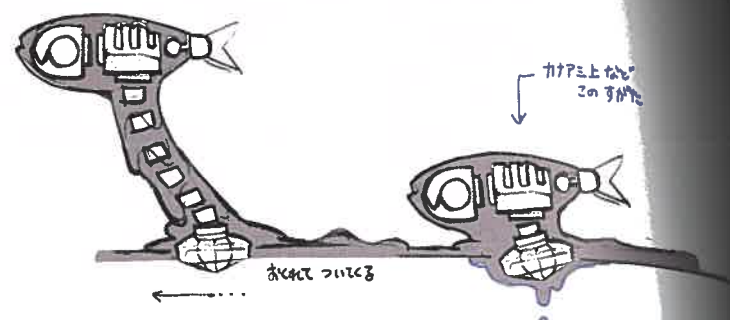
ネリバースに生息する魚のような敵“スケルトーン”を調査。生物研究者によるスケッチを交えながら、形状や行動パターン、習性など、生態について細かく見ていく。新たな発見がきっとあるはず!

群れるラングエンド

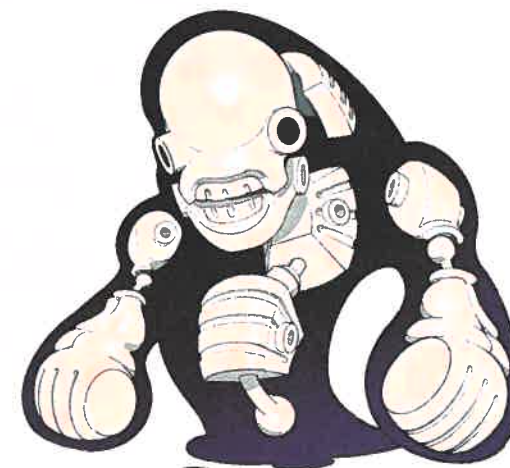
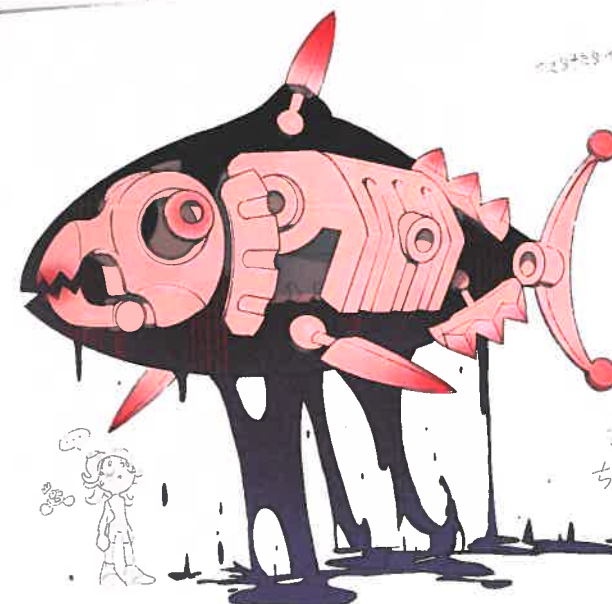
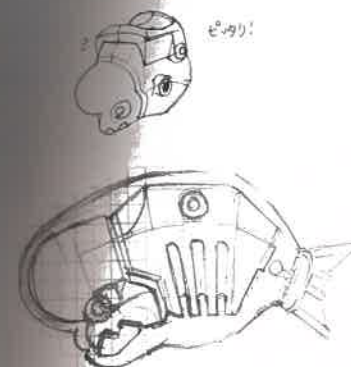
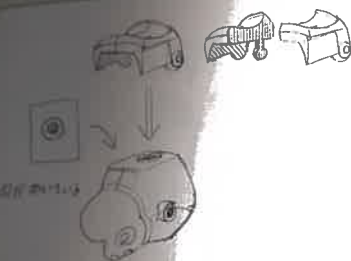
分類 骨魚目ラングエンド科

分布 どこでも

群れをなして大量に出現することが多い。鎖に似た部分の長さはバラバラだが、敵を見つけると縮みながら追いかけてくる。追いかけてくるスピードはかなり素早い。

制圧するグラーヴェ

分類 骨魚目グラーヴェ科

分布 どこでも

動きは緩慢だが、大きな体で重い頭突き攻撃をしてくる。仲間を背中に乗せるやさしさを持ちつつも、目の前にアンダンテがいると思わず頭突きしてしまう。ボールを見ても夢中で追いかけて頭突きする。

行進するアンダンテ

分類 骨魚目アンダンテ科

分布 どこでも

体の大きさ、移動速度、攻撃力のいずれもラングエンドとグラーヴェのあいだ。意外と体力があるので囲まれると厄介。ラングエンド、グラーヴェと同様に一定時間経つと興奮状態になりスピードアップする。

ポータル

分類 骨貯蔵目ポータル科

分布 スケルトーンが集まるところ

スケルトーンを排出する器官。ダメージが蓄積するごとに少しずつ大きく成長し、一定値に達すると周囲のスケルトーンをも巻き込む大爆発を起こす。

撒き散らすカプリチョーソ

分類 骨魚目カプリチョーソ科

分布 よく塗れるところ

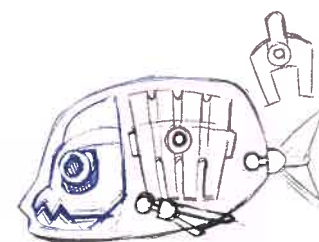
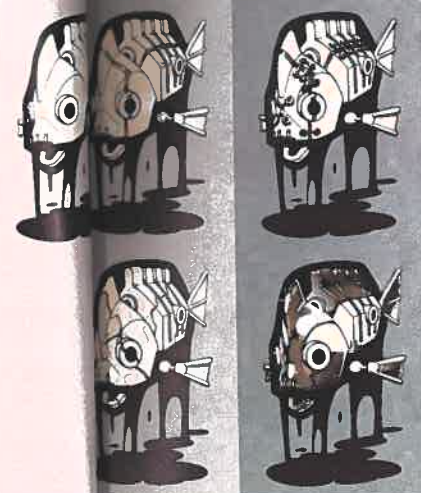
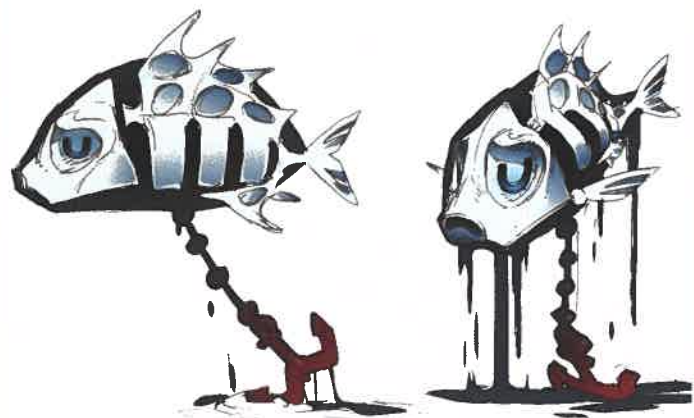
飛行タイプ。頭頂部のインク噴射口がプロペラのように回転し、周囲にインクを撒き散らしながら移動する。四角で区切られたエリアを塗るのが好き。

疾走するアラマンボ

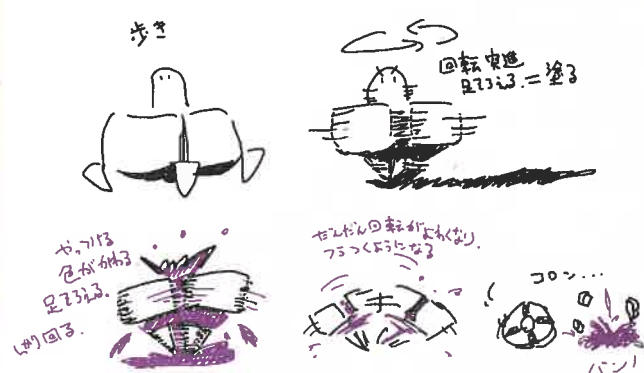
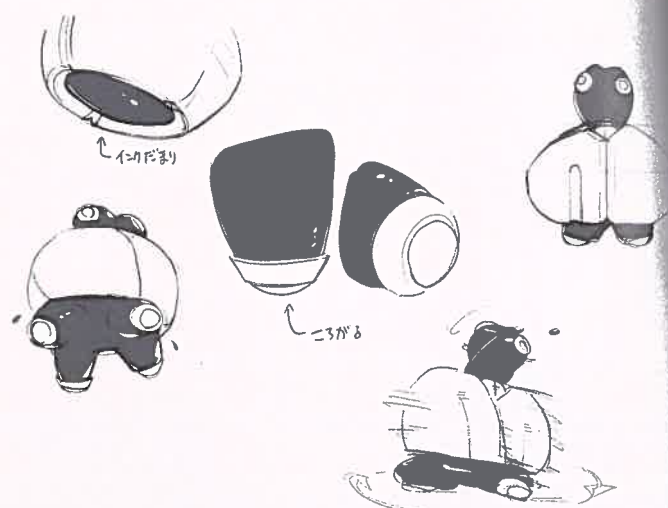
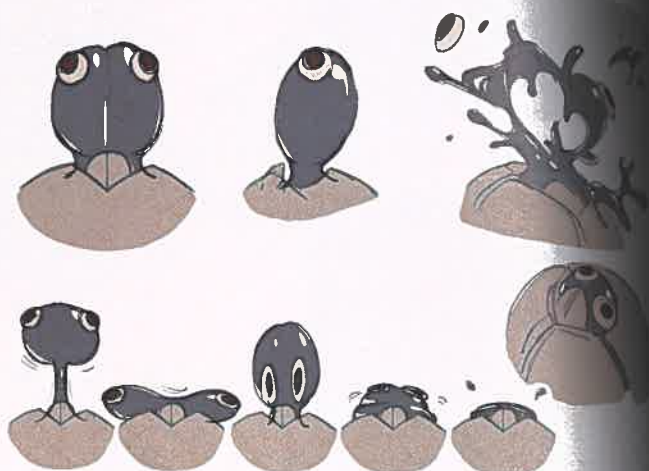
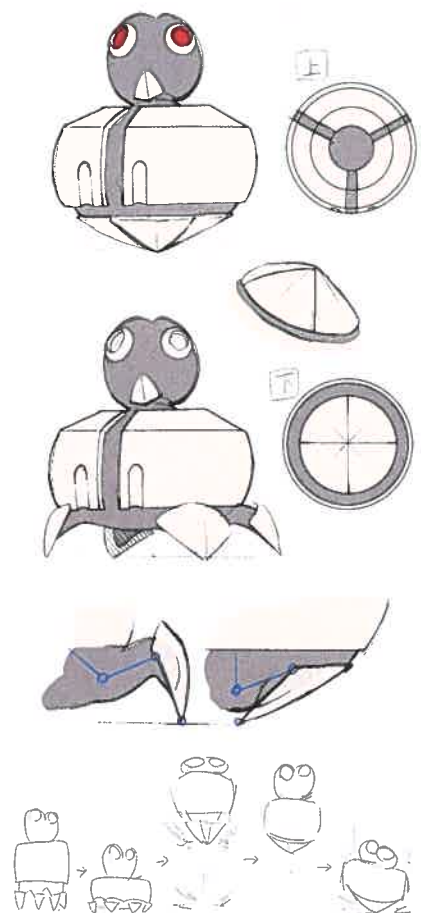
分類 骨魚目アラマンボ科

分布 タコがいないところ

大きな車輪が特徴。タコとボムの存在に気づくとものすごいスピードで逃走するが、仲間以外のインクに乗ってしまうと大幅にスピードダウンする。

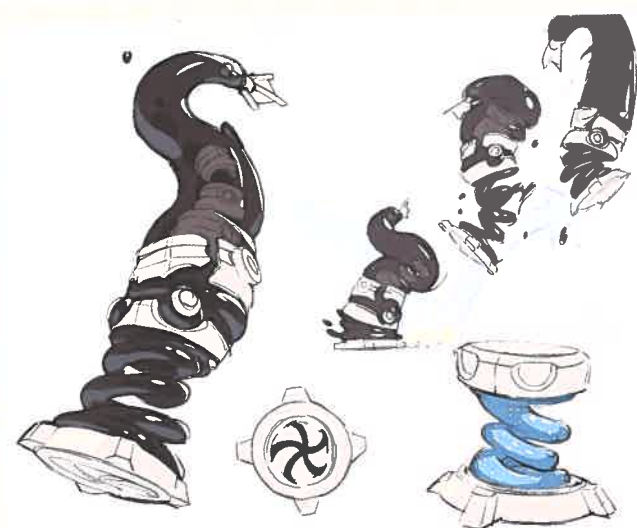
反射するコラパルテ

分類 殻貝綱コラパルテ科

分布 はね回れるところ

非常に硬い外骨格を持ち、そこから頭部だけが飛び出している。頭部を隠して高速回転しているときは、手がつけられないので近寄らないのが賢明。

伸縮するスピッカート

分類 伸縮目スピッカート科

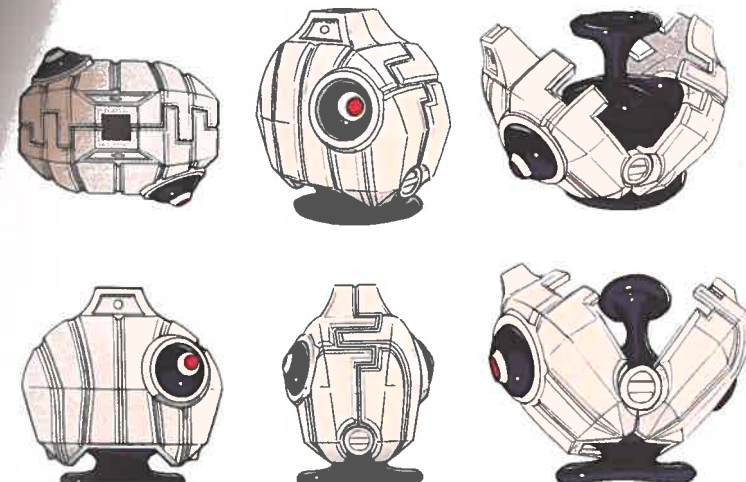
分布 ピョンピョンできるところ

バネのように細長い形状をしており、高いジャンプが得意。本体が消滅したあとに残るジャンプ台に触れると、空高く跳び上がることができる。

噴出するトリオンファーレ

分類 殻貝綱トリオンファーレ科

分布 ピューピューできるところ

体内からカプセルを生み出して何度か吹き上げたあと、対象物にカプセルを射出する習性を持つ。吹き上げの最中にカプセルを壊されると自爆してしまう。

スケルトーン大図鑑

産み出すアッコルド

分類 骨魚目アッコルド科

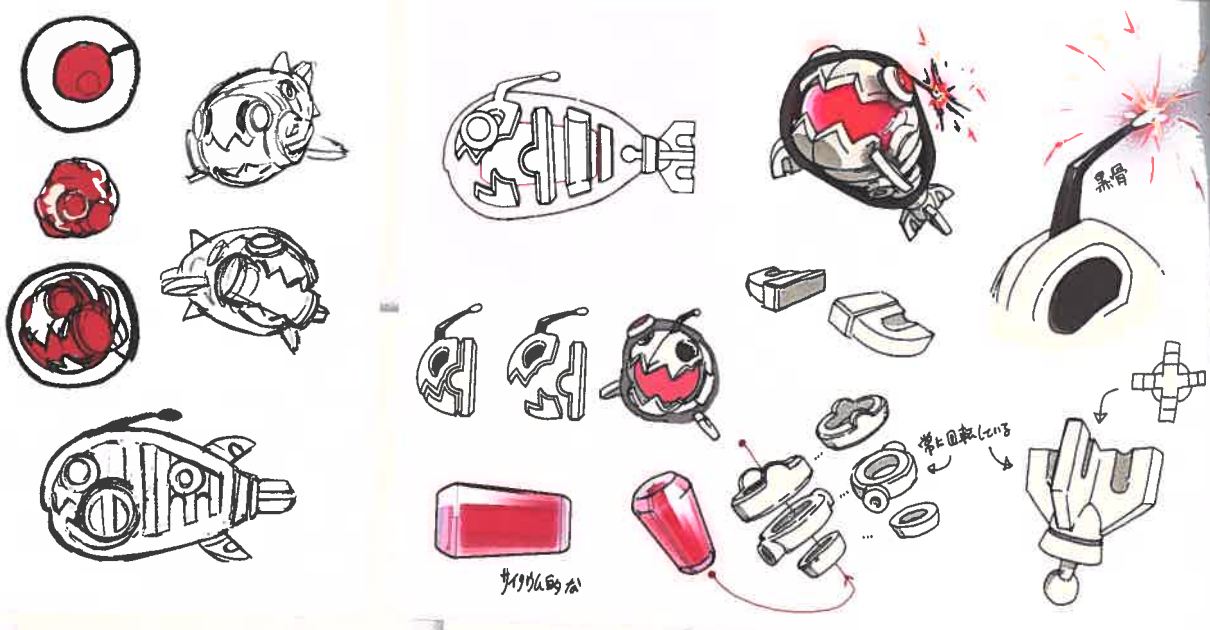
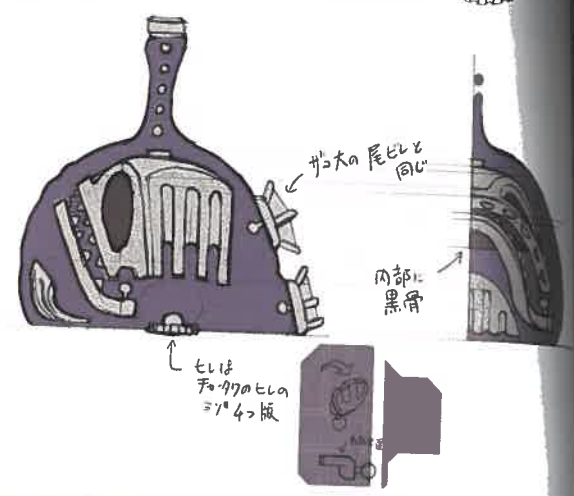
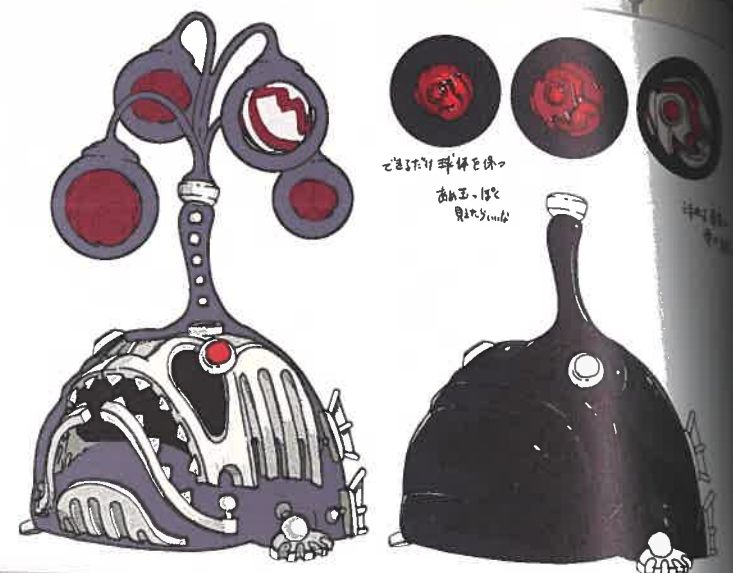
分布 見晴らしのいいところ

頭部から伸びる実が育つと、対象物めがけて飛んでいき爆発する。本体はとても硬いが実は柔らかく、すべての実が破壊されると本体もろとも自爆する。

飛来するアルペジオ

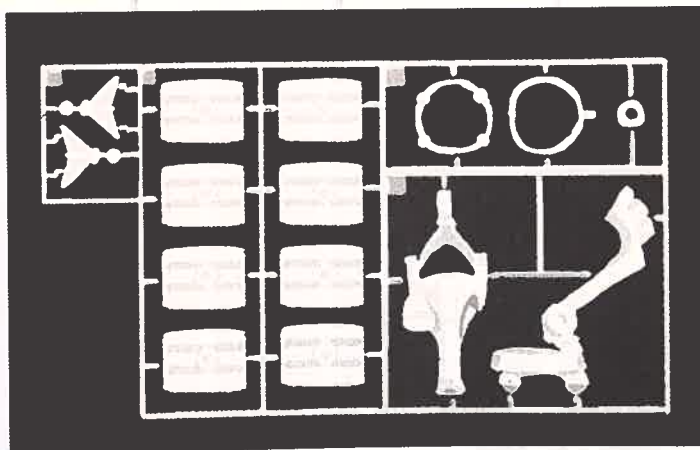
分類 骨魚目アルペジオ科

分布 産み出すアッコルドの近く

アッコルドが排出する実から出現し、ミサイルのように飛んでくる。飛行速度はとてもゆっくりだが、当たった瞬間に爆発を起こして周囲にインクを撒き散らす。

そびえ立つノビルメンテ

分類 骨魚目ノビルメンテ科

分布 見晴らしのいいところ

[illegible]目のスコープで対象物を狙い、警告音とともに長距離狙撃をしてくる。体を攻撃するとだるま落としのように短くなっていくのが特徴。弱点は頭部。

COLUMN なぜなぜ な〜ぜ?

スケルトーンのひみつ

Q. どうして骨なの?

それはね… A.

Q. どうやって動いているの?

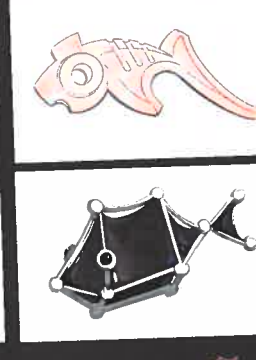
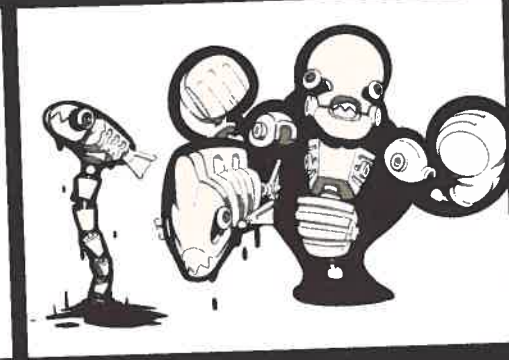
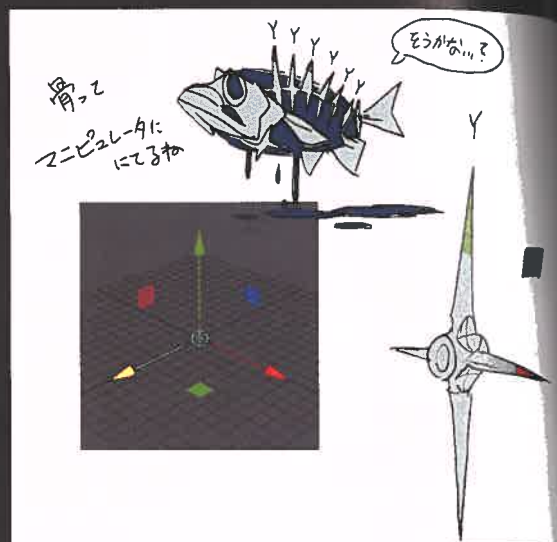
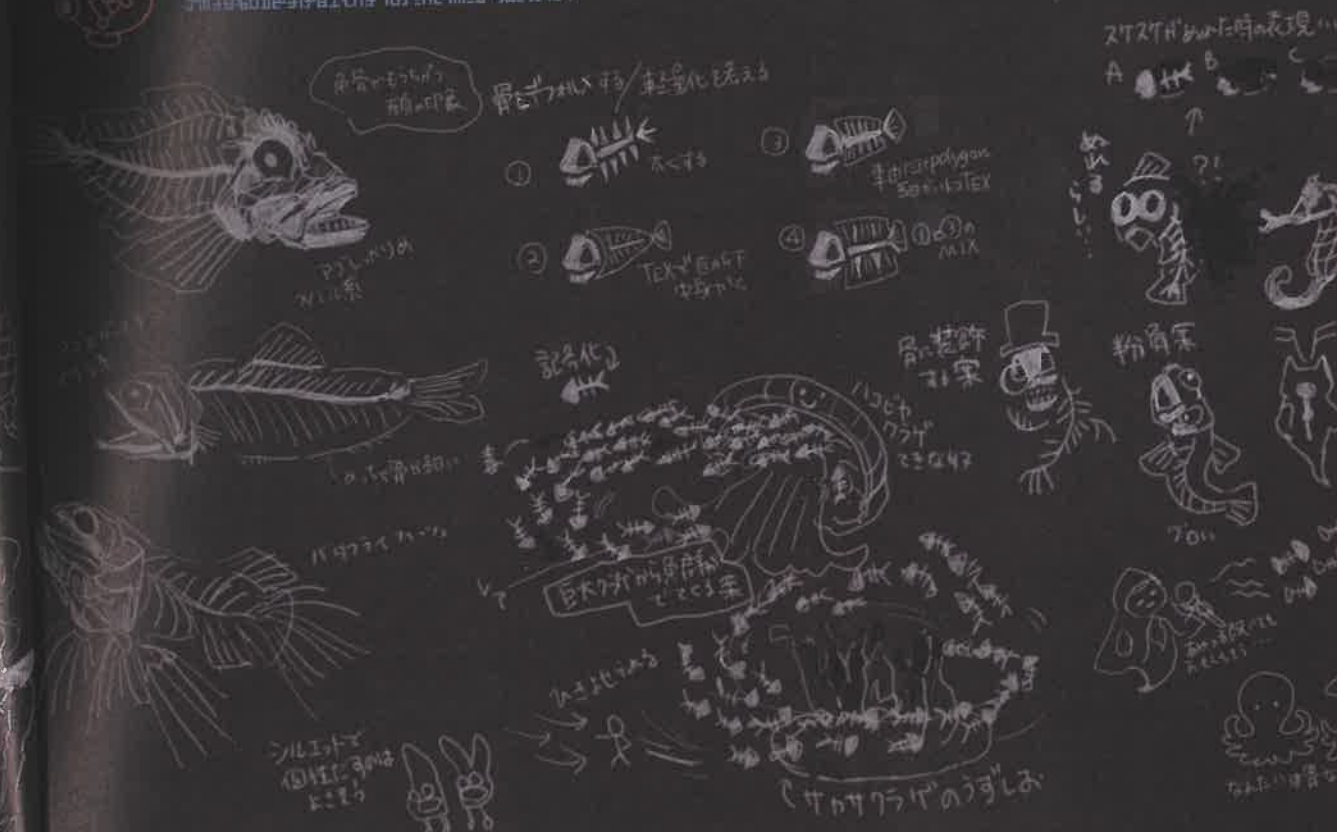
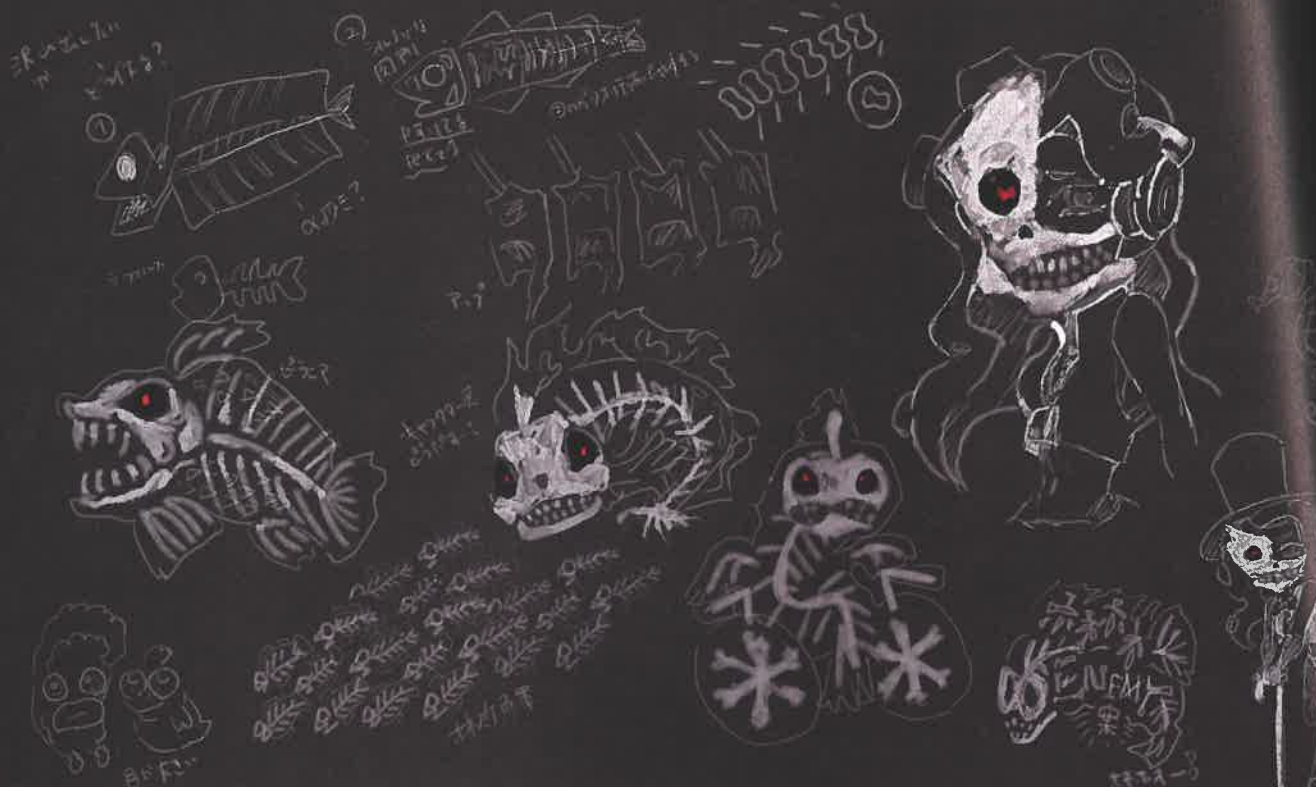
それはね… A.

つぎのページはボス図鑑だよ!

カイセンロンド

分類 回転寿司目メリーゴーランド科

分布 ボスフロア

回転コンベアの要所にある出っ張りが弱点。モニターにつぎの攻撃パターンが表示されており、対象者がサーチライトに当たるとそれを実行する。

ゴロゴロマルチャーレ

分類 ウニ目醤油プリン科

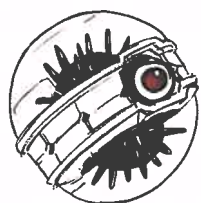
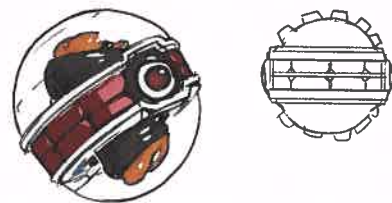
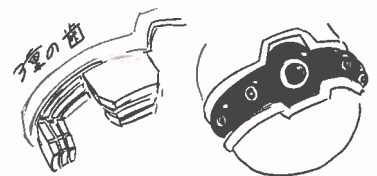
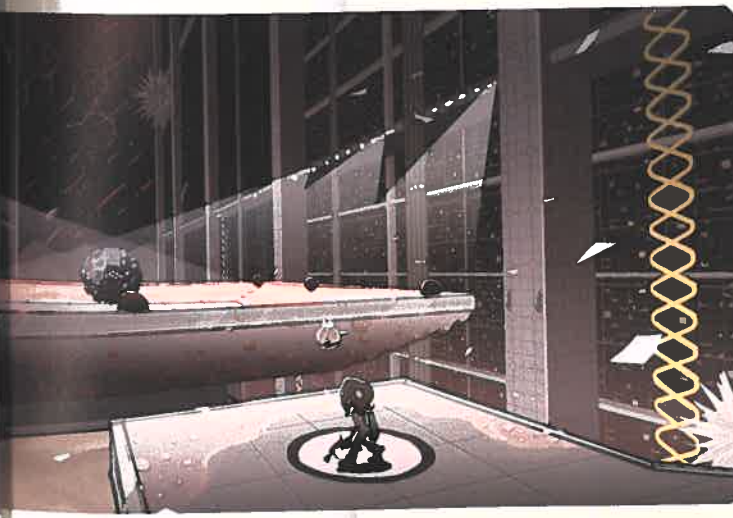
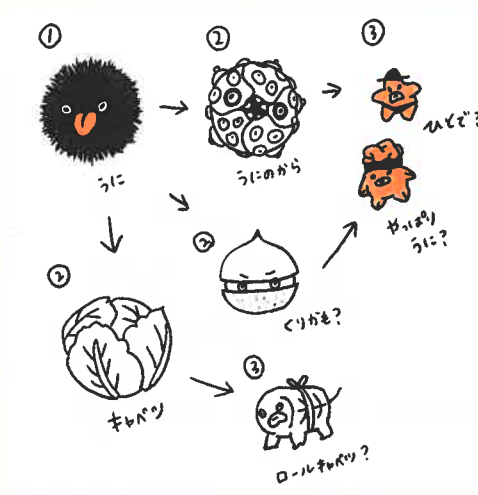
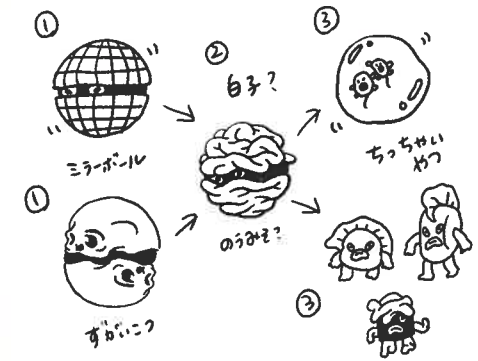
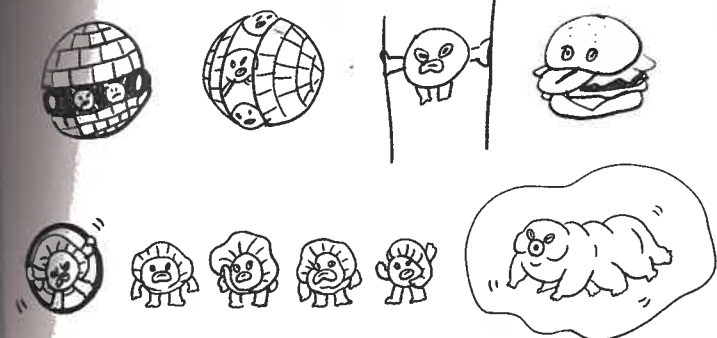
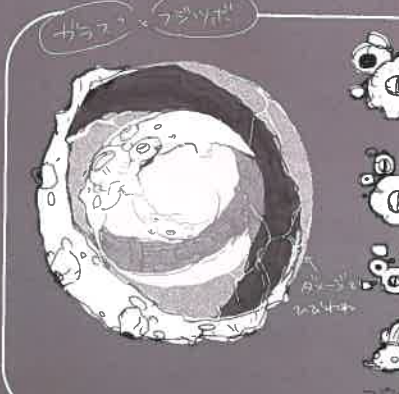
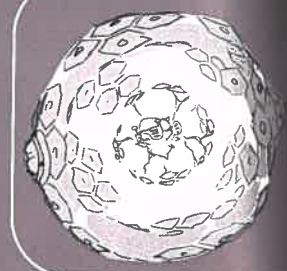
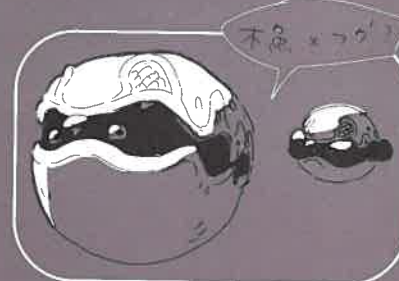
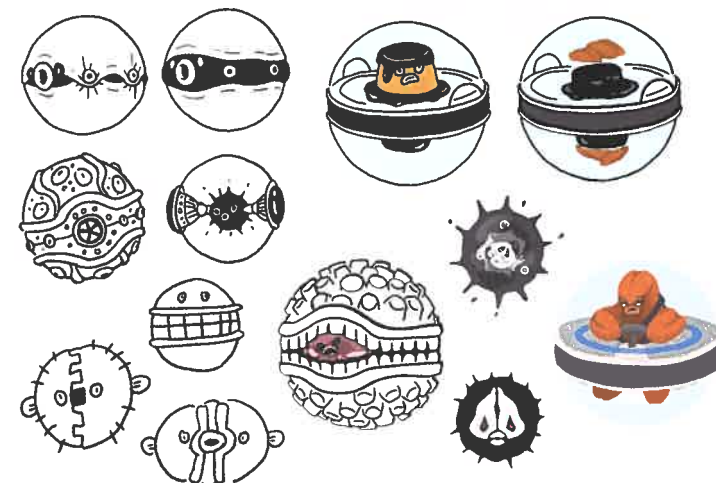
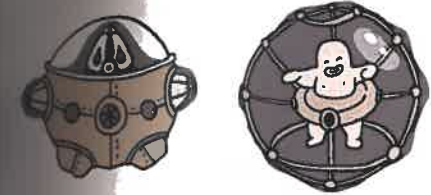
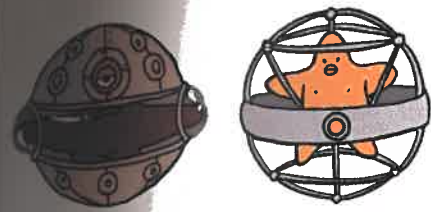
分布 ボスフロア

硬い外骨格を持ち、転がって対象者を追跡する。フロア上のバンパーにぶつかると、天高く跳ねてスケルトーンを排出すると同時に弱点の中身を露出。

イカイノカノン

分類 コピー目ペースト科

分布 ボスフロア

ヒト型をしており、動きが俊敏。対象者が所有するパレットに応じて能力が変化し、多彩なブキで攻撃を仕掛けてくる。何かに似ているような……？

コダコ

分類 オーダ目コダコ科

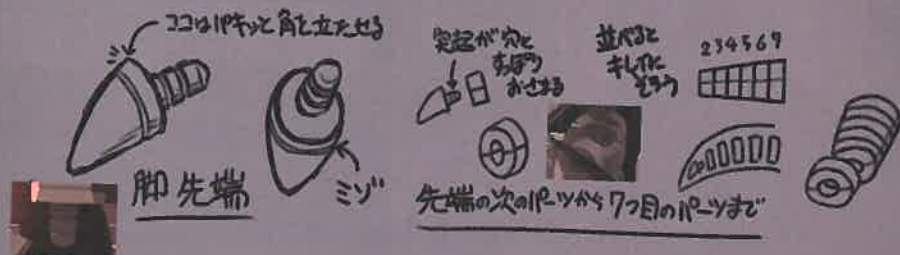
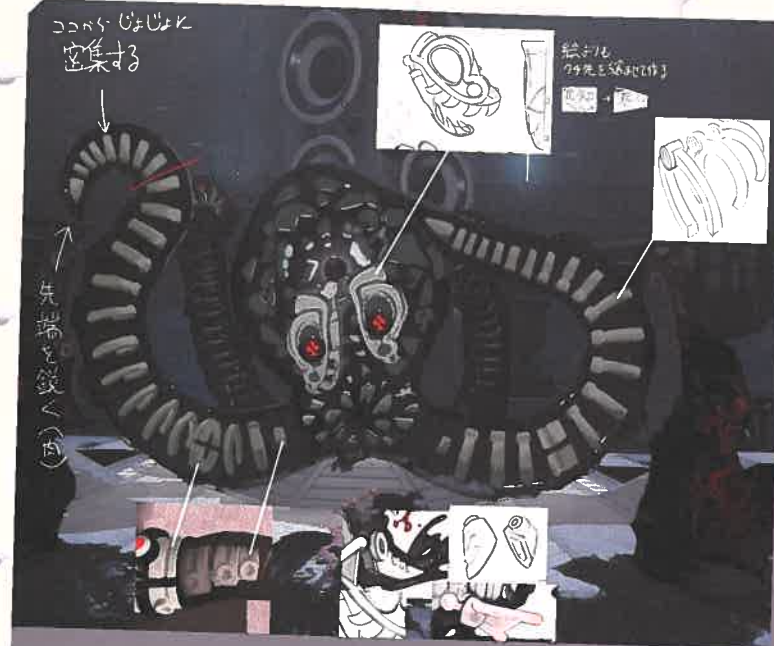
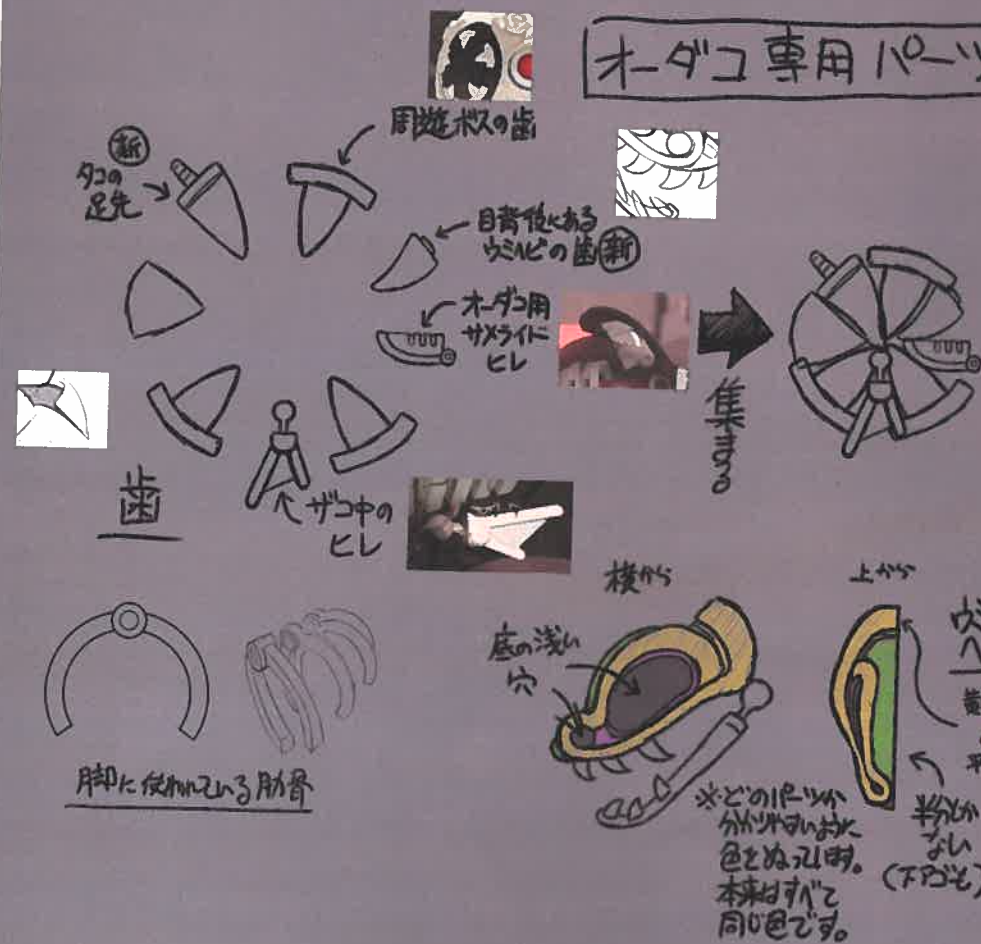
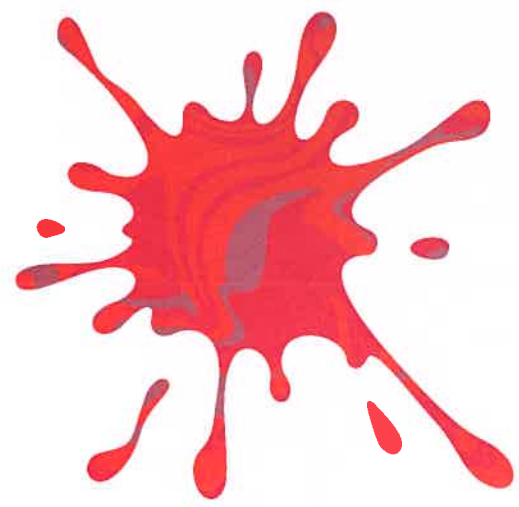
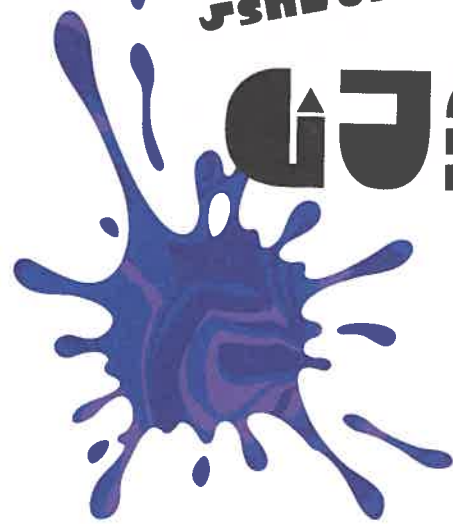
分布 最上階

当初はオーダと名乗り、永遠に変わらない"色のない秩序の世界"を作ることを目的としていたコダコ。強がっているが、じつはさみしがり屋。

オーダコ

分類 オーダ目オオダコ科

分布 最上階

コダコが変身した姿。黒いブヨブヨとした体内に、硬い骨格が透けて見える。いくつかのポータルを破壊することで体への直接攻撃が可能に。

総力取材 | 史上最大規模！ 音楽とバトルの融合!!

ありがとう！ グランドフェスティバル!!

大盛況のうちに幕を閉じた史上最大規模のグランドフェスティバル。
その余韻を永遠に心に留めておくため、72時間総力取材を敢行!!

過去・現在・未来、3つのチームが華麗に舞う

GRAND FESTIVAL

"大切なのは？"というテーマのもと、過去・現在・未来の3チームがバトルで対決。
それぞれの陣営をアーティストがライブで応援！

Theme テーマ：大切なのは？

未来

Artist 出演アーティスト

特設会場でアーティストたちがパフォーマンス

STAGE

荒野に作られた巨大な会場には、3つの豪華特設ステージが。アーティストの力強いパフォーマンスとともに、音と光が美しく舞う。

A シャコガイステージ

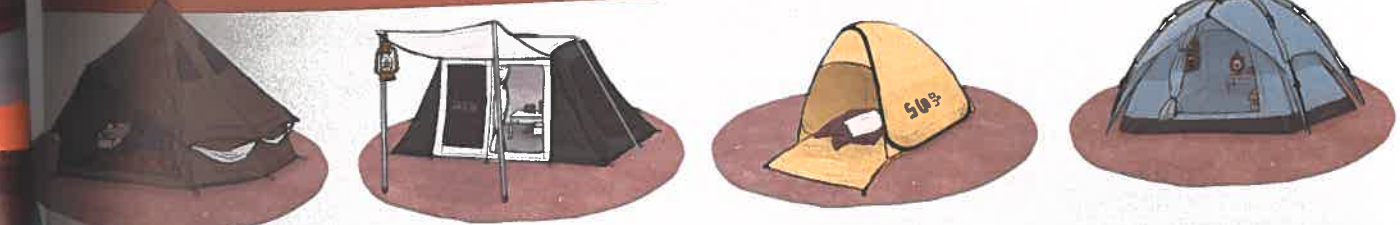
B サザエステージ

C ウニステージ

FINAL FES

カラフルなインクのシャワーがお出迎え

STATION

会場へは電車で移動。駅周辺にひしめき合うように並ぶテントや車を見るだけで、グランドフェスティバルの規模の大きさがわかる。

物販やフェス飯！ 購買意欲が止まらない!!

BOOTH

会場に並ぶブースはどこも作り込みがすごい！
欲しいものがいっぱいで、見て回るだけであっという間に時間が経ってしまう。

物販ブース

アイドル物販

店内上から
これはカラゲ
グッズ一覧シート
ダンボールたち
折りたたみテーブル
プラコンテナの中にグッズ
中に仕切り
キャラごとに違うグッズは 2つか3つに仕切る
・ぬい
・うちわ とか
プラコンテナ
A,B,Cは フウカ・ウツホ・マンタローとか

タコワサ フェス屋台

バイガイ亭出張屋台
フェス屋台
バイガイ亭
出張ワゴン
ケバブ屋台
ケバブ
ケバーブ
ケダンデァ
肉料理屋台
カレー屋台
フルーツ屋台
スイーツ屋台
ネオン
黒板
キッチンカー
FESTIVAL

ラスト24時間の特別なバトルステージ

GRAND BANCALA ARENA

会場から遠く離れた場所にぽつんと建っているアリーナ。
フェスのラストを締めくくるにふさわしい、シビれる魅力のバトルステージだ。

アーティストの衣装選考

ARTISTS' COSTUME

合同ユニット“ヌラネバセブン”のコスチューム案を入手。
1日限りのステージにこれほど多くの案があったのだと思うと驚愕。

Pattern ❶

Pattern ❷

Pattern ❸

Pattern ❹

Pattern ❺

P a t t e r n 6

P a t t e r n 7

P a t t e r n 8

P a t t e r n 9

P a t t e r n 10

Sea O' Colors

P a t t e r n 11

Pattern ⑫
Tentacles
ヒトデ 模様
Pattern ⑬
Pattern ⑭
Surimi-Rengou
Pattern ⑮
Pattern ⑯
Pattern ⑰
GRAND FESTIVAL

グランドフェスティバル行ってきた！

史上最大規模のフェスを取材しないわけにはいかない！　というわけで本誌新米ライターが現地へ飛び、大賑わいの模様をレポート。

Day 1

START!

DAY 1　9:00
会場到着――ッ！

3組のアーティストたちが昼夜パフォーマンスを行うグランドフェスティバル。これは行かないなんてありえない……というわけで、コジャケちゃんと現地へ。

インクのシャワー

DAY 1　9:10
テントの準備

まず、駅周辺にテントを設… タッチテントだからけっこう… ン。ここを拠点とする！　あ… 離した隙にコジャケちゃんが… に行っちゃった。

テント泊超楽し…

DAY 1　9:30
フォトスポット発見

駅の周辺がすでに楽しくて、気づいたら30分も経ってた……。急いでステージに行かないと！　と、移動中にグランドフェスティバルの巨大オブジェを発見。このスポットは映えるぞ～、写真写真！

ポスターとサイン入りフラッグ、かわいい！

GRAND FESTIVAL

SPLATOON3

DAY 1　9:35
いよいよ会場へ！

ひとまずシャコガイ、ササエ、ウニの順にステージを回ってみる。いざ、マナーを守りながら最前列。パフォーマンスを間近で見られるなんてヤバ!!　エモ!!

DAY 1　10:00
オーディエンスの力

…と上がりそう。曲に…ンビョン"、"フリフ…んなと一心同体になる感…これがグルーヴ？　こ…ヤバ!!　この光景をVIPエ…から観たいなあ。

え、マンタローさんって意外と大きい？

株式会社MIKASACO

DAY 1　11:00
施工会社の社員、大変そう

場内を探索中、会場の設営に携わった株式会社MIKASACOの社員さんの話を聞くことができた。今回の施工にはいろいろな苦労があったとか。株式会社MIKASACOと言えば、この10年で急成長を遂げた会社。ニーズに応じて試行錯誤しながら最善策を講じるのはさすがだわ。お疲れ様です！

Day 2

DAY2 9:00
フェス飯でお腹を満たせ

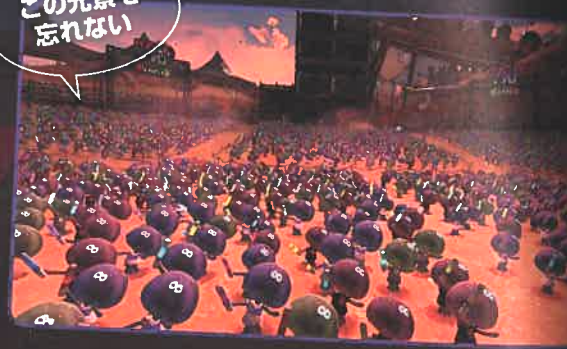
初テント泊だったけど、たくさん
爆睡。朝起きたら、まずは腹ごしら
イカイ亭のラーメンだったから
ちょっと違うものを食べてみよう。
オムレツ……いろいろあって悩んだけ
りが大優勝のじゃがバターをチョイス
の形をしていて、ほくほくでウマウマ！

DAY 2 9:35
物販ブースでお買い物

グッズ、欲しいものしかない!! とりあえずタオルと缶バッジを購入。ぬいぐるみも買うべき？ あれ、タコワサ将軍!? ブースの前にクラゲたちがいっぱいですごい人気。アタリメもいる！

DAY2 10:00
今日はバトルに打ち込む

ライブも観たいけれど、チームを勝利に
バトルにも参加しなければ！ フェス会
ルのロビーへは、専用の送迎バスで行ける。

送迎バス

DAY2 17:00
100倍マッチに勝利！ お立ち台へ

100倍マッチに勝利してステージ前の専用お立ち台に上がることができた。アイドルたちのパフォーマンスを肌で感じられる距離に、興奮しつつもちょっと緊張。ここから見た客席の光景は、きっと一生忘れない。あ、なんか涙出てきた……。

会場で見かけた
イカすクラゲのスケッチ

Day 3

DAY3 9:00
ついにフィナーレ！

今日はシオカラーズ、テンタクルズ、すりみ連合の３組が"ヌラネバセブン"としてシャコガイステージに集結。披露するのは新曲の『タイム・トライブ』！ ラストに３組が心をひとつに同じ曲を歌うなんて、エモすぎる（涙）。最後の瞬間まで音楽の波にダイブするぞー！

DAY3 23:00
みんな心をひとつに

まさか、ステージがあん
ヤバ、また涙が出てきた。最高
フォーマンスをありがとう、ヌラネバセブン！

DAY3 FINISH
フェスの結果は…
「過去」チームの勝利！

３日間にわたって開催されたグランドフェスティバルは、シオカラーズが率いる「過去」チームが勝利を収めた。

あなたはご存じだろうか。
間中にしかオープンしない
カラ街にあることを。
香り、耳に心地よいジュワー
揚げ物の音……おいしいフェス
なたを呼んでいる！

1

ぐつぐつと煮えた巨大鍋、アップ
の。香ばしく焼かれた串焼き
超人気の一品で、辛いタレで
熱いうちにかき込むのがバンカラ

2

大小さまざまなセイロの中に並ぶ点心。皮と餡は自家製で、早朝から数人がかりで仕込みが行われている。噛むと肉汁が溢れ出し、口の中はうま味の濁流に。

＼餡も皮もピカイチ★／

3

大定番の粉もの。はみ出すほど大ぶりなエビが入っているのが特徴で、出汁の効いた生地とちょっと濃いめのソースがマッチ。舌がヤケドするほど熱いので注意。

＼ジューシーなエビ入り／

4

中華鍋から聞こえてくるジュワーという音がなんとも食欲をそそる。定番の揚げパンは外せないが、野菜がたっぷり入った揚げ物も「油の罪悪感が薄れる」と人気。

5

なんと、ケミカルライトを扱うお店も登場。カラバリ豊富で目にも楽しい。両手で持つのはもちろんだが、頭に付けるのもよし。複数本買って、バンカラ街を彩ろう。

Graffiti Festival

これまで行われた4つの特別なフェス。いつものフェスでは見かけないポップなグラフィティの数々に心が躍った人は多いはず。改めて、4つのフェスで使用されたグラフィティを紹介！

Splatoween

［バンカラ街］

［ハイカラスクエア］

［ハイカラシティ］

Frosty Fest

［バンカラ街］

［ハイカラスクエア］

［ハイカラシティ］

Graffiti Festival

[Spring Fest]

[ハンカラ街]

[ハイカラスクエア]

[ハイカラシティ]

Summer Nights]

[ハンカラ街]

[ハイカラスクエア]

[ハイカラシティ]

バイガイ亭はグランドフェスティバルを応援しています。

ハイカラ地方
特集
週末おでかけMAP
さぁ、新しくなったホットスポットへ
オリジナリティ溢れるギアに身を包んだ若者たち。
モニターやスピーカーから流れてくる大音量の音楽。
街を見渡せばいつも新しい刺激に溢れていて、
ワクワクするようなカルチャーが生まれている。
今回は、駅の工事が終了して街から街への
アクセスがラクになったハイカラ地方をお散歩。
今週末、あなたも街へおでかけしてみない？
電車で
2駅！
ハイカラシティ
ハイカラスクエア

AREA 01

ハイカラシティ

街のシンボル、イカスツリーを望む
ポップカルチャーの中心地

1 駅
ふと懐かしいにおいのする駅舎。2階の改札からちょっと鉄の階段を降りると、目の前にはハイカラシティの代表的でもある交差点、そしてイカスツリーだ。

電車に乗って、どこ行こう？

START

バトルドージョー
リニューアル

2 イカッチャ

友だちとステージに点在する風船を割って競うアミューズメント施設バトルドージョーが、イカッチャとしてリニューアルオープン。仲間と集まって、一緒にバトルやナワバトラーを楽しもう。

電車でハイカラシティへやってきたという若者。今日は友だちとイカッチャで遊び倒すらしい。「ナワバトラー中毒です」とのこと。

新作ドリンクは
もう飲んだ？

3 カフェ

以前は立地がいいにもかかわらずガラガラだった店内。しかし、ドリンクやフードを大幅にリニューアルしてからは、若者たちの憩いの場に。朝早くから夜遅くまでオープンしているのも人気の秘訣。

「いや〜、今日のバイト先はキツかった！ガッツリ稼げましたけどね」と笑う、バイトを終えたばかりの若者。

100% 少年

アルバイトで
小金稼ぎ！

クマサン商会

クツ屋の近くにあった空きテナントに、クマサン商会がオープン。以前は日陰で薄暗かったけれど、人通りができてちょっと明るい雰囲気に。いつでもバイトを募集しているので、サクッと稼ぎたい人にはオススメ！

Renewal

PICK UP

GOAL

ほかにも見どころ満載♪
魅惑のハイカラシティ

広告型ゴミステーション

ザッカ屋

以前あったアーケードゲーム機"イカジャンプ"が少しだけ場所を移し、ザッカ屋を繋ぐオンライン端末に変身。端末を起動すると、パル子がナマコフォンで応対してくれる。

パル子

何かの入り口

イカスツリーのたもとに、マンホールをタイヤで封印したような場所を発見。なぜマンホールを？ もともとこの場所にあったものは……はてさて、何だったかな？

マンホール

ブキ＆ギア買うならブイヤベース！

ハイカラシティ名店案内

SHOP GUIDE 01

ブキ屋 カンブリアームズ

しゃべり出したら止まらない

　カンブリアームズはブイヤベースに向かっていちばん右手、イカスタワーの近くにある。名物店主だったブキチがバンカラ街へ出店したことを機に、マメブキチとツブブキチが店を切り盛りするように。ふたりはまだまだ幼いけれど、ブキチのブキ愛とマシンガントークをしっかりと受け継いでいるので、ブキチがいた頃と何ら変わらない熱量でおもてなしをしてくれる。

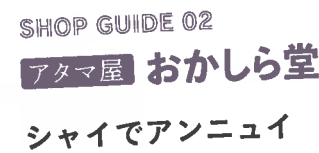
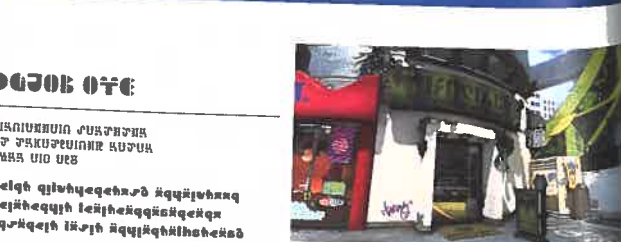
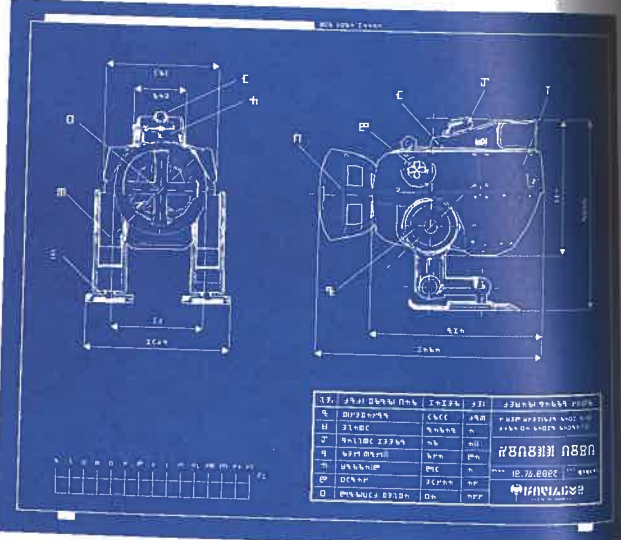
　一歩店内に入ると、打ちっぱなしのコンクリートにブキチのお眼鏡に適ったブキがずらり。試し射ちもできるので、時間をかけてゆっくり選ぼう。

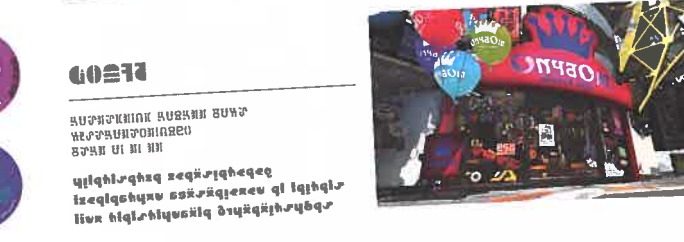
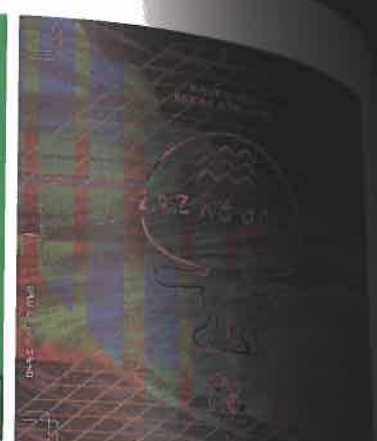
・黄色の姉ちゃん服（ロッパース）を着ていてほしいです。

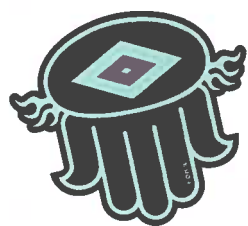
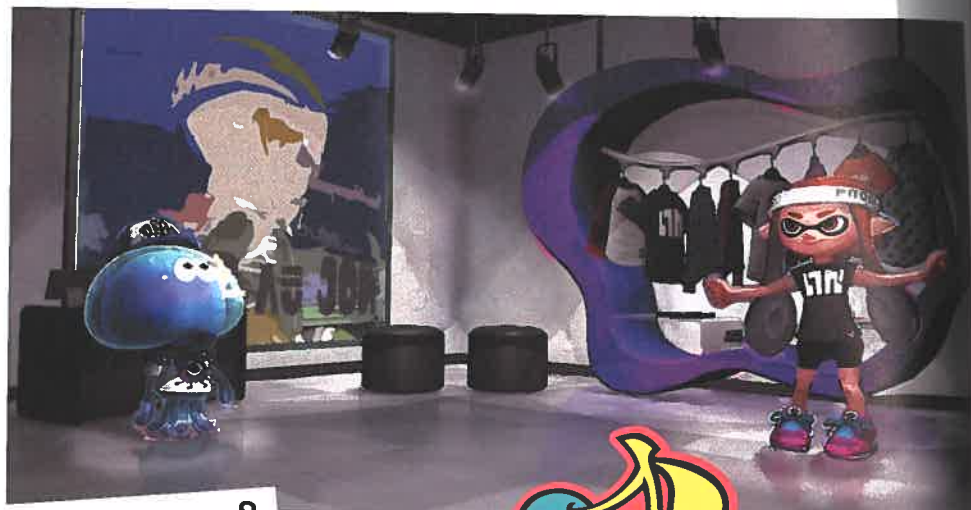
・ブキチとマメツブが出会ったころの写真

SHOP GUIDE 02

アタマ屋 おかしら堂

シャイでアンニュイ

　店に立つのは、バイトのアネモ。そして彼女と共生するクマノミのクマノだ。イキのいい若者が入店すると圧倒されてタジタジのアネモだが、最近はゴシック系のバンドにハマっているそうで、ブラックベースのファッションがお気に入りなんだとか。店内にもお気に入りのレコードやグッズが飾られていて、内気ながらも心に熱いものを秘めていることが伝わってくる。

　アネモはモバイルの“ゲソタウン”でも活躍中。ふだんとは違うギアパワーがついた特別なギアが手に入るので、ぜひそちらもチェックを。

SHOP GUIDE 03

フク屋 サス・オ・ボン

オシャレファッショニスタ

ファッションにうるさいエチゼンが営むサス・オ・ボンは、青い看板が目印。外から店内を覗いてみると、クラゲをモチーフにしたサイケデリックな巨大なポスターと、アメーバ状のオブジェが目を引く。

一歩店内に入ると、エチゼンが自由に伸縮する腕を振ってお出迎え。存在感のあるオブジェはハンガーラックになっていて、丁寧な陳列からフクへの愛情の深さをうかがうことができる。2階にあるショールームにもご自慢のフクが並んでおり、街を歩く若者たちの目を楽しませている。

SHOP GUIDE 04

クツ屋 エビスシューズ

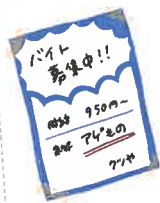
エクストラクリスピー

前店主のロブが自分探しの旅へと出かけたことをきっかけに、新たにやって来たバイトのアジオ。クツが大好きでどうしてもエビスシューズで働きたかったそうで、求人の条件である"アゲモノ"という文字に迷うことなく、こんがりとしたフライになったそう。

しっぽに開けられた大振りなピアスや言動からちょっとヤンチャな印象を受けるものの、実際に言葉を交わしてみるとクツ好きで実直な人柄だとすぐにわかる。陳列されたクツを愛おしそうに見つめるアジオに、なんだかほっこり。急に店内に入ると驚いてレモンを落としてしまう姿もチャーミング。

SHOP GUIDE 5

????

ダウニー

怪しい仕事に手を染める

ブイヤベースから道路を挟んで反対側。狭い路地を抜けたところに[illegible]て何やら怪しい商売をしているのはダウニー。一時期はスパイキー[illegible]継いでハイカラスクエアのカフェに居座り、さまざまな商売に手を出していた[illegible]大なおカネを手に入れたらしいが、ほとんど使い果たしてしまったのだと[illegible]

ハイカラシティに駅が完成したタイミングで再び古巣の路地裏に[illegible]ウニーは、ひげを貯え、メガネをかけ、ちょっと怪しさがアップ。しかし、[illegible]パワーについてはやはり博識で、右に出る者がいない。

Tour the studio | シオカラーズ

おしゃべりに夢中なアオリとホタル

交差点から上階へと伸びるスロープを歩いていくと、人気アイドルユニット・シオカラーズがいるニューススタジオの前へと出る。気さくで飾らないふたりの姿をひと目見ようと、見学にやって来る若者は多い。

スタジオのガラス前に張り付く若者たちの熱い視線に構わず、おしゃべりに夢中のふたり。アオリの止まらないトークに頷きながら耳を傾けるホタル……そんな姿になんだかニヤニヤしてしまう。ずっと視線を投げ続けていると「イカ、よろしく～」のポーズだ！

スタジオ

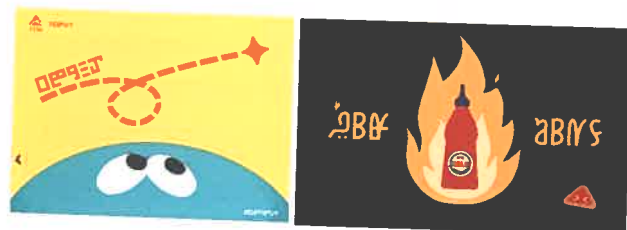
AREA 02

ハイカラスクエア

ランドマークのデカ・タワーがそび立つ
最新のトレンドが集まる地

駅

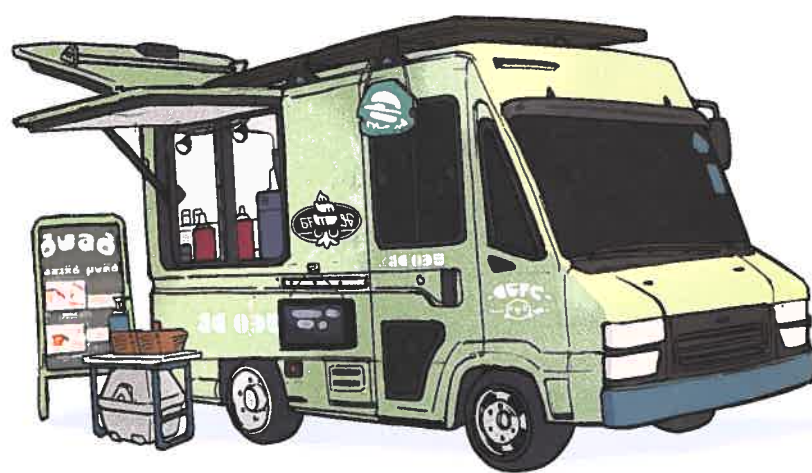
長い工事が終わり、地下に駅が完成。駅の周辺もすっかり様変わりして、カフェスペースやスケートボードパークも。ヒトが多くて賑やか。

ついに工事終了
駅が完成!!

お腹がすいたら
まず満たせ

フードトラック

以前ロブのフードトラック“ロブズ・10・ブラー”があった場所には、新しいお店が来ている。食欲旺盛な若者たちのお腹をガツンと満たしてくれる。

フードトラック前にいた若者は「ここのサンドはめちゃウマい」と大絶賛。トラック前には長い列ができることもあるらしい。

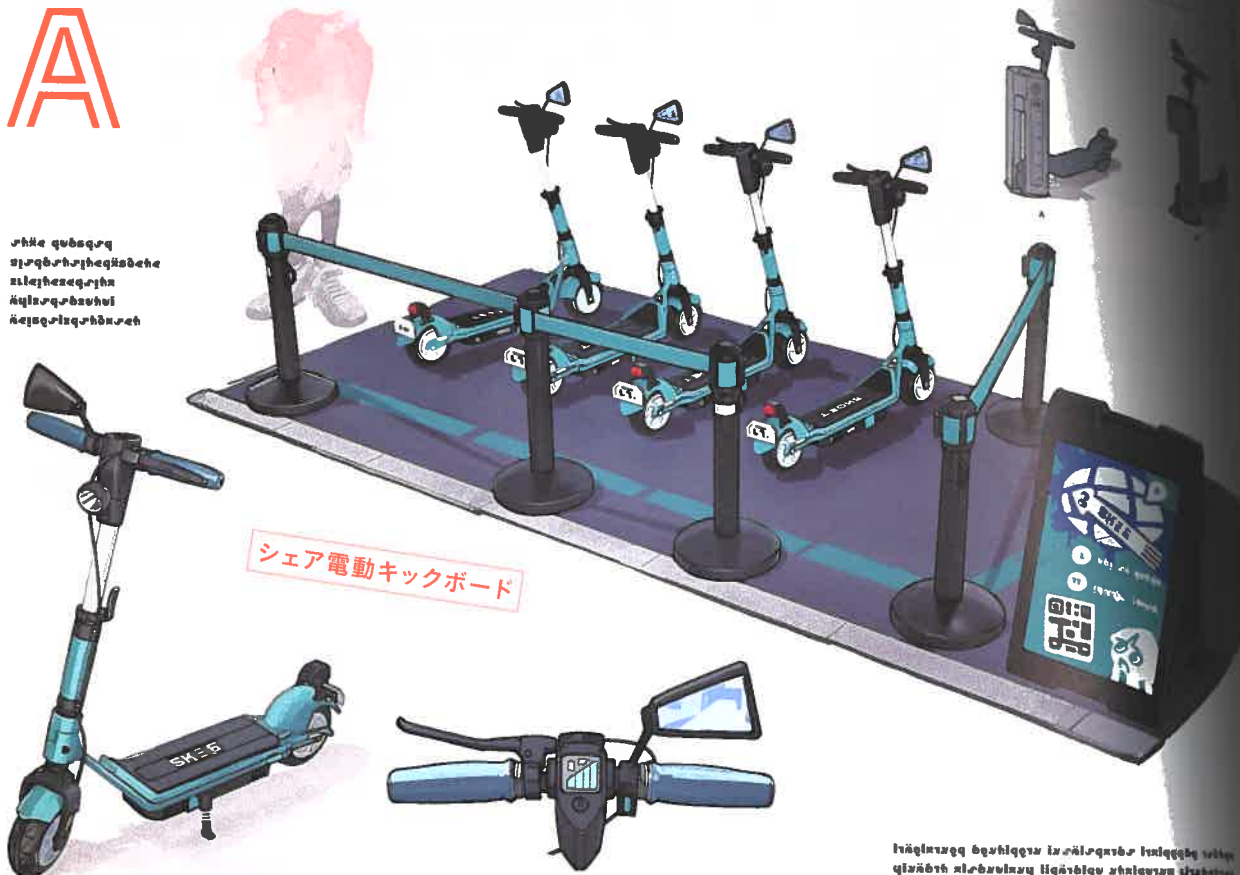
あったか〜い
新人バイト

START

GOAL

エリアがさらに拡大！
逸楽のハイカラスクエア

A

シェア電動キックボード

B

グソクさん

カフェの窓辺に座っているのは、深海メトロに乗車していたグソクさん。お気に入りらしきタコのぬいぐるみがクレーンゲームの景品になったので、地上へとやってきたとの噂。

C

フェスステージ

Tour the studio | テンタクルズ

お互いの思いを語り合うヒメとイイダ

ハイカラスクエアのニューススタジオにいるのは、テンタクルズのヒメとイイダ。フードトラックで買ったのか、机の上にハンバーガーとポテト、ドリンクを広げ、ときに笑いを交えながら語るふたり。ちょっと女子会みたいで楽しそう。

イイダの背後には、彼女がいつもハイカラニュースで使用しているDJ機材が置いてある。壁に貼られたポスターは、現在精力的に活動中の“ビジー・バケーション feat.テンタクルズ”のものだ。

スタジオ

見せつけたいのは

力か、それともセンスか——

GEAR STYLE

最新のトレンドギアをチェック

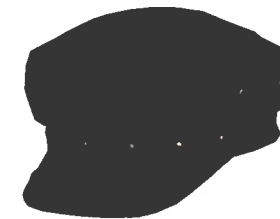
最新のトレンドを知ること、それは己を知ることと同義だ。そこでバンカラ地方で人気のギアをピックアップ。また、後半では各ブランドがギアに傾ける情熱を窺い知れるラフデザイン案の一部を紹介する。

HEAD GEAR

シェーディングキャップ スミ
バラズシ／11200G

アウトドアからふだん使いまで、いろいろなシーンで活躍。軽量素材でシワになりにくいため、持ち運びにも最適。後頭部と耳を日差しからしっかりと守る日除け部分は取り外しが可能。

イシダイストライプスキャップ
ホタックス／11500G

野球チーム"イシダイストライプズ"のベースボールキャップ。存在感を主張する平らなつばにはホタックスの金色のロゴシールが光る。ユニフォームと合わせると統一感が出てオシャレ。

フライカーキャップ
バラズシ／11500G

バラズシの"バイカー"ラインからリリースされ、「ユーズド感溢れる肉厚なレザーにロマンを感じる」とマニアなイカたちをうならせたアイテム。少し傾けて被るのがイカした被り方。

Pick Up

グンチンハ
ロッケンベルグ／9000G

ハンチングを前後ろ逆に被る、つまりグンチンハ。それはつまり"イカしている"。耳当ての生地がつばの代わりとなり、日差しから目を守ってくれる。"ハンチング"として被ることも可能。

カモキャップ ドトン
エゾッコリー／7800G

カモキャップ スイトン
エゾッコリー／7800G

エゾッコリーのカモフラ柄デザインのキャップは、後ろ向きに被ってブランドタグを見せるのもアリ。アタマ、フク、クツ全身でカモフラ柄ギアを揃えれば、ストリートで注目の的に。

フィッシャーマンキャップ
ホタックス／5000G

強い海風を受けても飛ばされないようにつばがなく、ころんとした丸みのあるデザイン。両耳がしっかりと出る浅い作りがポイントで、遠くの音でも聞き取ることができる。

ブリムリブハット
ロッケンベルグ／5000G

前後につばがある独特なシルエットと、高級感漂う厚みのある生地が魅力。名探偵が被っていそうなことから、被ると名探偵が言いそうな名言を言ったりポーズをとったりしがち。

チゴフグニット
エゾッコリー／1111G

エゾッコリーのおなじみのキャラクター"チゴフグ"を大胆に取り入れたデザイン。チゴフグを愛してやまない一部のファンたちがコレクト用に何点も購入し、一時品薄になったほど人気。

ピンポンバンド
アイロニック／400G

太くも細くもない絶妙な幅をしたレトロなデザインのヘアバンド。どんなヘアスタイルにも合うが、やはりオススメはアフロ。ヘアバンドをするためにアフロにする若者もいるほど。

ロブズ・10・バイザー
バトロイカ／1200G

以前、ハイカラスクエアでロブが経営していた屋台"ロブズ・10・ブラー"の販促用に作られた紙製のサンバイザー。3パターンのサイズ調整が可能で、大人から子どもまで着用が可能。

スラグンサンバイザー
ホタックス／1200G

サングラスを装着するゴルファーからインスパイアされたデザイン。サングラスを後頭部に、しかも上下逆さまにかけるスタイルがイカすと評判。サングラスはずり落ちないので安心。

ボーラークラシック
ジモン／3000G
ウール素材でなめらかな手触りのボーラーハット。クラシカルなデザインで、チェーンの付いたゴールドのハットピンが華やかな印象に。被るだけでドレスアップできる魔法のギア。

ステンシルデニムハット
ジモン／2100G
一般的なアーミーハットは6枚のパネルで構成されるが、これは4枚のパネルから成る希少性が高いハットをモチーフにしている。ミリタリー好きな“わかる者にはわかる”デザイン。

ホタテンガロン
ロッケンベルグ／13000G
テンガロンハット自体はカントリーなアイテムだが、細いベルトが都会的な印象を生み、シティでも被りやすい。名前の由来は、ベルトの剣先パーツのホタテ貝を模したデザインから。

マミイカヘッド
バトロイカ／非売品
[illegible]包帯の被り物。左目が鋭く光るのがポイント。それに加えて包帯の端の[illegible]がスルメっぽくてイカすと話題に。[illegible]ナイスなフィット感。

キャプテン・カサゴ
バトロイカ／非売品
泣く子も黙る、かの有名海賊“キャプテン・カサゴ”になりきることができるハット、バンダナ、アイパッチの3点セット。ハリのある羽根飾りはミノカサゴのヒレを模したデザイン。

スケアリーフェイス
バトロイカ／非売品
昔のホラー映画の悪役を再現したコスチューム。マスクが蓄光素材でできているので、暗い場所でぼんやりと光って不気味さ倍増。バトルの相手や仲間を驚かせるには最適のアイテム。

ストローハット
シグレニ／9800G
平織りタイプの麦わら素材を使用。裏地には海藻やサンゴのデザインが大胆にあしらわれており、見た目にも涼しい。調整可能なドローコードやストッパーにも遊び心を忘れない。

エゾッコリーボーラー
エゾッコリー／9800G
エゾッコリーのブランド発表と同時期に、有名ポップミュージシャンが衣装として着用したことから話題になったハット。付属のピンバッジは付け方に着用者のセンスが表れる。

フグベルベルベルハット
エゾッコリー／9333G
フグベルベルハットがリリースされたときの衝撃を軽く超えた、まさかのフグベルハット3段重ね。重ねれば重ねるほどイカしている。[illegible]と窮屈そうに見えるが、ほどよいフィット感。

カジキマスク
バトロイカ／非売品
[illegible]カジキを模したマスクだと言われているが、詳細は一切不明。顔全体を覆っているものの呼吸はしやすく、目元の黒いレンズからの視界も良好で、バトルでも安心して使用できる。

カイトウ・フック
バトロイカ／非売品
有名な怪盗紳士になりきれる帽子とモノクルのセット。つると鼻あてが付いたモノクルと、そこからぶら下がるフックモチーフのチェーンがアクセント。市松模様のリボンもオシャレ。

キンギョマスケラ
バトロイカ／非売品
目元のデザインは向かい合った金魚をイメージ。一方の金魚の尾びれがラメになっているのが特徴。マスクを固定するためのリボンには光沢感があり、身に着けるだけで気品が漂う。

シェルメット
ホタックス／9000G
巻貝のようなデザインのサイクリング用ヘルメット。ステッカーや文字が全面にプリントされており、遊び心満点。なかでも側面に大きく描かれた、ちょっとゆるめなタコのイラストが人気。

ホーンメットBF
フォーリマ／12000G
ひと目見ただけで誰しもおののくイカついギア。サイドにぶら下がるイカ型の飾りがいいアクセント。貼られたステッカーは、ナイスプレイをした者だけに贈られる“プライズマーク”だ。

イシダイSTメット ホーム
フォーリマ／3500G
野球チーム“イシダイストライプズ”の右打者用メット。チームのトレードマークがデザインされたキャップとは違い、刺繍のロゴがあしらわれている。キャップと一緒に揃えたいアイテム。

オクトパールクラウン
バトロイカ／非売品
ちょこんとしたサイズ感がちょうどいいリボン付きのクラウン。4本の支柱はタコの脚がモチーフになっており、吸盤部分にはめ込まれた宝石と脚先に掲げられた大粒のパールがポイント。

ブロブスマイルマスク
シチリン／825G
黄色い生地を黒いパイピングテープで処理。黄×黒というちょっとキケンを感じる警告色も、満面の笑みのブロブスマイルがほどよく中和。ズレ防止のマスクバンドは細かい調節ができる。

トンビシールドR255
タタキケンサキ／4000G
タタキケンサキのイメージカラーを大胆に取り入れたプラスチック製のマスク。口元から鼻にかけて広範囲を覆うシールドが、バトル時に相手のインクからしっかりとガードしてくれる。

ヘッキャ ムジ
フォーリマ／8500G

ヘッキャ イシダイ
フォーリマ／10500G

ラグビーヘッドキャップ。衝撃に強く、ぶつかり合うような激しいバトルにオススメ。単色のムジに比べるとイシダイは部位によって特徴的なカラーリングをしており、かなり個性的。

イカフィットメットPRO
アロメ／9000G

イカフィットメット
アイロニック／9000G

軽量でありながら頭をしっかりガード。頭の形状にフィットさせるダイアル付き。一度でも落としたりどこかにぶつけたりしてしまうと、ヘルメットとして使用不可能になるので扱いは慎重に。

ミミタコ8
フォーリマ／3000G

ミミタコ8 RAW
フォーリマ／3000G

ヘッドバンドの位置が高いぶん、圧迫感がなくて軽やかな着け心地。それでいてフィット感も十分。デザイン性の高さと音質のよさが特徴のBluetoothワイヤレスヘッドフォン。

甲伝導エンペラEP
フォーリマ／1980G
甲伝導で音が聞こえてくるので、バトルや会話をしながらでも音楽を楽しむことができる。耳に掛けるタイプではなく、耳を挟むようなデザインのため、激しい動きでもずり落ちない。

デメニギスゴーグル
シチリン／10500G

深海魚“デメギニス”の姿を彷彿とさせる、大きなレンズが特徴。頭に掛けるとさらに深海魚感がアップ。左右に開いた通気用の穴がレンズの曇りを防いでくれるので視界良好。

Pick Up

8ビットフレーム
エンペリー／9900G

フレームはもちろん、つるにもドットを取り入れた遊び心抜群のアイテム。見た目の大胆さもさることながら、つるのカラーリングもビビッドで、コーデの外しにオススメ。

Pick Up

サンサンサングラス
エンペリー／11300G

タイプの異なる3種類のサングラスを重ねるという、某有名アーティストのコーディネートをきっかけに流行。頭に掛けてもずり落ちない絶妙なバランス。重ねれば重ねるだけイカしている。

Pick Up

ワイヤーグラス
タタキケンサキ／11000G

1本のワイヤーを加工したハイセンスなデザイン。頭に掛けても存在感を放つ。機能性は度外視しているため、当然レンズは入っていない。フチに付いた小ぶりなチャームがポイント。

フロート クリアグラス
シグレニ／2780G

フロートになったバンドはほどよい弾力性がありしめつけ感がなく、バトルで水中に落としても浮力によって紛失防止になる。レンズはもちろんフレームもクリアで、ふだん使いしてもイカす。

バイカーシェード
バラズシ／10200G

バラズシのデザイナーがリスペクトするモード系ハイブランドがバイカー系を取り入れているのを見て、「自分たちも出したい（寒冷地ブランドだけど）！」という熱意によって作られた。

アナアキスクエアグラス
アナアキ／777G

スクエアの形状をしたサングラスで、レンズサイズが瞳の大きさよりも若干小ぶりなのが特徴。パンクファッションに合わせることで、このギアが持つ魅力が遺憾なく発揮される。

Pick Up

タマサンBC925
シチリン／11700G

どんなファッションスタイルにもマッチするクラシカルなラウンド型。美しいグラデーションのカラーレンズがさりげないオシャレを演出し、周囲の視線を奪うこと間違いなし。

マルミエールUD
クマサン商会／非売品

テクノロジーの粋を極めた透過ディスプレイを搭載。左のイヤーカップにある赤いボタンを押すことで戦闘スタイルを分析し、文字通り“丸見え”になるらしい。“UD”とはウデマエの略。

フトブチスクエア
ジモン／11200G

若干吊り上がったフォルムが特徴の高級感溢れるメガネ。存在感が強く目元に強い印象を与えるため、自分のプレゼンスを示したくて仕方ない年頃の若者には必携のアイテム。

ノベルティグラス ムスカリ

ノベルティグラス ヨツバ

ノベルティグラス アネモネ

ノベルティグラス タンポポ

各 バトロイカ／非売品

フェスの際にバトロイカが配ったノベルティのピンホールサングラス。あるセレブが着用画像をSNSに投稿したことで映えアイテムとして一躍人気に。視力向上にも効果があるとか。

CLOTHES

アロメT ゴブゴブ
アロメ／960G

ビビッドなピンクとシックな黒、ロゴパターンも異なる２枚のシャツを繋ぎ合わせたTシャツ。絶妙に違う丈も気分がアガる。肌にやさしい素材で着心地もよく、マストハブアイテム。

アナアキT チョーカー
アナアキ／4000G

アナアキT アシメブレス
アナアキ／8000G

ロゴがダイナミックにプリントされたTシャツに、アナアキらしいパンクなアクセサリーを追加。コイン型のチャームが付いたチョーカー、スタッズのバングルなど、パンチが利いてる！

リイシューT ブルー
アロメ／2880G

リイシューT ブラウン
アロメ／8800G

中央に大きくプリントされているのはアロメのオールドロゴ。タグのロゴも当時使用されていたデザインで、古きよきアロメのエッセンスが詰まっている。くすみカラーにもうっとり。

バラズシ ノリマキ
バラズシ／7200G

バラズシ アカシソマキ
バラズシ／7200G

首元に巻いたストールは、炎天下の直射日光や砂埃から肌を守ってくれる秀逸アイテム。首元にボリュームがあるぶん、少しタイトな白Tシャツを組み合わせてすっきりとした印象に。

バラズシT ハクマイ
バラズシ／720G

バラズシT ゲンマイ
バラズシ／720G

バラズシT セキハン
バラズシ／1200G

どんなシーンにも合うシンプルなデザインでありながら、さらりとした着心地の素材がうれしい。バラズシのブランドイメージを象徴する、パンチのあるオレンジ色のタグが印象的。

イコT ゴブゴブ
バトロイカ／300G

イカサンT
バトロイカ／300G

タコサンT
バトロイカ／300G

レザー製のタグにロゴが型押しされているのがポイント。プリントされたロゴをよく見ると、3なのか、イカ（タコ）なのか。イコTはイカとタコ、種の垣根を越えた多様性を表現している。

トワイライトグラデT
ホタックス／880G

サンセットグラデT
ホタックス／880G

トワイライト＆サンセットの空を切り取ったような美しいグラデーションが魅力。フロントに大きくプリントされた白いロゴが存在感を放ち、スポーティーでありながらロマンチック。

ビバレッジT リコピン
ホタックス／500G

ちょっと落ち着いたレッドカラーは心の栄養。セットになった腕時計は大人気モデルの限定版で、ストップウォッチやアラーム機能付き。半透明なボディに光る文字盤がクール！

スシズメブロブ ライム
シチリン／1050G

スシズメブロブ ベリー
シチリン／1050G

大小のブロブスマイルがみっちり詰まったデザインと、ポップなネオンカラーに心ウキウキ。最初はオーバーサイズのみの展開だったが、ファンの声を受けてジャストサイズも登場。

ガブリエルT
ホタックス／2100G

一世を風靡した人気アニメ『ガブリエル』がプリントされたTシャツ。歯をむき出しにして不適な笑みを浮かべる黄緑色の姿が、黒地に映えてワイルド。アニメファンならマストハブ。

カラマリフック ディープ
アナアキ／5550G

カラマリフック ブラック
アナアキ／5550G

肩回りを一周する絡まったフックのプリントが特徴。袖丈が長く、袖口のリブが手の甲にかかるのがイカす。持ち味であるストリートなパンク感を存分に出すならブラックがオススメ。

クラマナスウェット
クラーゲス／4000G

イカしたマナティとして人気を博しているキャラクター"クラマナ"がプリントされたスウェット。柔らかい生地は心地よく、外でも部屋でもガシガシ着られる1枚。ヘビロテ確定。

バハフーディー ロホ
クラーゲス／3450G

バハフーディー セレステ
クラーゲス／3650G

サーファーが愛したアイテムがクラーゲスに受け継がれ、洗練されたデザインにアップデート。粗目の素材感で、さらりと着こなせる便利アイテム。"ロホ"は赤、"セレステ"は青空という意味。

カモパーカー ドトン
エゾッコリー／8920G

カモパーカー スイトン
エゾッコリー／8920G

エゾッコリーのロゴがカモフラージュされたカモフラ柄パーカー。この柄のギアを身に着けていることが、ストリートの若者たちにとって一種のステータスとなっているらしい。

タツノコキューバ
クラーゲス／3800G
[illegible]た襟元が南国リゾートを感じさせ[illegible]う淡いカラーリングのシャツ。[illegible]にある4つのポケットとタツノオトシゴの刺繍が、カラリとしたさわやかさをプラス。

ピエロシャツ
シチリン／6300G
素材や柄が異なる複数の生地を縫い合わせた五分袖シャツ。ちぐはぐなクレイジーカラーが楽しい。自分だけではなく誰かの心も元気にしてくれる、ビタミンのようなアイテム。

ジャコスカウト
エゾッコリー／10100G
年少のスカウト加盟員の制服。エゾッコリーが得意とするポップなディテールが特徴的で、ブランドの遊び心を感じさせるデザイン。かっちりとしているけれど動きやすいのがうれしい。

フィレシャツ サファリ
シチリン／2500G
[illegible]のシャツにゼブラとレオパードのパターンをカスタム。無地と柄部分の生地の長さを変えることで、縛られないワイルドさを演出。背中部分のチェックも遊び心があってポイント高め。

バンドカラー ムジ
ジモン／9999G
洗ってさらりと着られる、柔らかいバンドカラーシャツ。白地に映えるエンジ色のロゴ刺繍と、前身頃の裾がラウンド状にカットされているのが密かなオシャレ。羽織としても最適。

イシダイストライプスユニ
ヤコ／10000G
野球チーム"イシダイストライプズ"のユニフォーム。オーバーサイズを前後逆に着るのが流行していて、「シャツワンピースっぽく着こなせる」と野球ファンのみならず人気。

キングラガー010
エンペリー／3200G
切り替えデザイン。前身頃と後ろ身頃、袖、計10枚の布で構成されており、ピンク×青×緑×黄を組み合わせたクレイジーカラーが特徴。イカに着てほしいがタコにも着てほしい1枚。

キングラガー008
エンペリー／3200G
切り替えデザイン。前身頃と後ろ身頃、袖、計8枚の布で構成されており、黄×紫×緑×オレンジを組み合わせたクレイジーカラーが特徴。タコに着てほしいがイカにも着てほしい1枚。

ハンティングベストKK
シグレニ／4200G

ハンティングベストBK
シグレニ／6000G

バンドカラーの半袖シャツにベストをチョイス。やさしいアースカラーで、アウトドアだけでなく、どんなシーンにもピッタリ。難燃性で摩擦にも強いベストは、タフに使えてありがたい。

3Dニット シャーク
クラーゲス／9600G

3Dニット ホエール
クラーゲス／9600G
立体構造をしたざっくり編みのニット。"シャーク"は人目を引く大胆なカラーリングと海を泳ぐサメのデザインが、"ホエール"は控えめなカラーリングとクジラが特徴。ゆったりバージョンも。

Pick Up

ワケワカメニット
シチリン／9600G
"クレーター付近でケバケバの生物を目撃した"という巷の噂から考案された図案。本来はパーティー気分で着るアイテムだが、いかにダサかっこよく着るかを競う者たちもいる。

アロメサイクルベスト
アロメ／11800G
空力性能をとことん追求したサイクリング用ベスト。体にフィットして動きやすく、通気性と速乾性に優れているので激しいバトルにもピッタリ。多種多様なスポンサーのロゴが目を引く。

ゴマサバスポーティージレ
シチリン／11800G
常識に囚われないデザインを追求するシチリンだけあって、機能性や使い心地はもちろんトレンドカラーを意識。メッシュ素材でできた背中のポケットにはナマコフォンがすっぽり収まる。

タカアシプロテクターレッド
エンペリー／6200G
衝撃を吸収し、胸部をしっかり保護してくれるプロテクター。自然な装着感で動きやすく、激しいバトルでも安心。プロテクター下のトップスも密かにオシャレで、1枚でも着られる。

タカアシプロテクターライム
エンペリー／6400G

ウミボーズ アウェイ
ヤコ／8900G

ウミボーズ ホーム
ヤコ／8700G
バンカラのバスケチーム“ウミボーズ”のユニフォーム。“アウェイ”は存在感を放つ胸元のストップウォッチがポイント。オーバーサイズな白Tと重ねた“ホーム”も最高にかわいい。

モンスター PCU56
バラズシ／12000G
バラズシが独自開発した最新素材を使用しており、バンカラ地方の荒々しい過酷な環境にも耐えうる高機能なアウター。おしりをすっぽり包むので、極寒の地でも暖かくて重宝する。

バラズシヤッケ
バラズシ／5200G
ミリタリーデザインをオマージュしたヤッケは、防火、防塵の高気密コットン素材でできており、ハリがあってタフ。前面の大きなポケットには小腹を満たすお菓子を入れるのが流行中。

フィレジャケット
シチリン／12500G
MA-1とデニムの異素材ミックスは、“再構築”をテーマに掲げるシチリンらしいカスタム。白いTシャツの上にさらりと着るだけで様になる、オシャレの最高峰をいくジャケット。

オールウェイズファン
フォーリマ／11300G
腰の辺りに付いた静音のファンで外気を取り込み、汗を気化させる空調服。作業着のように機能的でありながらデザイン性に富んでいて、バトルや街などシーンを選ばずに着れると人気。

オスモル アイボリー
シグレニ／3500G
環境問題に取り組むシグレニだからこそ生まれた、リサイクルポリエステルを使用したフリースジャケット。軽量かつ高い保温性が、寒冷地でのバトルにピッタリ。やさしい配色もうれしい。

オスモル アース
シグレニ／5550G

アナアキダブルジャケット
アナアキ／12000G
ナキブカゾーマ同様に“略奪”をテーマにしたアナアキのコレクション。ゆでダコギャングの象徴である真紅のボディがイカつい。袖をひとまくりすることでアウトロー感が漂う。

ハンティングジャケットKK
シグレニ／3400G
厚手で丈夫。機能的なポケットが多数取り付けられており、マスタードイエローの生地に浮かぶステッチがかわいい。襟と袖に用いられた上質なコーデュロイは柔らかい肌触り。

バラズシダッフル
バラズシ／12000G
オーセンティックなダッフルコートのモデルを、バラズシらしく仕立てたアイテム。トグルやボタンはすべて留めて硬派に着こなすのが、いちばんかっこいい“わかってる”着こなし。

バラズシピーコート
バラズシ／9900G
高級感あるメルトンウール素材のピーコート。武骨でオーセンティックなデザインは、ミリタリーに通じる若者からの評価も高い。防寒機能が高いため、トップスはTシャツ1枚でも余裕。

イチニンバオリ
シチリン／10500G
深みのある藍染めが魅力。アシンメトリーに配置された波の文様は、シチリンのロゴのカーブをアレンジしたもの。ダシの効いたデザインが、粋な着こなしをしたいバンカラっ子に人気。

マウンテン アオサ
シグレニ／3370G
軽量で、遠くからでも視認できるように配色にこだわって作られたマウンテンパーカー。羽織りやすく、畳めばコンパクトサイズになるので、おでかけ用に1枚持っておくと便利。

ヤコナイロン ノスタルジア
ヤコ／9900G
ヤコのロゴを大胆にあしらった、ノスタルジーを感じさせる配色のナイロンジャケット。特徴的な切り返しがポイントで、オーバーサイズで着こなすのがオシャレ。後ろ姿もかわいい。

バラズシライナー
バラズシ／9500G
ボタンの数と位置、縫い目など、ライナージャケットのディテールが忠実に再現されており、ミリタリーアイテムへのリスペクトを感じる。タートルネックとの相性がピッタリ。

チェックテーラード
ジモン／3500G
正面から見たときにチェック柄が揃っているという、職人技が光るこだわりのジャケット。クラシカルな印象ながらも、エルボーパッチによりスポーティー感とカジュアル感がアップ。

アナアキダッフル
アナアキ／8800G
“略奪”をテーマにしたアナアキのコレクションのひとつ。フロントとバックに施された殴り書きのようなグラフィティには、まさに反骨精神を示すメッセージが書かれている。

ミライスタージャケット
クマサン商会／非売品
ミライのアイドルをイメージして作られたジャケット。暗闇でも光る生地と鮮やかに光るチューブは、着る者をスターに。チューブはイソギンチャクをイメージしている。

エネルギッシュジャケット
クマサン商会／非売品
人気者が着ていそうな赤×黒が印象的なバイカージャケット。五分袖とちょっとゴツめのグローブがベストマッチ。背面には、飲めばシュワっと爽快なエナジーソーダの大きなワッペンが。

SHOES

カモスニーカー ドトン
エゾッコリー／8800G

カモスニーカー スイトン
エゾッコリー／9500G

アイロニックの人気モデル “デカロニック”とエゾッコリーがコラボ。その異色コラボに発売前から“即完必至アイテム”と大きな話題になったほど。もこもこした太めの靴紐がアクセント。

エギング3 アオクロシロ
エンペリー／1200G

エギング3 アカシロクロ
エンペリー／1200G

動きやすいよう研究されたソールを持ち、クロスさせたベルトが特徴的な“エギング3”シリーズ。ほかのシリーズにはない、ころんとした丸みのあるデザインが愛らしく、街歩きにも最適。

グッピーフラミンゴ
アロメ／1300G

[illegible]ナイロンを編み込んで作られ[illegible]「有機的なシェイプとネオ[illegible]」と、一部のスニ[illegible]熱狂的なファンを生んだ。

Pick Up

グッピーフルブラック
アロメ／1300G

“フラミンゴ” のモノトーンバージョン。オシャレ上級者たちはあえてフォーマルなファッションに合わせることで、カジュアルテイストを加える外しアイテムとして活用しているらしい。

エギング3xHF
エンペリー／非売品

“エギング3”とすりみ連合の特別コラボモデル。“xHF” はフウカコラボ。ダークトーンを基調としたボディを流れるように走る、メタリックな“エギ”がポイント。着脱がラクで軽い履き心地。

エギング3xOU
エンペリー／非売品

ウツホとのコラボモデル。“エギング” シリーズでは珍しい淡いカラーリングがポイントだが、ウツホらしさを感じさせる力強さがある。スエードとの質感も相まって春らしさが溢れている。

エギング3xMT
エンペリー／非売品

マンタローとのコラボモデル。ニュートラルなグレー地に高彩度のオレンジが映える。マンタローの大きな体に包まれているような安心感と安定感があり、泳ぐように走れそうなアイテム。

テンヤ8 レッド
アロメ／2900G

スター選手“エンヤ”のプレイヤーとしての経験から作られた機能性抜群のスニーカー。クッション性に富み、調節バンド付きでどんな足にもフィット。後ろには背番号の8がデザイン。

Pick Up

エギング3 ZY
エンペリー／8500G

クロスさせたベルトが特徴的なスニーカー。動きやすいよう研究されたソールで、どんな足でもフィットする。左足に付いたタグは特別モデルを意味するもの。間違えても取っちゃダメ。

イカサシ スクランブル
アロメ／2200G

赤やグリーンを使ったサイケデリックな布地の上に、イカサシのような透き通った伸縮性のある素材をプラス。足を包み込むほどよいホールド感があり、長時間履いても疲れ知らず。

MOVEレッド
アロメ／2200G

足袋のような独特な形状をしたランニングシューズ。アロメのアイテムの中でも最新のテクノロジー素材を使用しており、軽量で長距離を走っても足が疲れにくく、ランナー憧れの一品。

サイクルシューズ エナジー
アイロニック／8200G

サイクルシューズ ソーダ
アイロニック／8200G

軽量で頑丈、しかも通気性抜群。ダイアル調節付きで、歩きやすさを重視しており、サイクリングがてらバトルをする若者たちがよく履いている。キレイ目のソックスと合わせても○。

ザ・ベース ルーキー
バラズシ／8200G

ザ・ベース ボス
バラズシ／8200G

スエード×ナイロンの異素材ミックス。ミリタリーの武骨感がありつつも厚めのラバーソールと細身なフォルムで、どんなファッションやシーンにもフル活用できてしまう。

サンモンヨウキャンバスHi
クラーゲス／非売品

すりみ連合3人の家紋で構成されたモノグラム“サンモンヨウ”柄を取り入れたキャンバスHi。レトロポップなアイボリー×パープルの配色に、プリント部分のグロス加工が効いている。

チャッカブーツ サンド
バラズシ／10200G

スエード素材を使用した柔らかな履き心地で、力の抜けた大人なカジュアルスタイリングが得意。天然ゴムのソールはクッション性が高く、上品なルックスながらバトルでも頼れる存在。

デッキシューズ フカイリ
ロッケンベルグ／2200G

耐水性に優れ、ウェットな床でも滑らない、上質な素材と確かな技術で仕上げられた定番のデッキシューズ。エイジング加工が足元を華やかに彩ってくれる。素足で履くのが心地いい。

フィッシュボーンワラチ
ロッケンベルグ／850G

サーフィンブームの流れに乗って人気となったワラチ。皮バンドで丁寧に編み上げられたフォルムは高級感があり、南国リゾートを感じさせる。夏のおでかけに一緒に連れて行こう。

チゴフグスリッポン
エゾッコリー／4200G

見ているだけで気分が上がる、カラフルでポップなチゴフグのパターンを取り入れたスリッポンスニーカー。リリース当初から話題となり、いまや不動の人気を誇るモデル。

ダックブーツ スノウ
バラズシ／9200G

ダックブーツ カクタス
バラズシ／9200G

防水性と通気性に優れ、水場でのバトルにピッタリなレースアップブーツ。“カクタス”はサメをモチーフにしたアイゼンを履かせたもので、氷の上でも滑ることはなく安心安全。

カセブカブーツ レッド
アナアキ／10999G

“略奪”をテーマにしたアナアキのコレクションのひとつ。頭に血が上って真っ赤になったギャングのタコがモチーフで、この深紅のカラーはコレクションを象徴するものになっている。

カセブカブーツ ダップル
アナアキ／9500G

毛付きフェイクレザーにダップル模様をプリント。発表当時、過激なアナアキファンから「赤でないギャングタグのギアは認めない」と厳しい評価もあったが、“レッド”と同程度の人気に。

サンモンヨウダックブーツ
バラズシ／非売品

“サンモンヨウ”柄を取り入れたダックブーツ。テック感がありつつもどこかラグジュアリー感が漂うのは、赤×黒の大胆なカラーリングにシルバーのアイレットが効いているから。

ローラーシューズGT
ウマサン商会／非売品

シルバーのゴツめなボディと後部のジェット噴射口が未来感を感じさせるイカしたデザイン。とっても速そうな見た目だが、意外と重量級なのでスピードはそれほど速くなかったりする。

BSサンダル
シチリン／400G

ブロブスマイル（BS）がプリントされたビーチサンダル。かかと位置には笑顔のBSロゴが、裏面の同じ位置には目がバッテンになったBSロゴがエンボス加工で入っている。

サンモンヨウシャワサン
エゾッコリー／非売品

“サンモンヨウ”の柄を取り入れたシャワサン。ゴールドに光る生地が目を引くサンチャ感の強いアイテムなので、落ち着いたカラーのソックスと合わせてクリーンに履くのがオススメ。

ペリペリサン マゼンタ
アイロニック／650G

ペリペリサン オレンジ
アイロニック／650G

ペリペリサン シアン
アイロニック／650G

ハッとするようなカラフルなラインナップで自由を表現している“ペリペリサン”コレクション。シンプルなソックスもいいが、タイダイカラーを合わせるのも味わいがあってよし。

エゾックロッグ ネイビー
エゾッコリー／720G

エゾックロッグ レッド
エゾッコリー／940G

エゾックロッグ イエロー
エゾッコリー／830G

エゾックロッグ グリーン
エゾッコリー／1050G

カラーリングはもちろん、チャームにも遊び心を忘れないエゾッコリーが提案するゴム製サンダル。シンプルもよし、ゴテゴテもよし、好きにカスタマイズしてオリジナリティをアピール。

スリミクロッグ クサリ
エゾッコリー／非売品

エゾックロッグとすりみ連合のコラボモデルで、“クサリ”はフウカとのコラボ。イカついシルバーのチェーンはインパクト大で、どんなスタイリングもキリリと辛口に仕上げてくれる。

スリミクロッグ スタッズ
エゾッコリー／非売品

ウツホとのコラボ。存在感を主張するゴツゴツとしたスタッズが散りばめられてパンクな雰囲気を漂わせつつも、ウツホらしいポップなカラーリングでさわやかに。軽い履き心地。

スリミクロッグ マーブル
エゾッコリー／非売品

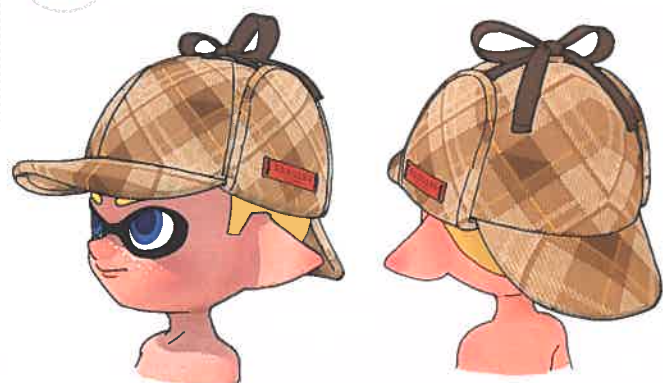
マンタローとのコラボ。黄緑を基調としたマーブル模様に、マンタローの力の抜けた目元のビジンズがリラックス感たっぷり。アンクルストラップが前方にあるので、つっかけ感覚で履ける。

デザインから製品になるまで

Rough design

各ブランドが製品を生み出す前に描いたデザイン案を特別に入手。デザインの緻密さもさることながら、フォルムやフィット感などが丁寧に考えられている。

ホイールキャップ

スラグンサンバイザー

UNDER

SILVER/METALLIC MATERIAL

イシダイストライプスキャップ／イシダイストライプスユニ

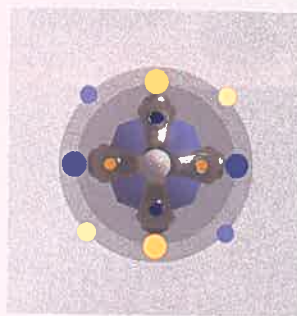
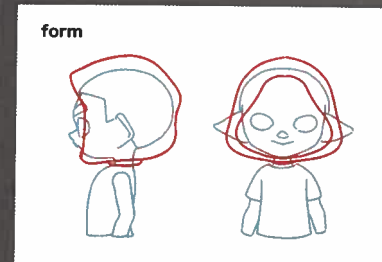
ムギワラクロシェ

エゾッコリーボーラー

イカフィットメットPRO／イカフィットメット

ブリムリブハット

ナイトハイクキャップ

ハイパーミライヘッド／ハイパーミライスーツ
エル・カラマレス
オクトパールクラウン
マミイカヘッド
キャプテン・カサゴ
スケアリーフェイス
form
カイトウ・フック
カイノワ／キンギョマスケラ
plan
ウキアガールRB
クラムグラス
マルミエールUD
FRONT
SIDE

ビバレッジT リコピン

ワクワクメニット

plan

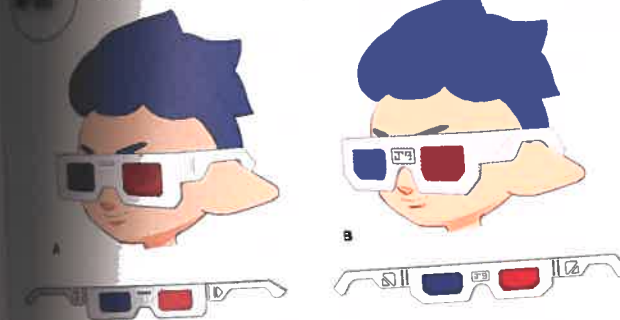
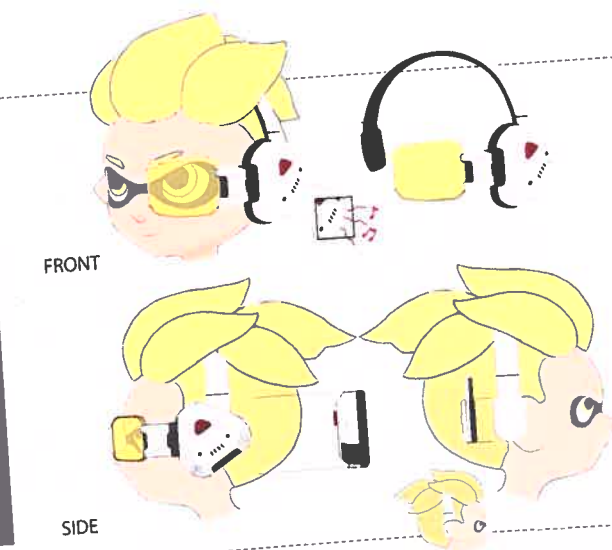
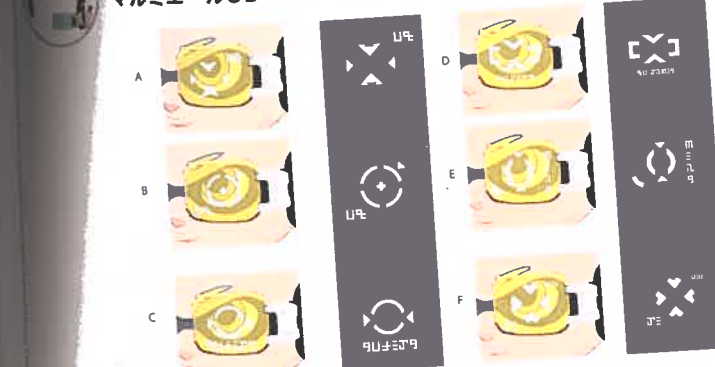
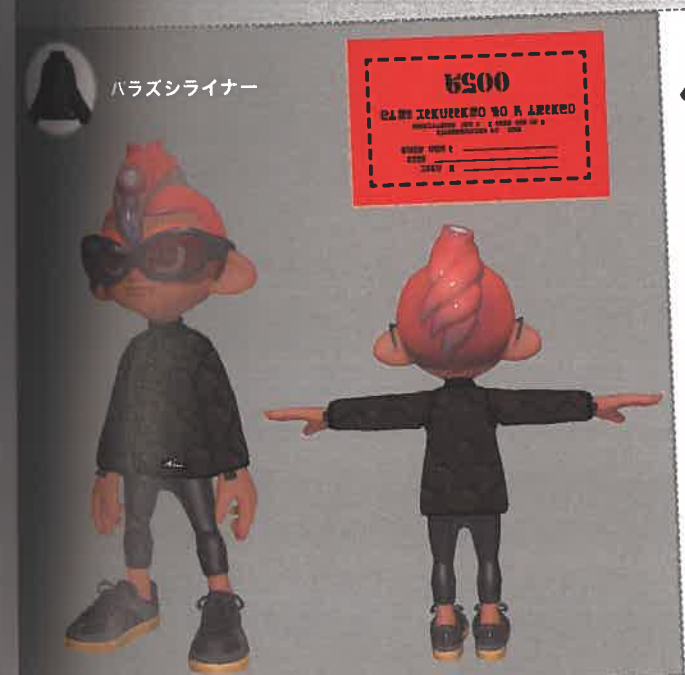
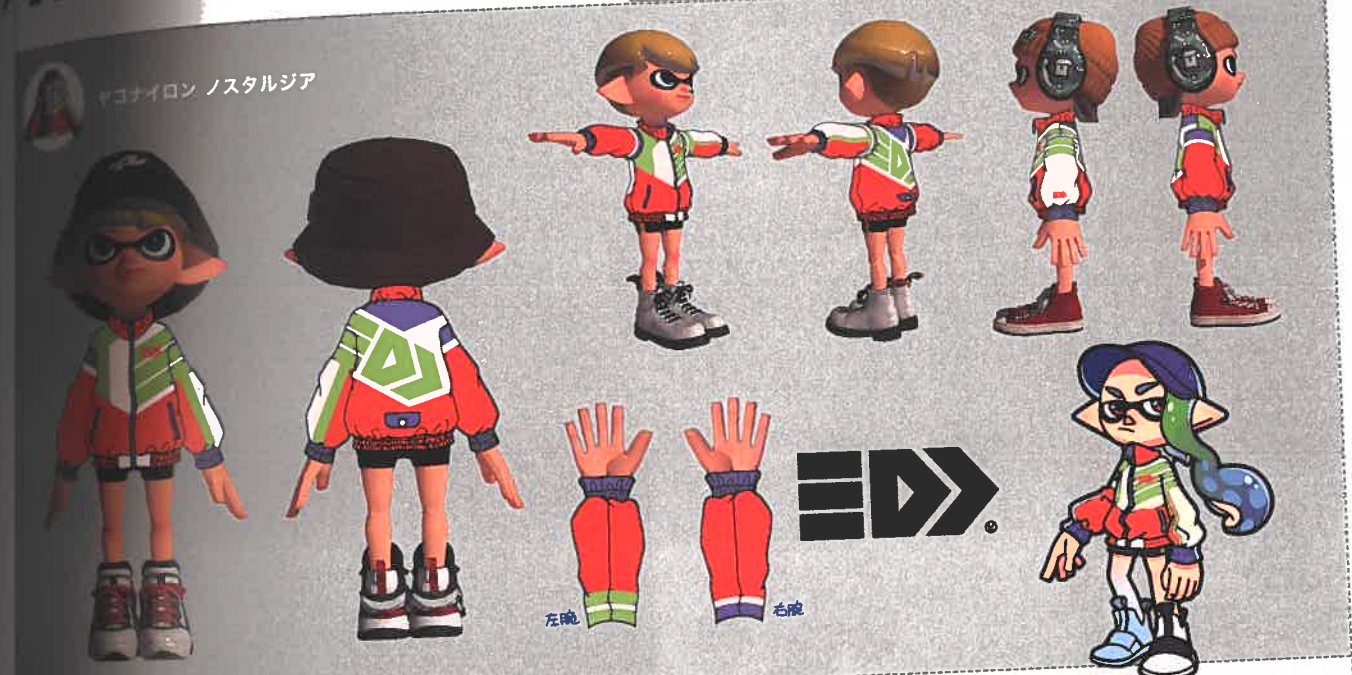
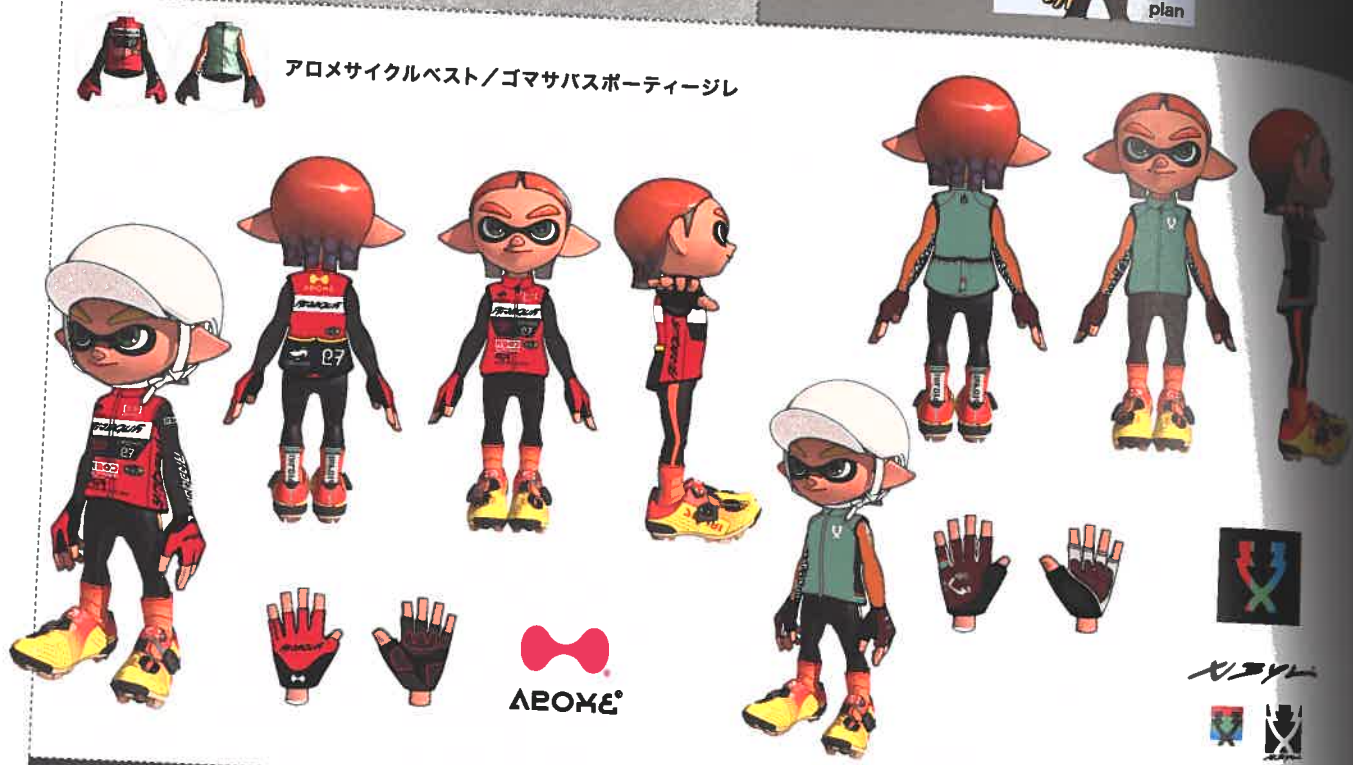
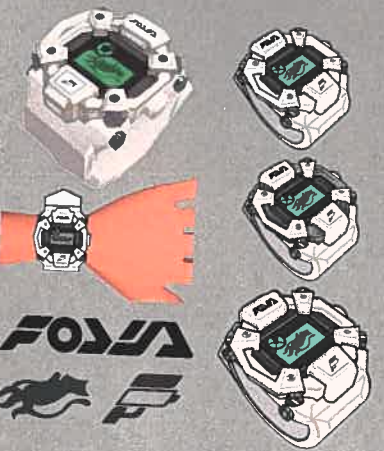
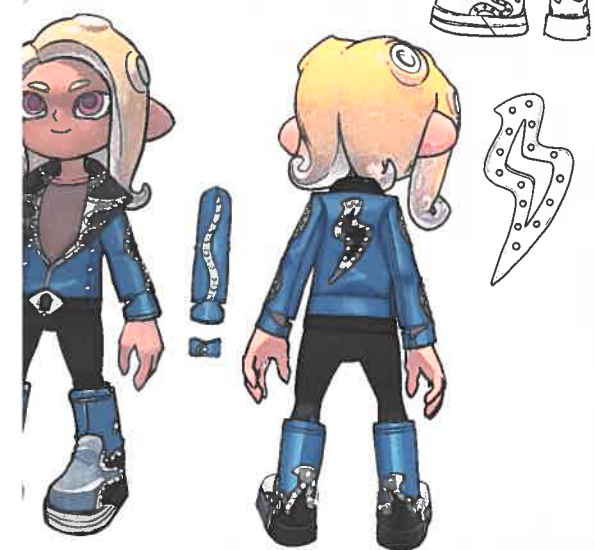
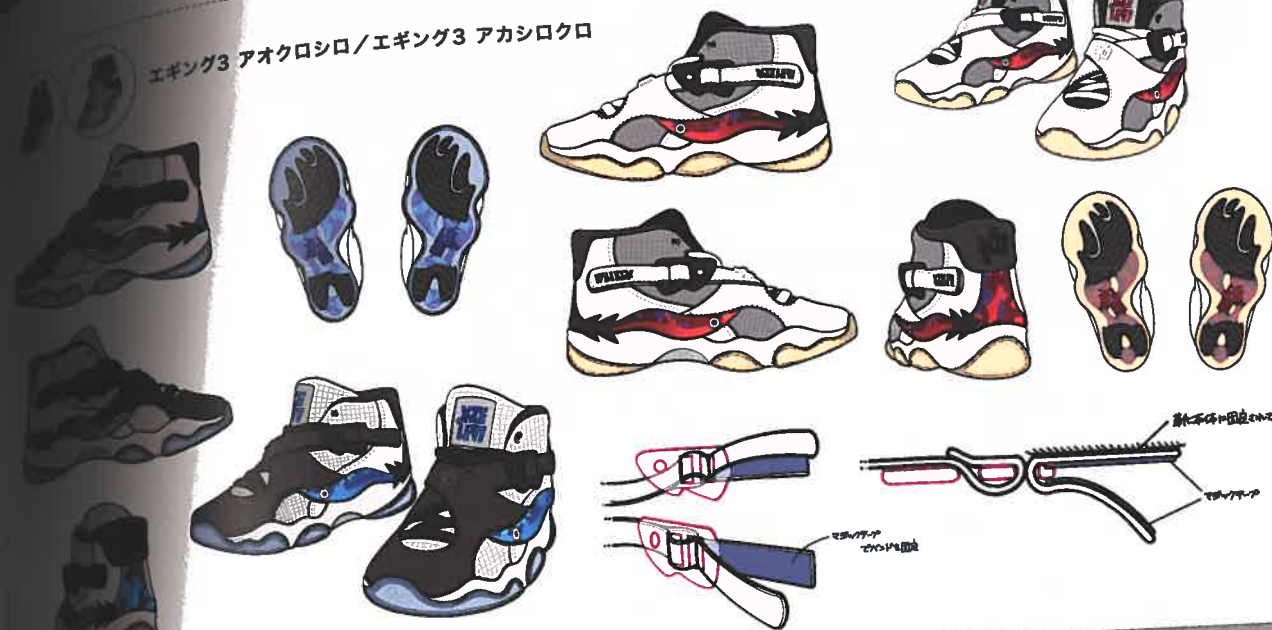
ニンバオリ
マウンテン アオサ

アロメサイクルベスト／ゴマサバスポーティージレ

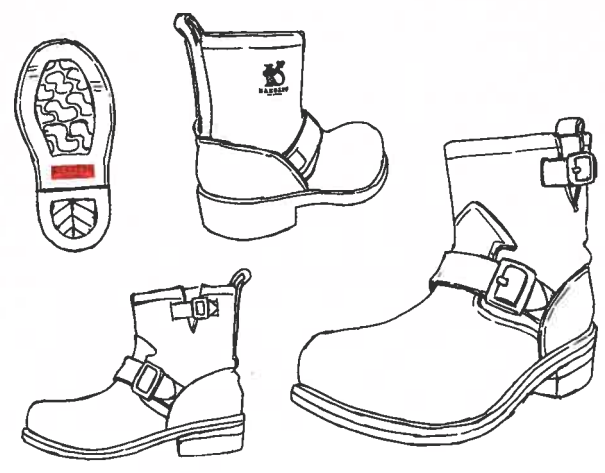
ヤコナイロン ノスタルジア
左腕
右腕

アナアキダブルジャケット
パラズシピーコート

バラズシライナー

チェックテーラード

アナアキダッフル
カリスマシンガージャケット
ミライスタージャケット
ハリキリインベンター
エネルギッシュジャケット
エギング3 アオクロシロ／エギング3 アカシロクロ
エギング3xHF
エギング3xOU
エギング3xMT
グッピーフラミンゴ
クラゲイターAKA

サイクルシューズ エナジー／サイクルシューズ ソーダ

サンモンヨウダックブーツ
サンモンヨウキャンバスHi
サンモンヨウシャワサン

ダックブーツ カクタス

エンジニアブーツ

カセブカブーツ ダップル

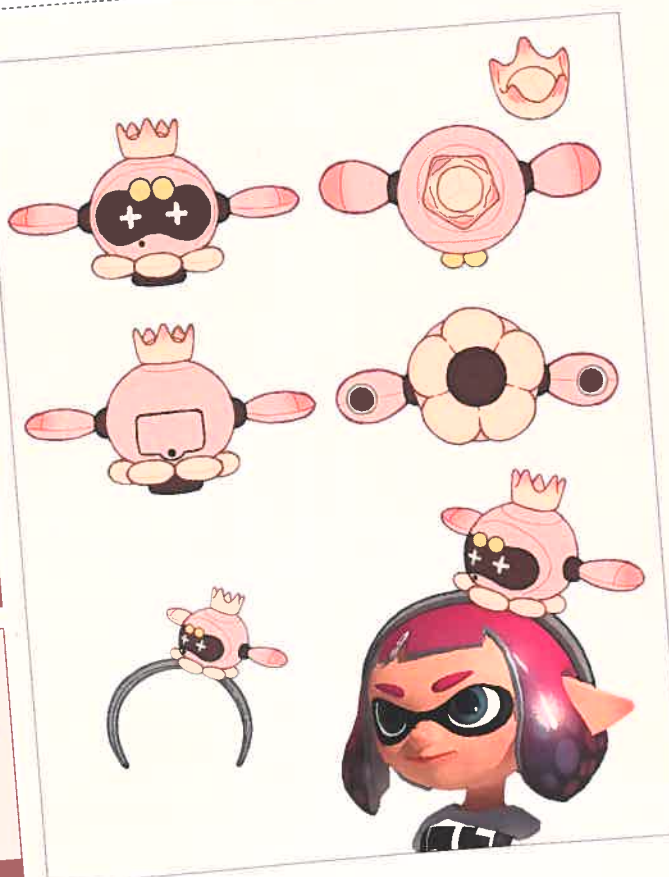
カモチャームブーツ

ローラーシューズGT

カリスマシンガーブーツ

ノックアウトシューズ

エゾックロッグ ネイビー

おいちい、
シリアル

Report LINE UP
No.01
ナンプラー遺跡
No.02
タラポート
ショッピングパーク
No.03
タカアシ
経済特区
No.04
オヒョウ海運
No.05
バイガイ亭
No.06
ネギトロ炭鉱
No.07
カジキ空港
バトルに励む若者たちよ！ 本能のままに暴れ回っていて気づかないだろうが、君たちがステージとして使用している場所は文化財だったり商業施設だったりして、とても貴重で意義のある場所なのだ。ステージについて理解を深め、心してバトルせよ!!
気になる情報をスクラップ!!!
バトルステージガイド

Report No.01

ナンプラー遺跡

一面砂だらけの荒れた大地に、突如拓けた場所がある。ここは最近観光地として人気のナンプラー遺跡。顔料やレリーフの保存状態がよく、そこから当時の文明を紐解こうと歴史のロマンに魅入られた考古学者たちが日夜調査を行っている。なお、発掘に関しては253ページの"バンカラジャーナル"に詳しい記載があるので参考にしてほしい。

253ページの"バンカラジャーナル"

▽事務所・クリーンルーム掲示物

▽発掘予定看板

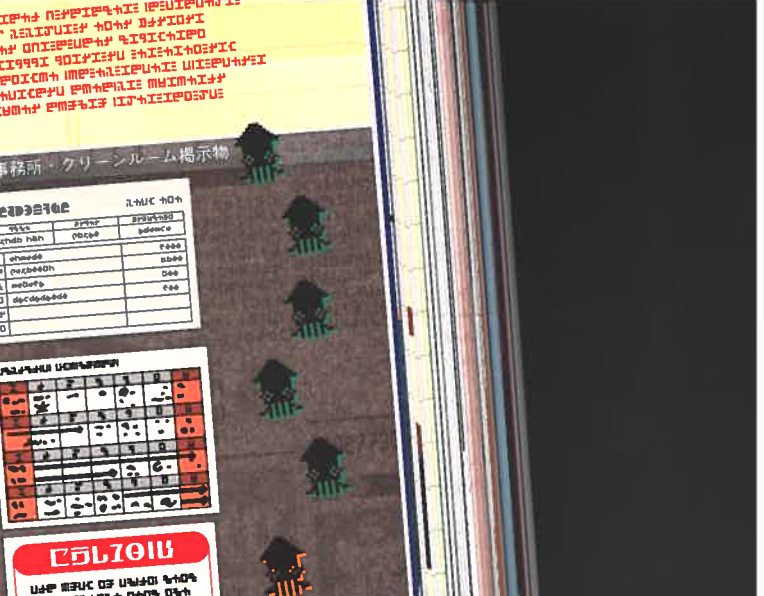
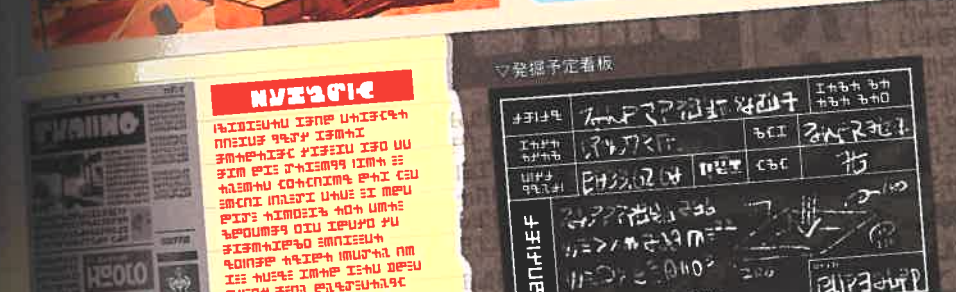
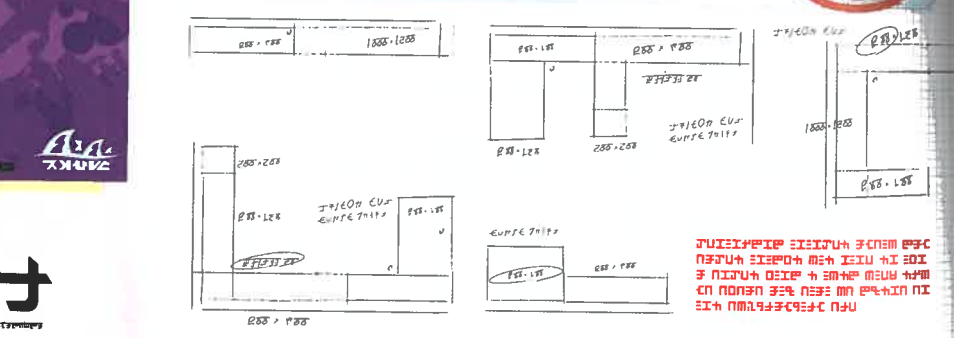
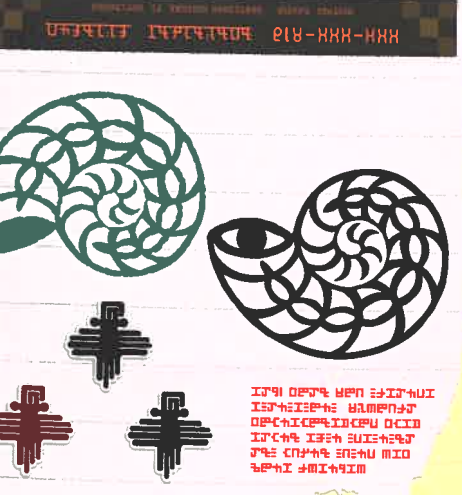
▽発掘予定看板

▽発掘エリア番号

▽事務所入り口

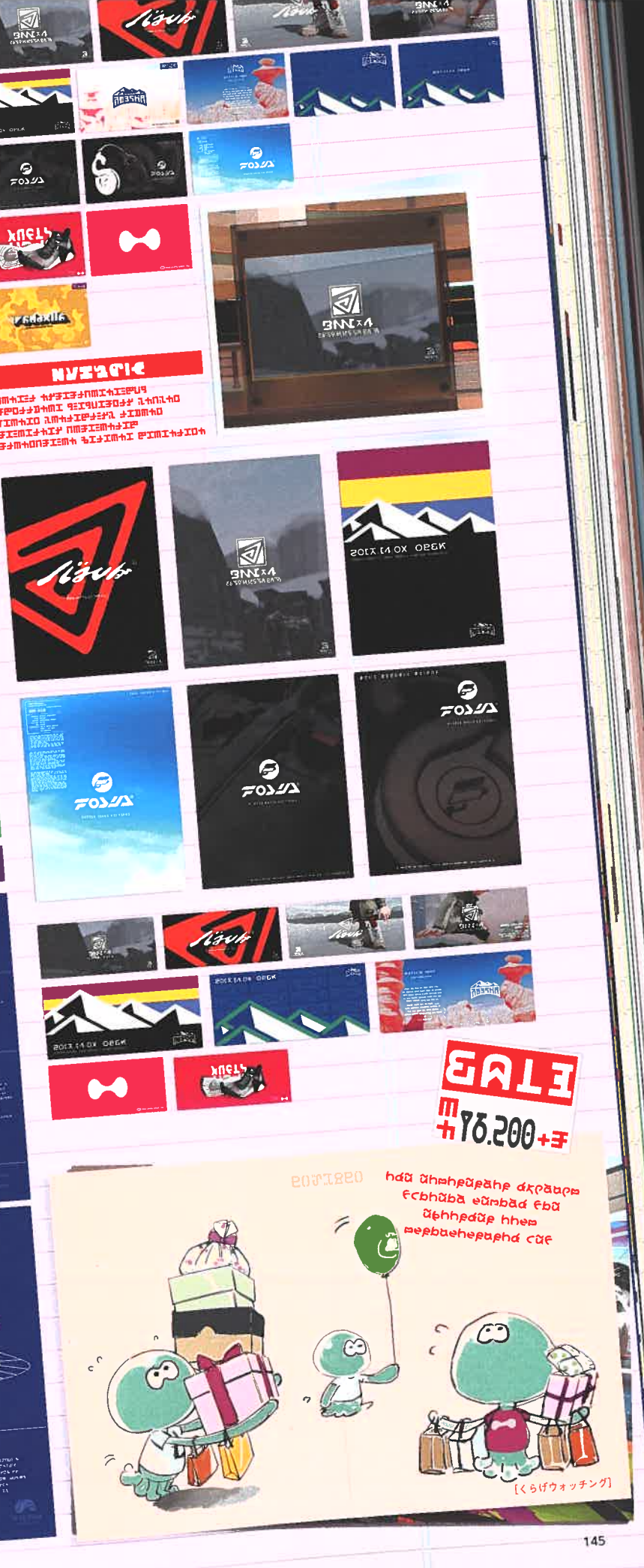
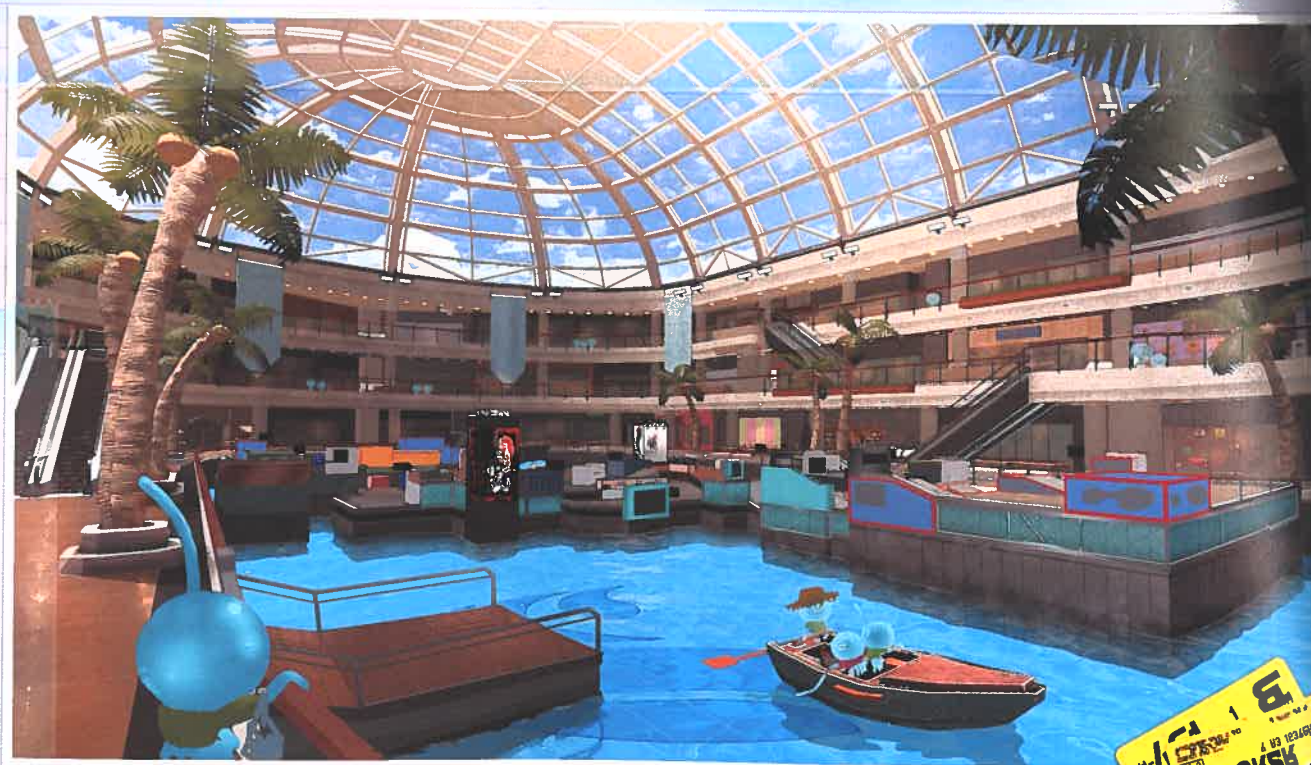
▽展示キャプション

▽鉄箱

[くらげウォッチング]

タラポート ショッピングパーク

中央の巨大な水盤をぐるっと囲むように作られた、円形の大型商業施設。水辺の少ないバンカラ街のオアシス的な存在で、飲食店やアパレル、アウトドアショップなどが軒を連ね、連日若者やファミリーが足を運ぶ。水盤の上を周遊するボートが人気で、休日ともなると長い待機列ができるほど。

▽タラポートマスコット（タラちゃん）

▽アウトドア広告（大）

◁アウトドアブランドシールロゴ

◁ポスター用ステッカー

アウトドア広告（小）▷

▽ご注意シール

△ペナント

［くらげウォッチング］

▽注意喚起

▽カード取り扱い

▽非常口

▽消火器マーク

▽AEDマーク

Report No.03

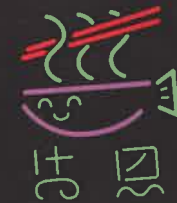
タカアシ経済特区

再開発による高層ビルの建築ラッシュが起きているタカアシ経済特区。海沿いには低層の建物が並び、その先にヤガラ市場を確認することができる。バトルのステージにもなっているビル群では凄まじい勢いで風が通り抜けており、このビル風を利用したハンググライダーが人気。一度飛び立つと何時間も空中散歩を楽しむことが可能だ。

△ゼネコンロゴ

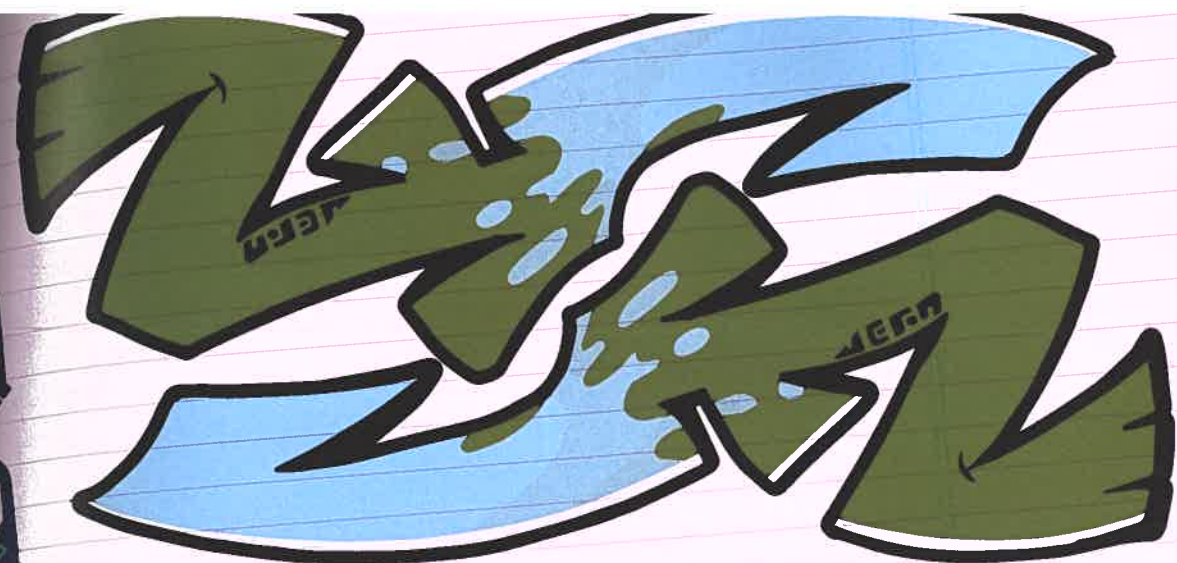
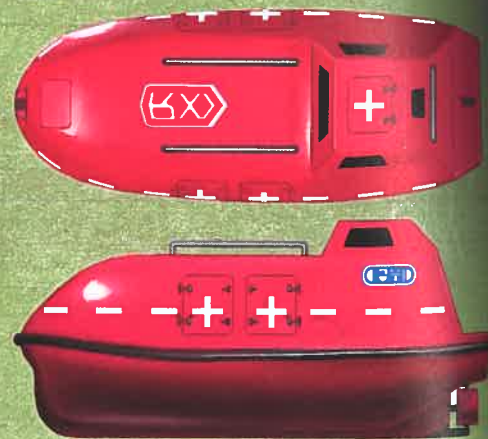
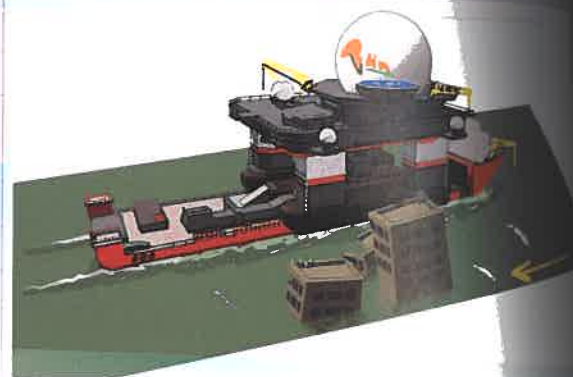
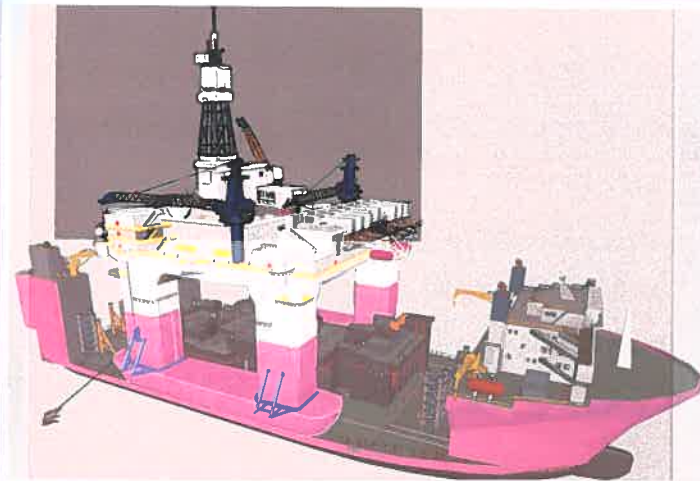
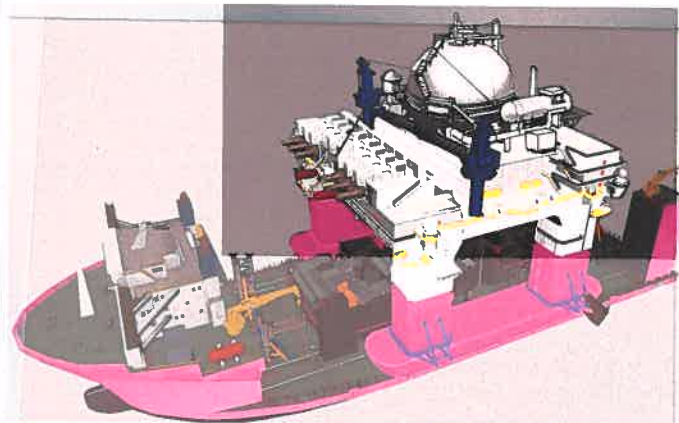
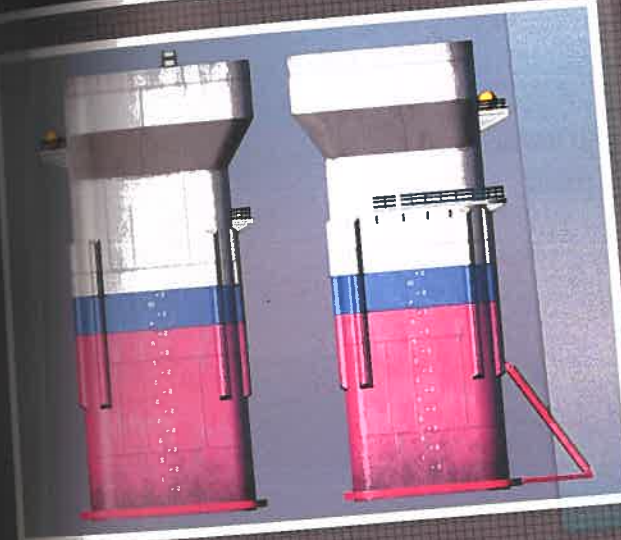
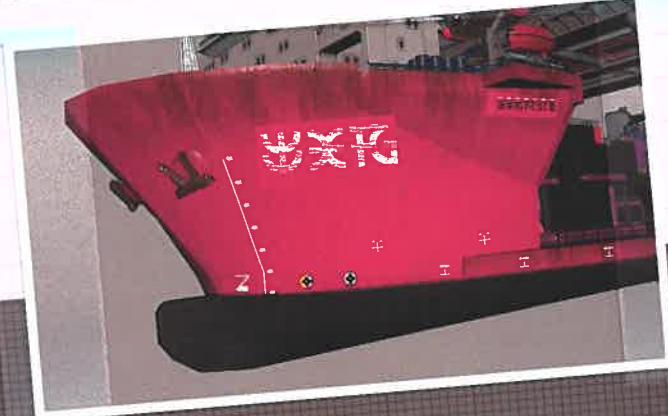
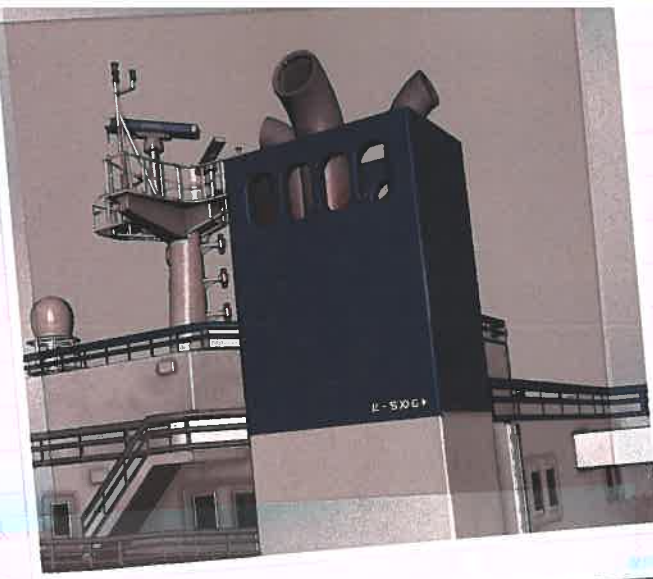
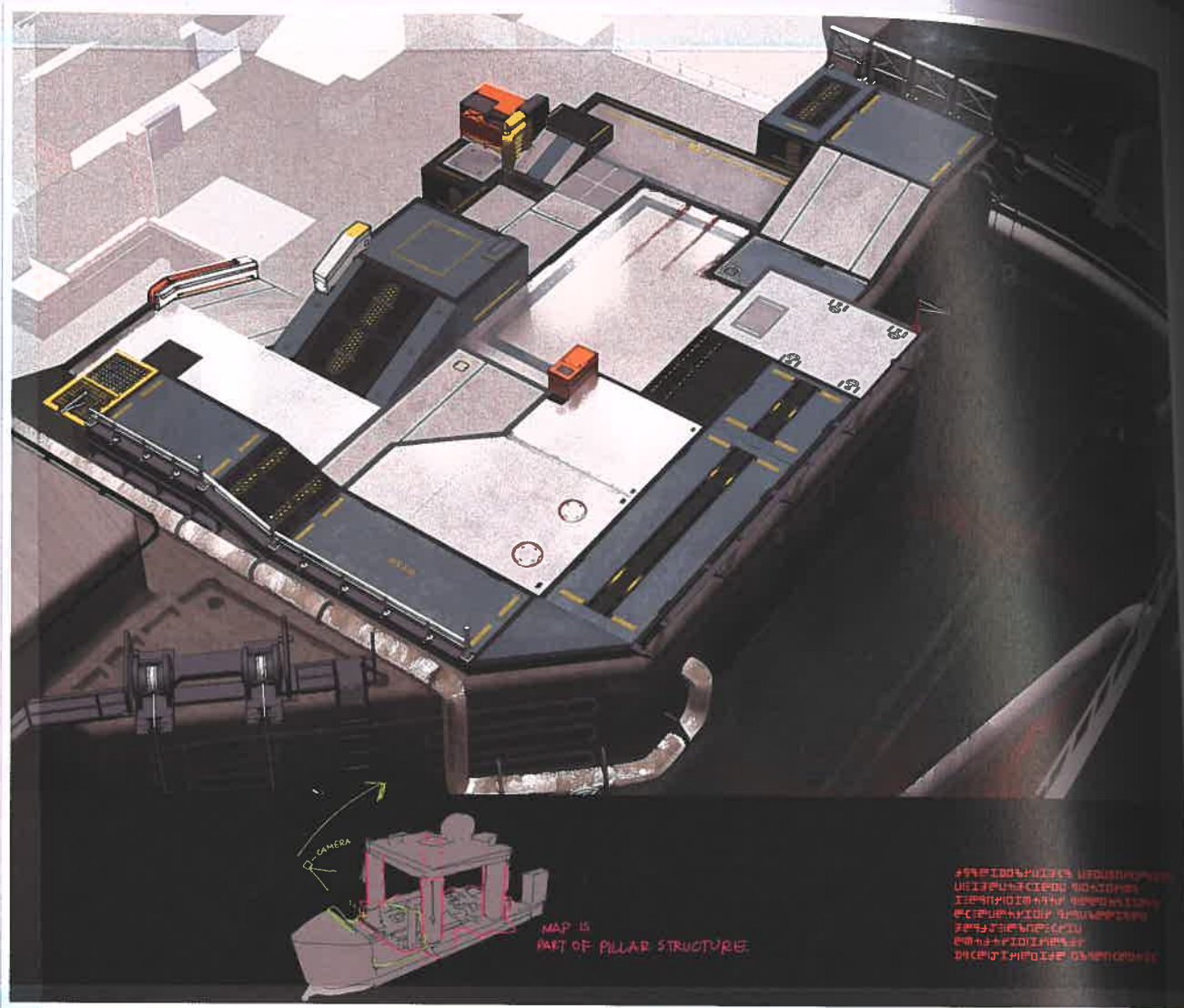
▽企業ロゴ

▽標語

Report No.04

オヒョウ海運

すぐ近くに流氷が迫る、極寒の海域を進む巨大な運搬船。船体を少し沈めることでバンカラ地方の荒々しい波の影響をほとんど受けずに航行できる特殊な船で、どんな重量級の建造物でも運搬可能。ステージ上から見られるのは船体のごく一部だが、全貌は154ページのようになっていて、とても大きい。バトルで体が冷えないように注意。

CAMERA
MAP IS PART OF PILLAR STRUCTURE

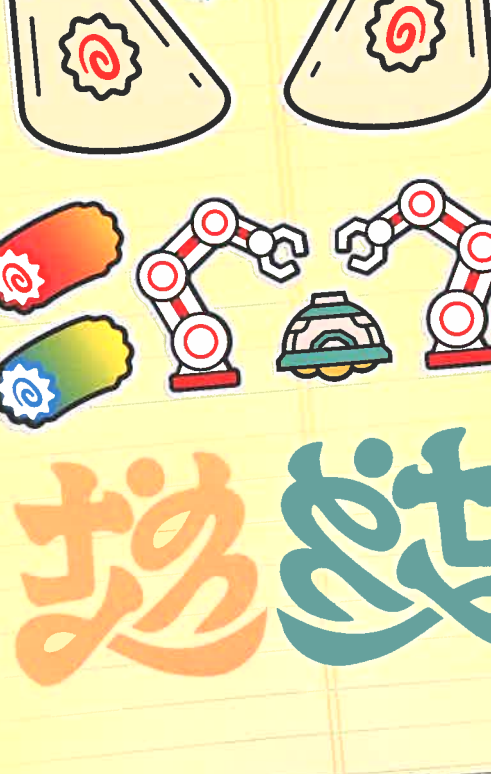
Report No.05

バイガイ亭

宙吊りにされた巨大などんぶりが目を引くラーメンチェーン店。ロボットが調理や配膳の一部を行っており、注文から提供までわずか数分。季節ごとにメニューを変え、消費者のニーズに先回りして応える企業理念がすばらしい。店内にはおなじみのテーマソングがエンドレスで流れている。バイ バイ バイガイ バイガイ亭♪

▽期間限定メニューポスター／目玉商品広告

湯切りロボ

▽ラーメン関連ロゴ

▽受け渡し口

ネギトロ炭鉱

近年多くの観光客が押し寄せ、再び賑わいを見せるようになったネギトロ炭鉱。作業道具の展示や案内板の設置、昇降機の導入など、観光を意識した整備がなされ、当時の生活についてしっかり学ぶことができる。炭鉱までのアクセスは、街から出ている観光船を使うのが便利。上部にかわいらしいかもめのオブジェが乗っている船が目印だ。

▽キャプションパネル(中)

▽キャプションパネル(大)

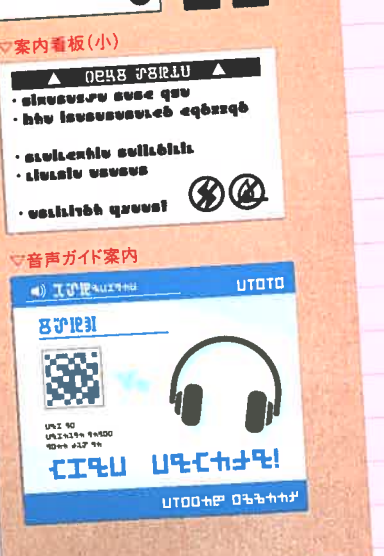
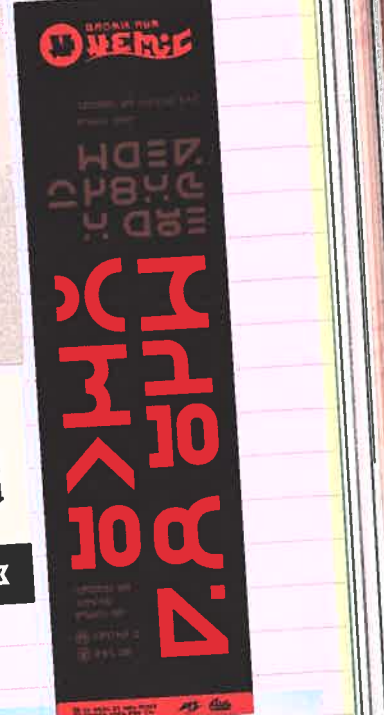
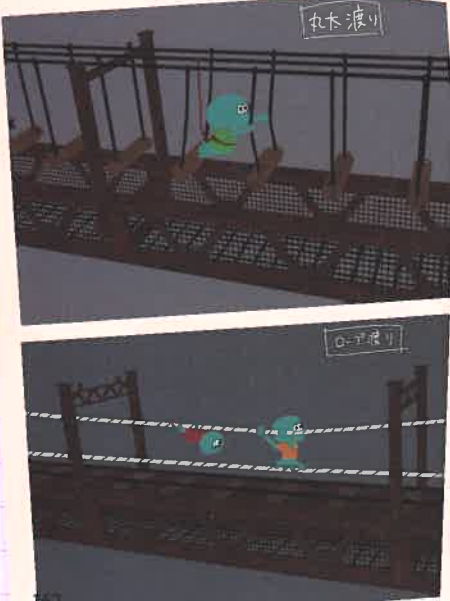
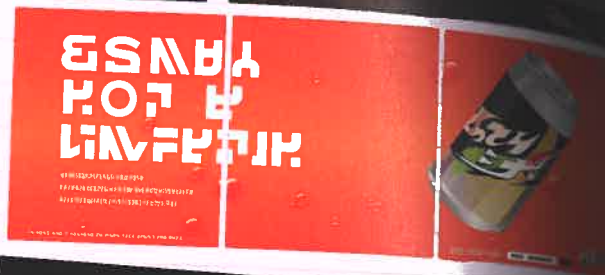
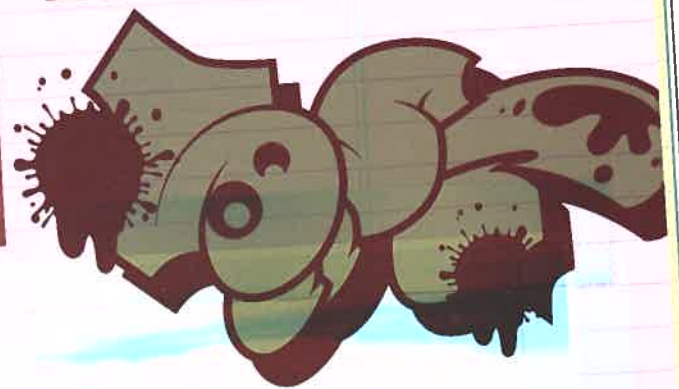
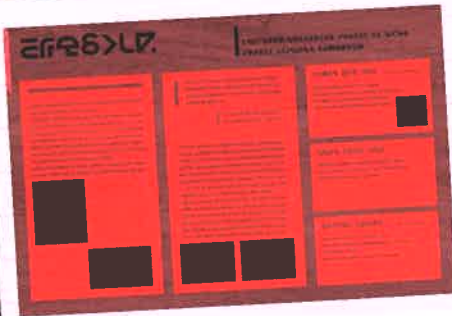
▽案内看板(小)

▽音声ガイド案内

▽看板（大）

▽看板（小）

［くらげウォッチング］

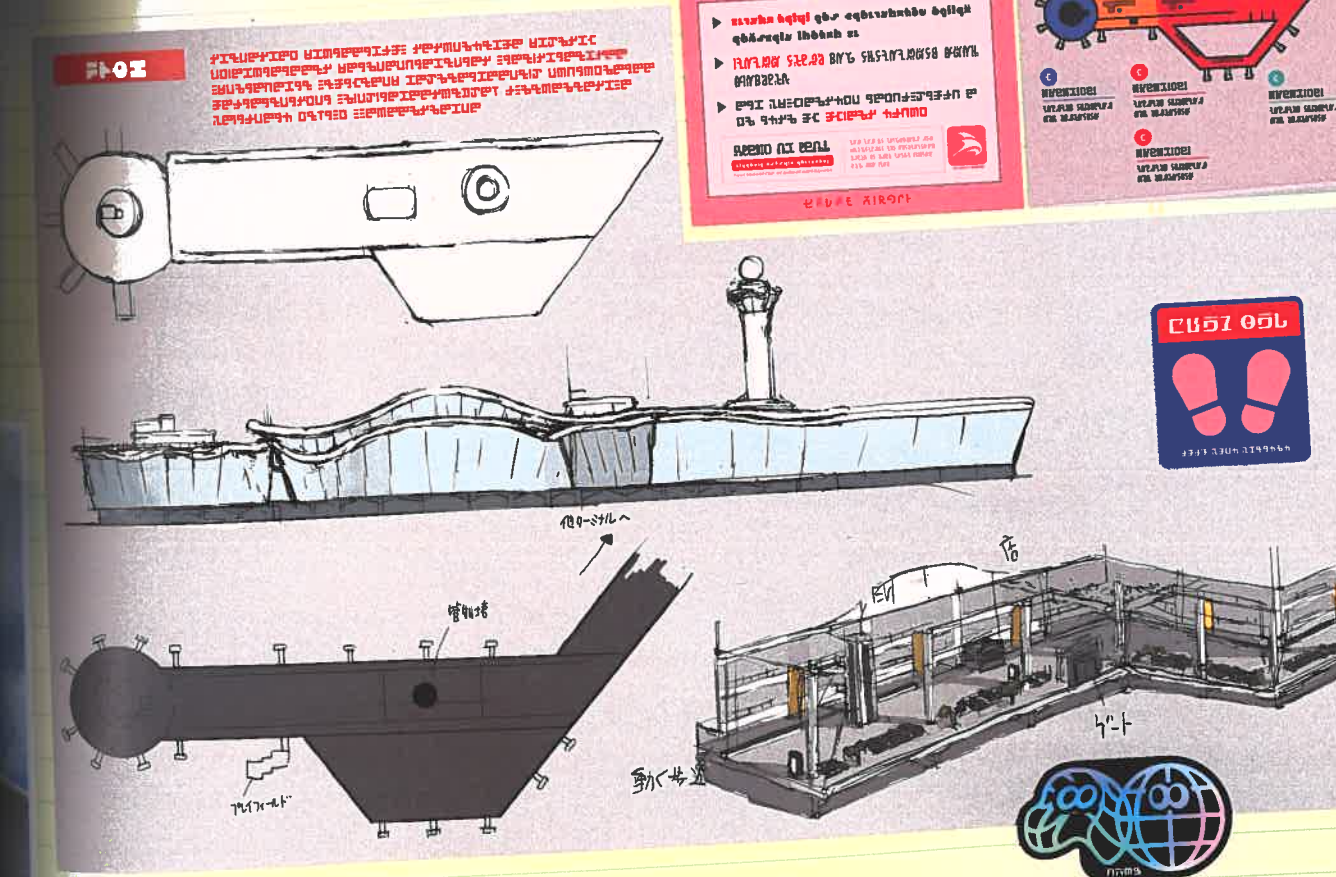
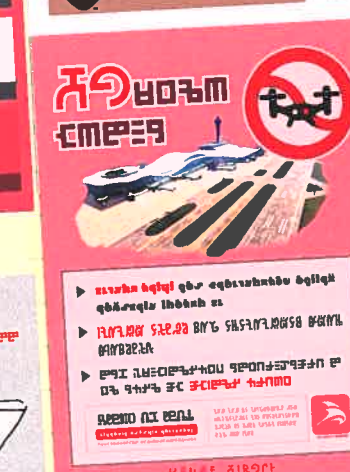
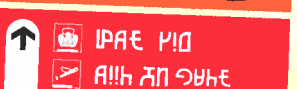
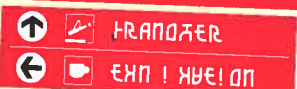
Report No.07

カジキ空港

カジキ空港はバンカラ街の郊外に位置する。最近民営化されたことを機に、来訪者をもてなすための施設作りが積極的に行われており、滑走路を走る航空機や空港で働く作業員たちの姿をぼんやりと見ているだけでもなんだか楽しい。イカエアーのテンタクルズ特別塗装機は期間限定。搭乗記念のプレゼントはぜひとも入手したい。

▽案内サイン

▽カジキ空港マスコット(カジさん)

△電光掲示板

▽屋内カフェ

△トビウオエアライン

△クリオネエアライン

△エンゼルエアライン

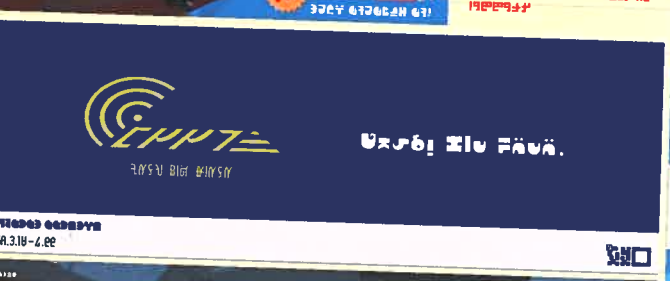
ワールドツアー仕様

航空

エアー

△ジェットイカー

△カラマリ航空

▽電光掲示板簡型広告
▽木箱ステッカー
外部点検
[くらげウォッチング]

YOKO HORNS & FRIENDS

YOKO HORNS & FRIENDS

カレントリップのヨーコ、あーちん、きたむらが始めたバンド外での活動。カレンらと仲違いしたわけではなく、内気な3人が己の精神を鍛えるため、武者修行的にバンカラ地方のライブハウスで気の合った地元の猛者たちと短期セッションをしている。

ヨーコ

[トランペット] | インクリング(特異個体)

なんとなく新しいことがやりたくなり、バンカラ地方のライブハウスにいる猛者たちと短期セッションを始めた。自分の名前を冠したバンドの中心的存在ではあるが、集まったメンバーが濃すぎてそれほど目立てていない。ライブで[illegible]泉に訪れて以降、卓球にハマっている。

あーちん

[ベース] | バフンウニ

ヨーコに誘われて参加。30万ゲソのライブ衣装をローンで買った。ライブのあとの楽屋では、その日の演奏についてキタノに説教されることが多く、凹みながらメモをとっているが、それだけ期待されていることの裏返しでもある。

きたむら

[ドラム] | ガンガゼ

ヨーコに誘われて参加。ライブ遠征中の荷物がメンバー内でいちばん多い。最近実家で子どもがたくさん産まれたので、幼生ウニたちの写真を眺めるのが癒しになっている。

感覚器を心地よく刺激するアバンギャルドなサウンド

NEW MEMBER

兵頭タオ

[トロンボーン]

ヒョウモンダコ

バンカラ琴の師範の母とホホジロ家に仕える尺八奏者の父のもとで育つ。早くに海外留学しトロンボーン奏者として独立した。ヒットチャートを賑わす曲のトロンボーンはジャンル問わず大体が兵頭タオで、いわゆるファーストコール・ミュージシャン。ソロではTAO名義で活動している。10年来のフウカの熱狂的なファンだが、ひた隠しにしている。

Toxy

[バリトンサックス]

ラッパウニ

海外を拠点に活動するバリトンサックス奏者。中学時代に入部した吹奏楽部でジャンケンに負けて残ったバリトンサックスの担当になったが、いまではバリトン以外吹く気はないとか。おもしろい話が出た際、かなりの時間差でウケるため、ひとりで笑っている姿を目撃されることが多い。

キタノ

[ギター/ボイス]

キタノクジャクイカ

50年前に結成された伝説のバンド"イロドリ風来坊"のギタリストだったが、所属していたプロダクションの経営者が横領で逮捕されバンドは解散。キタノ自身も莫大な借金を背負った。このグループのメンバーが集まるきっかけとなったジャムセッションのホスト役をしていた。

トグロ

[オルガン]

トグロコウイカ

14歳のときに国際的なオルガンコンクールで優勝。これまでにグーズフィッシュ国際音楽祭、フィルハーモニー・マッケレル、スカロップ大聖堂など、数々のリサイタルに招聘されている。セッションにはなんとなく通っていて、このグループにもなんとなく入った。ただ、現在は周囲が思うより本人はバンドを楽しんでいるらしい。ファミレスに入ったことがなく憧れている。

H2Whoa

H2Whoa

おもにハイカラスクエアで活動している新世代バンド。Wet Floorに影響を受けたSHIMAとNAGAREのふたりによって結成された。都会的な印象がありつつ、オルタナティブロック的な激しさを組み合わせた楽曲で10代の若者を中心に人気に。ライブよりスタジオでの収録を中心に活動している。

バンカラに柔らかく溶けるハイカラスタイル

SHIMA

ボーカル/キーボード

ミミックオクトパス

コンテンポラリーダンサーの姉の影響で音楽を始めた。NAGAREとは幼馴染で同じインターナショナルスクールの出身。ジャージが好きで日替わりで違うものを着ている。基本ヘラヘラとしているが、音楽に関してはみずからの美学を持ち、細部までこだわり抜くことで有名。作曲担当で、ボイスメモに録り溜めた鼻歌がもと。これをNAGAREに丸投げする。

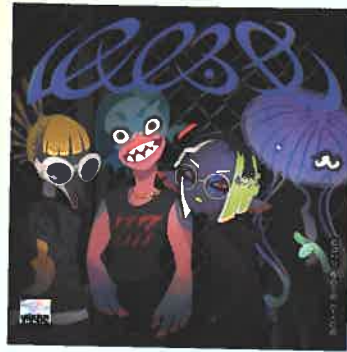
NAGARE

ギター

ナガレハナサンゴ

高校卒業後、保育士の道に進むつもりだったがSHIMAに誘われてバンドを結成。さまざまな楽器や機材に強く、編曲もできる。SHIMAからの細かすぎる注文に辟易することもあるが、基本飲み込んでいる。毎朝、自分の髪のチカチカで目が覚めるので午前中は不機嫌。Hightide Eraのギタリスト・ニシダが主宰する音楽私塾に在籍経験あり。

O.C.K

O.C.K

C-Sideのギタリスト・キクラが、そのヘヴィネスや衝動は担保しつつも、C-Sideよりも複雑で華やかな音楽を追及するために仲間を募り結成したバンド。当初は短期セッションのみのつもりだったが、重厚なサウンドがバンカラな若者にヒットし、熱狂的なファンを生んでいる。

インディーズ界でスパークする未知数の超新星

ヤッコ
[ドラム]

フエヤッコダイ

バンドの中では最年長。線の細さからは想像もつかないヘヴィーなドラミングで人気。ドラムの片付け・運搬が死ぬほど面倒で「その度に辞めようかと思う」とのこと。独自のファッションでも人気があり、雑誌でスタイリングの特集が組まれたこともある。昨年、女優のゼブラ・キャットと結婚したことをイカスタグラム上で発表した。

ニア
[ボーカル]

ピラニア

母は有名な歌手で、父はギタリスト。幼少期から音楽に囲まれて育つ。高校で担任の教師に噛みつく事件を起こし、家を追い出された。その後アルバイトで生計を立てながらバンド活動を開始。行きつけのバーでキクラからスカウトされ、O.C.Kに加入した。

キクラ
[ギター]

ピーコックバス

バンドの掛け持ちについて、「こっちはこっちで両立していける」と主張している。『No Plan Survives』では、C-Sideのベイカがかつて共演したいと言っていたFrom Bottomのバイオリン、フィン・ボトムをなかば抜け駆けのようにゲストに迎えた。日頃の素行の悪さも相まって「そういうとこやぞ」と言われまくり、一時O.C.KファンとC-Sideファンが争う騒動に発展したが、当の本人はスノボ旅行中でつゆ知らずだった。

ヤナギ
[ベース]

アカクラゲ

ベーシストとして活動する傍ら音楽スタジオで働いていたところ、キクラからスカウトされた。自由奔放なメンバーが集まったバンドにおいて、事務的な作業を担当できる貴重な存在。酔ったニアに噛まれたことがあるが、半殺しにした。

ABXY

ABXY

イソギンチャクのボーカル・パル子の独特なキャラクターとキャッチーなピコピコサウンドで人気の4人組。新曲の『Counter Stop』は、音楽ライターに「台頭してきたバンカラのムードを取り込んだ」、はたまたファンには「解散のムードが感じられる哀愁感」などと深読みされたものの、まったくの見当違いで、とくにこれといった意図はない。もうひとつの新曲の『Happy Sprite』は彼らのメジャーデビュー前から存在していた最初期の曲だが、この度正式にレコーディングされた。

パル子
[ボーカル] | イソギンチャク

店主不在のあいだにザッカ屋・竜宮城を切り盛りしている。本人はテキトーにやっているが、開店当初から赤字続きだった店の経営を大幅に黒字転換させた。

ノイジー
[ギター／コーラス] | インクリング

ABXYの元気担当。本人は相変わらずノリで過ごしているが、最近若手から「ノイジーさん」と呼ばれることが多くなってきており、「中堅になってきちゃったな」みたいなことをうっすら考えてしまっている。

ライアン
[ベース] | メンダコ

作曲担当。別名義"△P"として、バーチャルシンガーへの楽曲提供も行っている。電車移動がメインだったが、打ち合わせのための移動が増えており、通いで免許を取ろうと思っている。

シカク
[ドラム] | カニ

最年長。最近腰痛が気になってきた。基本的に他のバンドに興味が薄いABXYにあって、流行のバンドの研究を欠かさない。最近はO.C.Kがお気に入りでライブに足繁く通っている。ドラムのヤッコと友達になりたくDMしてみたもののいまのところレスはなく、しょんぼり。

ヘビロテ必至！クセになるピコピコサウンド

NEW PV

Counter Stop

NEXT PAGE ABXYのトーク配信の文字起こしを特別掲載!

ABXY

MEMBER
パル子
ノイジー
ライアン
シカク

▶ 今日もザッカ屋"竜宮城"で
ABXYメンバー4人のライブ配信が始まった!

#15

【ABXY】竜宮城配信 #15
3万回視聴 #ABXY #竜宮城
...もっと見る

ABXY公式チャンネル
チャンネル登録者数 25万

ついてる? うぇーい
あれ? なんか音ズレてね?
おーい! ライアーン

ん?

なんか音ズレてるっぽい

それ前もなってなかった?

5番

この線が抜けてね?

キャプボ側見て

ここはさすがに前と同じっしょ

5番

あ、これじゃね、システムの〜、サウンドの…

5番スイッチ

5? これか
オッケ。ばっちり合いました〜、からの?
今日は竜宮城であの名作『スーパーギョカイバトル2』をやっていく〜!

え〜『エビカー』やろ〜

いや、もうキャラセレクトしてるから!
オレ、ザリガニンジャね

キモ

ザリガニンジャって弱体化されてなかったっけ

ハサミ手裏剣が弱くなった

「淡水の流れを喰らえ!」

似てなw

え、じゃあシシャーモ使お
イリコンボ練習したし

あれ刺し網キャンセルできないんだよな〜
連続で食らったらマジ無理

上Gで抜けれるよ

あ、もぶしさん入港まいど〜
「初見です。『ギョカイバトル』と聞いてやってきました」

やっぱ人気じゃん
コントローラーある? そっち
あっ宅配きたわ。早

ボクとってくるね

さすが! ライアン先生!

ノイジーに任せると落とすから…

ライアンおおきに〜

てかめっちゃ早くね? さっき頼んだばっかじゃん

鉄火巻きブレードさん入港まいど〜
「シカクさんファンだったのですが、いまはパル子ちゃんに浮気中です」

む

そいや店長は?

きえたよ〜

この机使っていいん? 売り物?

いいよ〜

宅配きたよ

ぶかあっぷ

いよっ! オレラブカバーガーね

イヌゴチシェイクは?

あるある

やるやん

シカクは何頼んだ?

揚げイトミミズ

なんか久しぶりだな! ラブカーキング

先週も頼んだじゃん

先週はサバウェイね

アーマードプレ子さん、5000マキエ お〜きに〜
「ABXYのみなさん、いつも見てます!
パル子ちゃんの触手、いつも素敵で憧れです。触手ケアで気を使っていることがあれば教えてほしいです」

オレも知りたい。寝癖マジでとれない

立ってねる

無理だろ!

ねない

ねない、だそうです!

これ、もうスタート押していい?

い〜よ〜

あ、ちょいまち。名前変えてなかった

ゲストでよくない?

名前大事っしょ。テンション変わるっしょ

うな丼さん、500マキエ お〜きに〜
「新曲最高でした! シオカラ地方でのライブも待ってます!」

そういやシオカラ地方まだ行ったことない! 行こうぜ!

い〜よ〜
あ、よくない。寒いの無理だ

いまの時期そんなに寒くないよ

じゃあ行く〜

去年ライブで行った

のいじ、ラブカバーガーたべたい

いいよ。けっこうイケる
見た目ヤバイけど

新作毎回攻めてるよね

これ、細かい歯がすげーあるわ

なくなった

おい! 食べ過ぎだろ!

名前変えた?

オッケ

ぶり代行さん、1000マキエ お〜きに〜
「いつも楽しい配信ありがとうございます。
私事で恐縮ですが、来年から念願の大学に行けることが決まりました!
受験勉強は大変でしたが、ABXYのみなさんの楽しい配信を糧に頑張れました!
これからもお体に気をつけて頑張ってください。
雑文失礼しました。ずっとずっと応援しています」

おめでとー!!

やるやん

ありがたいね〜。ボクらみんな大学行ってないからスゴいわ

オレは行ってる

おい! シカクは行ってるぞ! オレらと一緒にするな!

行こうとした

行ってはないんだよね。それはオレもそう

じゃあスタートしまーす

C-side

C-side

バンカラ地方を代表するスリーピースバンド。生まれ持った感性と反骨心でここまでノシ上がってきた。フロントマンのベイカは、ハイカラの音楽、とりわけSquid Squadを目の敵にしているような発言が多く、ファンも多いがアンチも多い。

ベイカ

[ベース／ボーカル]｜インクリング

高校時代には運動部に入っていたが、レギュラーになれず音楽にのめり込む。卒業後は小さな会社でガチャグラの経理業務をしていたが、音楽への思いが捨てきれずバンドを始めた。バトルで争うふたつのチームを見て、自分はコイツらとは違う。"Cサイドのイカ" だ、と感じたのがバンド名の由来。

キクラ

[ギター／ボーカル]｜ピーコックバス

大企業の役員を父に持ち、幼少期は父のオーディオルームに忍び込み音楽を聴いていた。学生時代に "観賞魚" というバンドを組んだが1年で解散。とあるライブをサボって裏口から抜け出したところ、同じく裏口にいたベイカと出会った。放浪癖がありC-sideを一時脱退しメタルバンドに参加していたことも。

ウオトラ

[ドラム]｜ハリセンボン

もとはキクラがいた高校の用務員。ふたりよりも少し年上で、生粋のメタル好き。ブラックなユーモアを好み、度々キクラに披露するが、キクラにとっては体験済みのことが多く、よく撃沈している。

Front Roe

前身はSquid Squad。ハイカラでブレイクしたものの、神格化されるのにうんざりして活動休止していた。ベースのIKKANが脱退状態のため、004Clmがベースとして加入し、バンドは名前を変えて再出発した。ヘヴィネス色の強かったIKKANの不在により、バンドはよりメロディアスでエモめなラウドロック色を強めている。

001Ngt

[ギター／ボーカル]｜インクリング

Squid Squad休止以降、神格化がさらに進みフォロワーを増やし続けている。携帯を持っておらずメンバーすらも連絡がつかないことが多い。

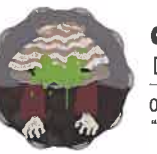
002Wsb

[シンセサイザー]｜インクリング

覆面ジャケットの立案者。最近の趣味は茶器集め。動画サイトでジャズ理論とシンセの音作りをゆるくもマニアックにレクチャーするチャンネルを運営。「意外とやさしくかわいくわかりやすい」と登録者数急増中。

003Soy

[ドラム]｜ガンガゼ

素性がわかりづらいほかのメンバーに比べてオープンな性格でメディア出演も多い。現在はセッションドラマーや音楽プロデューサーとしても活動中。ビートやフィルインのボキャブラリーはSquid Squad 時代に比べて格段に増えた。

004Clm

[ベース]｜ホタテ

003Soyの誘いでバンドに参加。過去には "HAPPOUSAI"、"XO醤" のベースとしても活動していた。

ヒメ

[ボーカル]｜インクリング

ワールドツアーで訪れた港街のニューサーディンでは、ヒメの声から出る周波数の影響で漁獲高が倍増。下降が続いていた同市の水産業を回復させたとして、市長から表敬訪問を受けた。

イイダ

[ピアノ／ボーカル]｜オクトリング

ワールドツアーの時点で8本の案件を同時並行でこなしていたが、ツアー後はさらにオファーが増えた。新しいジャンルの仕事も勢力的にこなしており、夏公開映画『外套膜のパラドックス』の劇伴を手掛けている。

キズシ

[ギター]｜サバ

良家に生まれたサバ。足が速く陸上部に所属していたが怪我で引退。暇を持て余して始めたギターにのめり込んだ。ネットにアップしていた超絶技巧の練習動画が話題となり、ヒメの目に留まりスカウトされた。

明石さん

[ドラム]｜マダコ

バンカラ沖にある小さな島の出身。伝統音楽の太鼓奏者でもあり、天性のリズム感と力強いパフォーマンスが持ち味。動画サイトに遊びでアップした "腕8本で打楽器16種類を同時に叩いて『塩辛節』演奏してみた" という動画をヒメがたまたま観てスカウト。長風呂が好き。

アンドウヨウジ

[ベース]｜チョウチンアンコウ

裏方志向のベースプレイヤー。卓越した技術を持つが表にはあまり出ず、スタジオミュージシャンとして活動していた。国内外の有名アーティストのアルバムに多数参加している。スタジオで出会ったヒメに引っ張り出される形でバンドに参加。頭に付いているチョウチンに寄ってくる虫を眺めるのが趣味。

ビジー・バケーション feat. テンタクルズ

ハイカライブ、テンタライブでのバンド活動に味をしめたテンタクルズのふたりが、テンタクルズとは別名義でライブバンド色の強い音楽をやるために結成した。在野のイキのいいプレイヤーをネットでスカウトしてバンドをプロデュース。

アオリ

[ボーカル]｜インクリング

8年前のシングル『トキメキ☆ボムラッシュ』が、有志による踊ってみたショート動画で大バズり。本人も流行りに乗って動画を出したところ、圧倒的な正解を出してしまい流行が沈静化。ちょっと反省している。

ホタル

[ボーカル]｜インクリング

バンカラ地方で制作されたドラマ『愛の高下駄-バンカラコロンの沈丁花-』にハマっている。クサすぎる演技と目薬がバレバレの涙を最初はバカにしていたが、怒涛の展開に引き込まれ熱中。移動中の車内でドラマを観て泣いていたところ、アオリに心配された。

シオカラーズ

ボケ担当のアオリとツッコミ担当のホタルからなるアイドルユニット。ダンスと歌唱力は抜群。最近ではアオリがほかのアーティストへ歌詞を提供していたり、ホタルは作曲に興味津々だったりと、クリエイティブ面でも存在感を出し始めている。

Surimi-Rengou

すりみ連合

バンカラ街で負け知らずのヤンチャな悪童3人組。それぞれが持つ歌声やダンスがひとつとなり、見る者を熱狂と混沌の渦に巻き込んでいく。地元での人気がとくに高く、バンカラジオのパーソナリティを務めている。

フウカ
[ボーカル] | オクトリング

じつはミュージカルに出てみたいと思っていて、こっそり練習している。ウツホがしょーもない声ネタをしょっちゅう持ってくるので、「おもろいやん」と返しつつも「そろそろ親離れさせなあかん」とマンタローに愚痴っている。

ウツホ
[ボーカル] | ウツボ

バンカラを愛する気持ちを集めて歌にしたいと思い、バンカラ街の住民や市長に片っ端から電凸するも、案外「歌はちょっと……」という答えばかりで憤慨している。

マンタロー
[ボーカル] | マンタ

バンカラの伝統舞踊を軽薄なアレンジにしている一発屋、という書き込みを読んで3日寝込んだ。最近ヒメによく褒められるが、フウカとウツホの白い目が怖いので正直やめてほしいと思っている。

SashiMori

変則系バンド。ボーカルは不在だが、DJのPAULが古代のレコードからサンプリングしたボイスを切り貼りし、メロディーを紡いでいる。そのイカした混沌ぶりに、近頃バンカラジオでもヘビロテされており、若者らの心を掴んでいる。加入当時はあどけなさが残っていたPAULも現在16歳。音楽に懸ける勤勉さから、いちアーティストとして多方面からの信頼も厚い。

PAUL
[DJ] | オクトリング

幼少期からディープな世界に足を踏み入れたため、悪いオトナからのアプローチも多かったが、不良になることはなくのびのびと育った。音楽以外のことには無頓着で、暇があれば常にDJの練習をしている。ボイスネタ（発掘レコード）の新しいルートを開拓したらしく、ジャンルがさらに広がった。

竜-Chang
[ドラム] | ニシキゴイ

SashiMoriの傍ら、イラストレーターとしても活躍。錦鯉の模様をキャンバス上に刷り、出身地の清流で清めた「洗い」という作品群で海外のギャラリーからも注目を浴びている。いい歳だが、こう見えて繊細で褒められたいタイプ。

KARLA
[ベース] | スケーリーフット

年齢不明のベーシスト。エレベーターにひとりで乗っていると、別のフロアから乗ってくる人に毎回ビクっとされる。新しい音が出したくて5弦ベースを最近買ったが、やっぱり4弦で十分だったかもと思っている。

サワベル"Cutlass"たいち
[ギター] | タチウオ

3年前に結婚し、2歳になる娘がひとりいる。名前は"かたな"。KARLAに触発され7弦ギターを最近買った。いい買い物をしたと思っている。

ミズタ
[DJ] | オクトリング

仮想世界から脱出後は、キンメダイ美術館の近くの2DKを借りて住んでいる。ひと部屋を防音室にしているため居住空間が狭いことと、近くにスーパーがないことが悩み。

Dedf1sh

Dedf1sh

元タコゾネスのDJ。深海メトロに囚われ、自我を失ったまま音楽を奏で続けていたが、イイダの作った仮想世界に巻き込まれた際に自我を取り戻した。

A シオカラーズ ①アオリ ②ホタル
B Squid Squad ③NAMIDA ④ICHIYA ⑤IKKAN ⑥MURASAKI
C Hightide Era ⑦クゼ ⑧タカ ⑨ニシダ
D ABXY ⑩シカク ⑪ノイジー ⑫パル子 ⑬ライアン
E Wet Floor ⑭KAGI ⑮RYAN ⑯MIZOLE ⑰KAZAMI ⑱TSUMABUSHI
F From Bottom ⑲ブロウ・ボトム ⑳ムルター・ボトム ㉑フィン・ボトム ㉒タングル・ボトム ㉓フカ・ボトム
G Sashimori ㉔KARLA ㉕竜-Chang ㉖PAUL(6年前) ㉗サワベル“Cutlass”たいち ㉘PAUL
H 合食禁 ㉙WARABI ㉚IKKAN

I Front Roe ㉛002Wsb ㉜001Ngt ㉝004Clm ㉞003Soy
J テンタクルズ ㉟ヒメ ㊱イイダ
K ビジー・バケーション ㊲キズシ ㊳明石さん ㊴アンドウヨウジ
L カレントリップ ㊵あーちん ㊶マヤヤ ㊷ヨーコ ㊸カレン ㊹ビビ ㊺きたむら
M YOKO HORNS & FRIENDS ㊻兵頭タオ ㊼Toxy ㊽キタノ ㊾トグロ
N C-Side ㊿ウオトラ (51)ベイカ (52)キクラ
O O.C.K (53)ヤッコ (54)ニア (55)ヤナギ
P H2Whoa (56)SHIMA (57)NAGARE
Q すりみ連合 (58)フウカ (59)ウツホ (60)マンタロー

MUSIC REVIEW

ミュージックレビュー Vol.8

音楽シーンを鮮やかなサウンドで塗り進めるアイドルたちのDISCOGRAPHYを、ふたりの名物音楽ライターが熱く語る。

すりみ連合

MUSIC

鉄槌ピシャゲルド

2023.8.25

フウカとウツホがマンタローに[illegible]

シオカラーズがリリースした『[illegible]ペトリコール』に参加した謎のシンガーRANOMAT。その正体がマンタローだと知ったフウカとウツホは、マンタローを鬼の形相で追いかけ回したという。本作は、そんなマンタローの恐怖体験……もとい実体験がもとになった曲。独特の浮遊感があるサウンドと冒頭の力強いシャウトは、雄々しいバンカラらしさが表れていて最高にホット。（最前線の評論家）

MUSIC

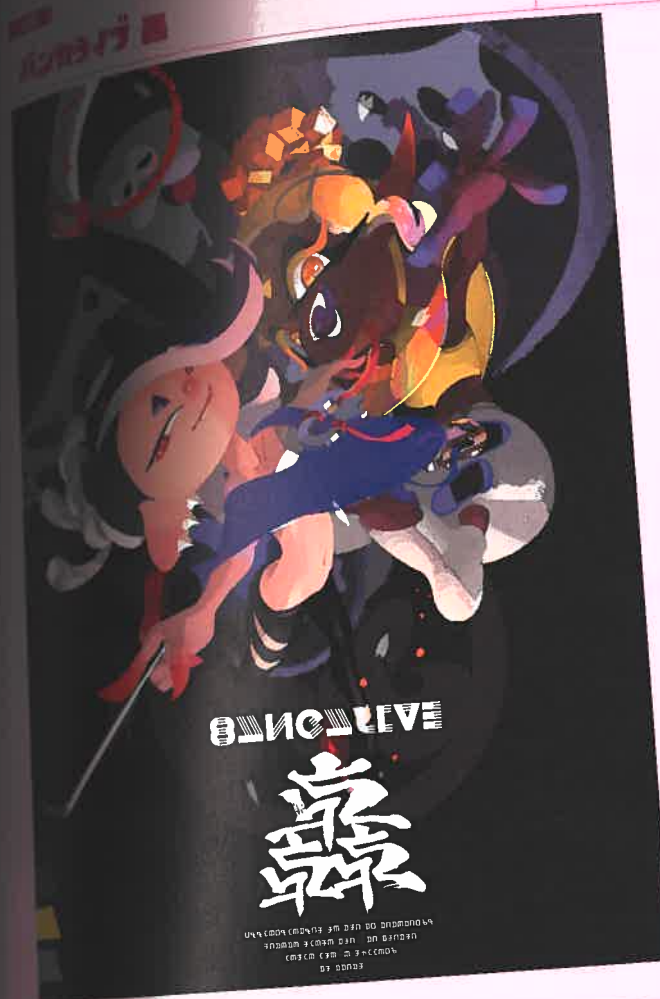
再見オネノネノン

2023.9.11

胸に心地よく残るフェスの余韻

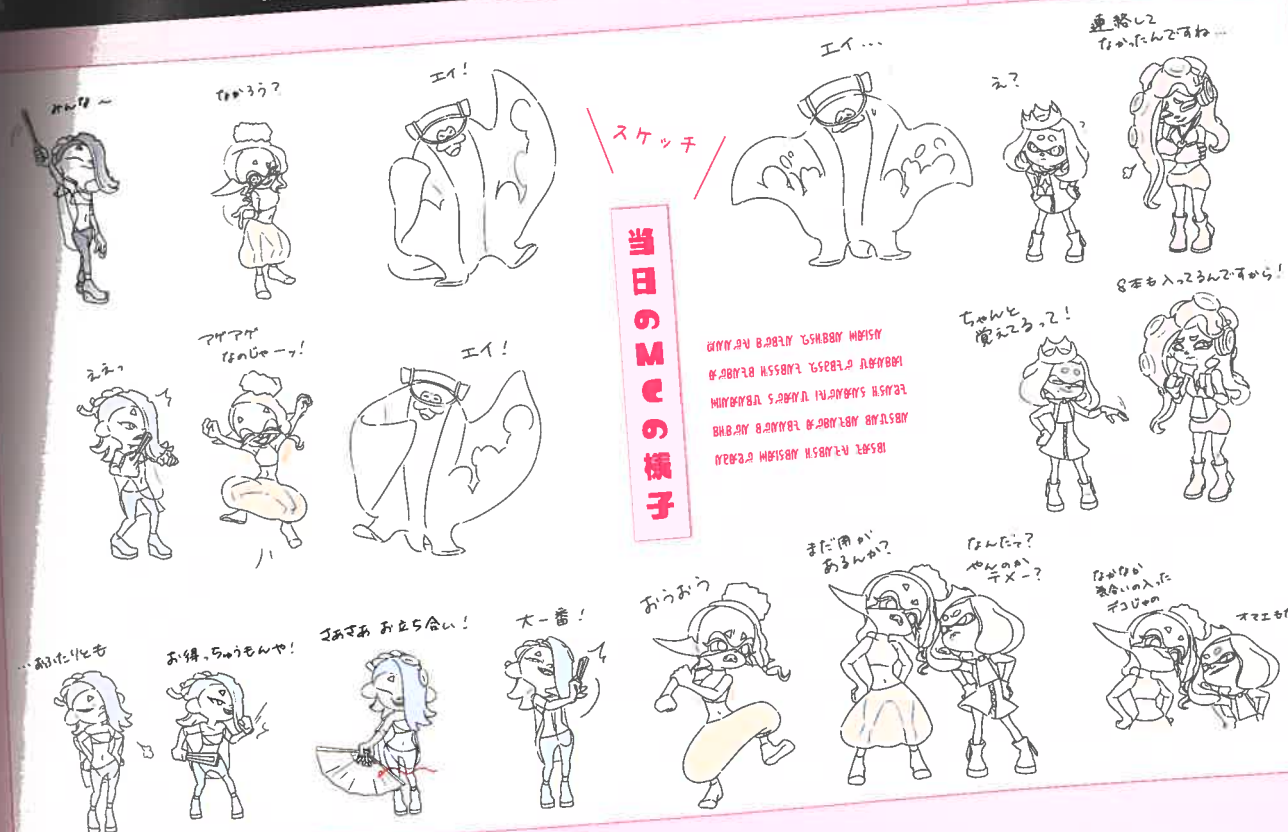
第9回開催のフェス“リーダーにふさわしいのは？　フウカ vs ウツホ vs マンタロー”の直後に発表された曲。「フェスを戦い抜いたバンカラもんたちを労いたくてのう」とウツホ、「祭りの夜が明けた後の余韻は何とも言えずええどすなぁ」とフウカが語る言葉のとおり、メロウなサウンドが魅力だ。終盤の3人の歌声が織り成すハーモニーは力強くも切なさがあって、心にじんわりと沁みる。（DJ おでん）

バンカライブ 轟

2024.2.10

すりみ連合の混沌としたサウンドが熱い! テンタクルズがまさかの乱入!?

すりみ連合にとって2度目となるライブ。海鳴りのように豪快に響く『張拳ゴーアヘッド』のドラムにいざなわれてすりみ連合の3人がステージに登場すると、その圧巻のパフォーマンスにオーディエンスは荒波を飛び跳ねるかのように大盛り上がり。途中、テンタクルズのヒメとイイダが乱入するひと幕もあり、“轟”というその名のとおり、熱狂の渦の中、40分に及ぶライブはあっという間に幕を閉じた。（DJおでん）

[♪セットリスト]

1 Counter Stop
2 Aquasonic
3 ツートン・テリトリー
4 張拳ゴーアヘッド／すりみ連合
5 衛天プチョフィンザ／すりみ連合
6 疾風怒涛カチコンドル／すりみ連合
7 天命反転ローリンストン／すりみ連合
8 ゼンゲン・テッカイ／テンタクルズ
9 サイタン・ケーロ／テンタクルズ
10 鉄槌ピシャゲルド／すりみ連合
11 再見オネノネノン／すりみ連合
12 蛮殻ミックスモダン／すりみ連合 × テンタクルズ

MC BATTLE

蛮殻 MC BATTLE ~The King of Tentacular~

2024.3.21

ワードセンスにバイブスが上がる!

テンタクルズがバンカラ[illegible]を行うことに対し、ウツホは「[illegible]ってワシらのシマでライブ[illegible]や!」と憤慨。フウカと[illegible]ンタクルズの楽屋にカチコんだところ、ヒメが「文句あんのか? [illegible]テージで勝負だ!」と返して行われたMC&ボーカルバトル。[illegible]当然個性溢れた言葉の応酬。[illegible]タイリッシュな衣装にも注目。(DJおでん)

ヒメvsウツホのバトル。ヒメの唯我独尊的で隙のない言葉の数々に、なかなか割って入ることのできないウツホがかわいらしい。マネしたくなるようなテンポのいいライムは、ずっと身を委ねていたくなるほど心地よい。(DJおでん)

フウカvsイイダ。雅で流れるようなフウカのフロウがたまらない! それに呼応するイイダのレベルの高さと言ったら。品よく「バンカラ漬けでも」と煽るフウカに、「おいしそう♪」と返すイイダのやり取りも小気味よい。(DJおでん)

Splatoween

日常を忘れて街中がお祭り騒ぎ

ハロウィンにあわせて開催されたフェス"Splatoween"。仮装した若者たちが非日常を楽しみたいと大賑わいとなった一大イベントだ。フウカとウツホの衣装はふたりの動きに合わせて流れるように揺れ、舞に力強さとたおやかさが共存していることがわかる。ちなみに、マンタローの衣装はこう見えて制作時間がけっこうかかっているらしい。(最前線の評論家)

Frosty Fest

雪が舞い散る幻想的なステージ

冬に開催されたFrosty Fest。小雪がちらついていたものの「寒さなど関係ない!」といった感じで、シースルーを取り入れた大胆な衣装のフウカとウツホ。マンタローの衣装がどのようになっているのかは誰にもわからないが、とにかくピカピカしていてあまりに神々しく、拝む者が続出したとか。(最前線の評論家)

SONG LIST

SURIMI-RENGOU すりみ連合

1. 蛮殺三毒楽(今様)
2. 蛮殺ミックスモダン
3. 衝天ブチョフィンザ
4. 張拳ゴーアヘッド
5. 鉄槌ビシャゲルド
6. イマ・ヌラネバー!
7. 上げ潮ノッテモーテル
8. 辛酸ナメマンタ
9. 再見オネノネノン
10. 驚天動地ゴンタクレー
11. 疾風怒涛カチコンドル
12. 天命反転ローリンストン
13. シオカラ節 Three Mix

テンタクルズ

FEST

Spring Fest

これがテンタクルズのパフォーマンスだ!!

ワールドツアーで世界中を熱狂させているテンタクルズ。彼女たちの姿をひと目見ようと、最寄り駅は毎晩なかなか出られない事態になってしまう。音楽に身を揺らせ、フェスを盛り上げる彼女たちの圧倒的なパフォーマンスは、やはり唯一無二。スポーティーでパンキッシュな衣装は、隙のない柔らかさがあってイカす！

(最前線の評論家)

SONG LIST

TENTACLES
テンタクルズ

1. ウルトラ・カラーパルス
2. フルスロットル・テンタクル
3. リップル・リフレイン
4. レッド・ホット・エゴイスト
5. イマ・ヌラネバー!
6. フェスティバル・ゼスト
7. パーティーズ・オーバー
8. ナスティ・マジェスティ
9. ミッドナイト・ボルテージ
10. フライ・オクト・フライ
11. フレンド・フロム・ファラウェイ
12. Monologue（イイダソロ曲）
13. オンリー・オブリガート
14. ミーチュー・アゲイン
15. ウルトラ・カラーパルス'24
16. ヘッドライナーズ・ハイ

テンタクルズ vs 空帆＆楓火

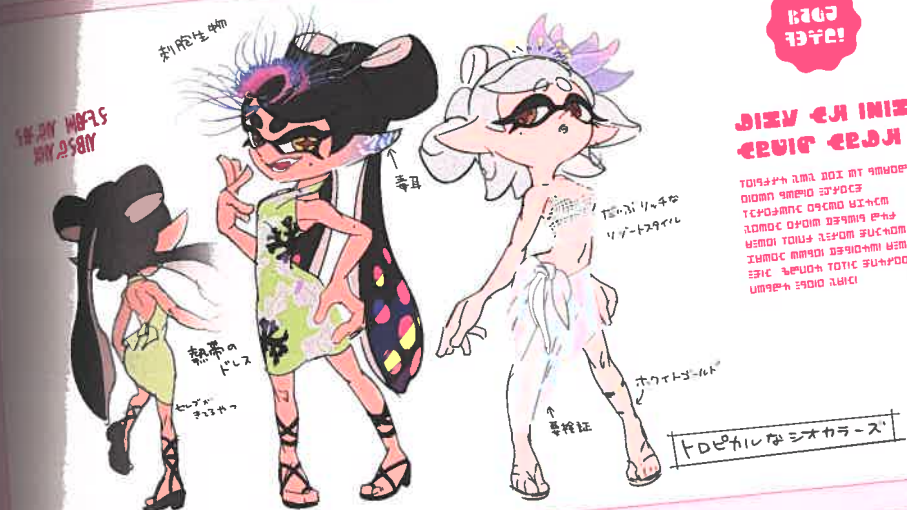
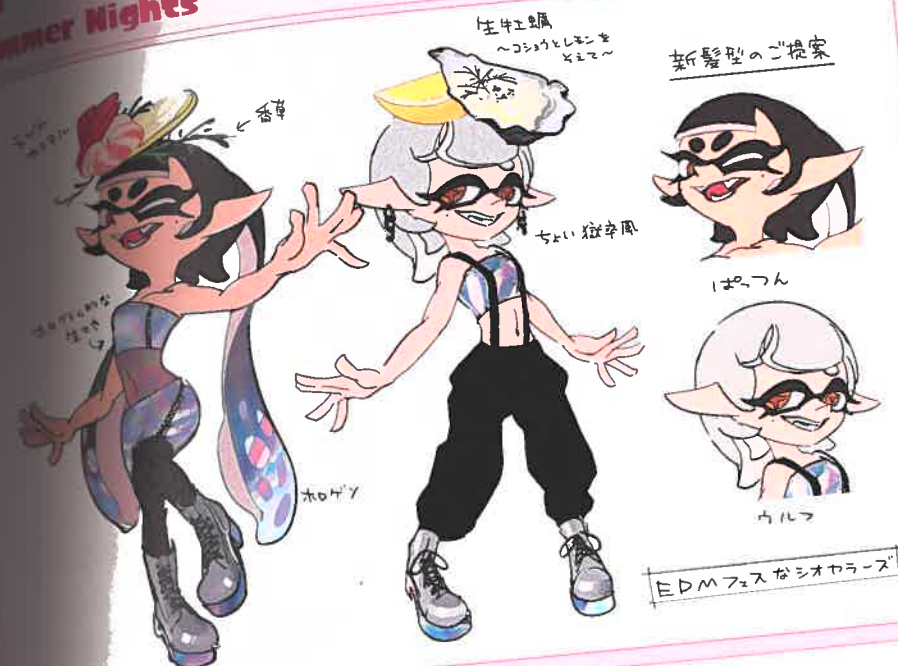
1. 蛮殻 MC BATTLE ～The King of Tentacular～

シオカラーズ

Summer Nights

夏真っ盛り! 弾ける夏の香り

照りつける太陽が顔を隠し、夜風が心地よく吹き抜けるハイカラシティ。街に音と光が溢れる中、特設ステージ上ではしゃぐように歌い、踊るシオカラーズのふたり。照明を受けてきらめく光沢のある生地でできた衣装に身を包んだふたりの頭に乗っているのは、思わず食べたくなるようなジューシーなヘッドピース。パッツンな前髪もとてもも似合っている。

(最前線の評論家)

SONG LIST

SEA O' COLORS
シオカラーズ

1. ハイカラシンカ
2. キミ色に染めて
3. イマ・ヌラネバー！
4. シオカラ節
5. マリタイム・メモリー
6. トキメキ☆ボムラッシュ（アオリソロ曲）
7. スミソアエの夜（ホタルソロ曲）
8. 濃口シオカラ節
9. あさってColor
10. シオカゼの星
11. ハイカラシンカ'23
12. BRANDNEW HOMETOWN ～それより明日の話を～
13. ときめきスミソアエ ～You★Me Grand Mix～
14. ハイカラ・パンチ
15. ジダンダ・キック

シオカラーズ feat. RANOMAT

1. 春風とペトリコール

FEST
着せ替え付録
カセットレーベル
2022年8月28日から開催されたフェスの勝敗を記したカセットテープのラベルを用意した。
Cassette Label

WIN!
いちばん強いのはどれ?
FEST
前夜祭
Splatoon3

第01回
2022/9/24~26
WIN!
無人島に持っていくなら?
FEST
01
Splatoon3
パートナーに選ぶならどのタイプ?
WIN!
FEST
02
Splatoon3

WIN!
好みの味は?
FEST
03
Splatoon3

チョコレートはやっぱりコレ!
WIN!
FEST
04
Splatoon3

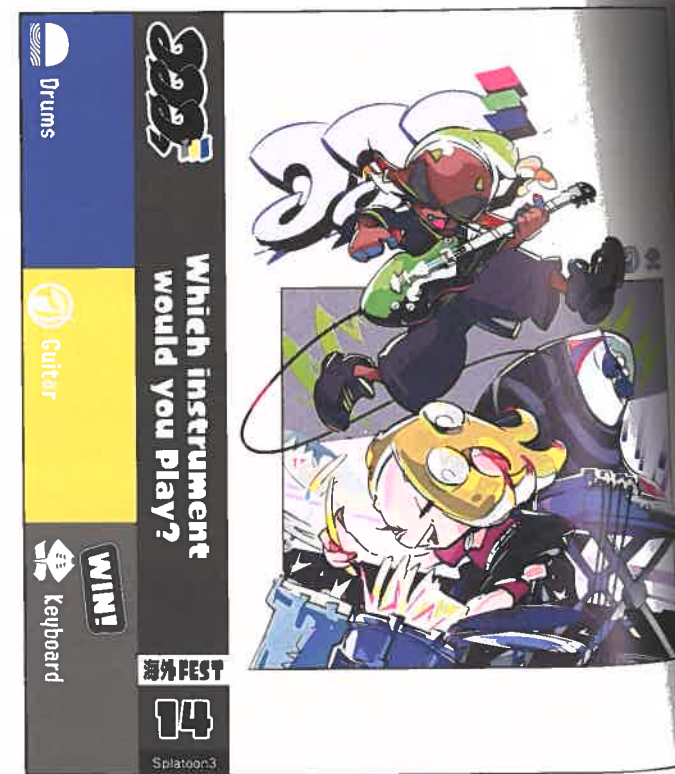
WIN!
実在するのは?
FEST
05
Splatoon3

WIN!
汝、何を求める?
FEST
06
Splatoon3

第09回
2023/9/9-11

第13回

第11回／お題「挨拶をするなら？」
フウカ:握手　ウツホ:グータッチ　マンタロー:ハグ

第13回／お題「週末の最高の曜日は？」
フウカ:金曜日　ウツホ:土曜日　マンタロー:日曜日

第14回／お題「演奏するならどの楽器？」
フウカ:ドラム　ウツホ:ギター　マンタロー:キーボード

謎の軍勢に立ち向かえ。そして世界を救え――!!

作品賞ほか**3部門受賞!**

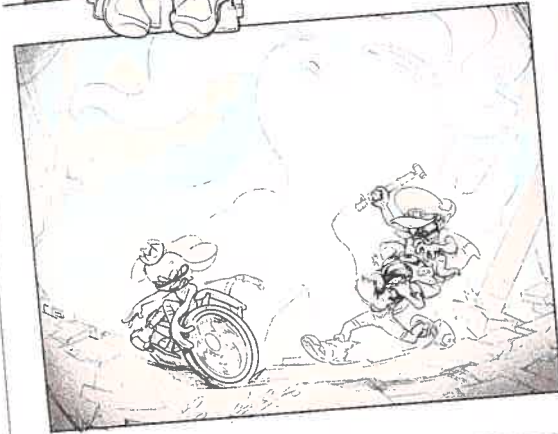
作品賞・歌曲賞・衣装デザイン賞

8.1

ー18人のクリエイターの瞳に映るネリバースー

誌上特別展

泡沫の憧憬

ネリバースに実際に足を運び、日常とは異なる異質さに触れた18人のクリエイターたちが、その世界をダイナミックに描く——。"泡沫の憧憬"と銘打って開催予定の特別展に先駆け、本誌で展示イラストと見どころを一挙公開。18人は何を見、何を感じて筆を走らせたのか。

わたがしの巨人
デカいけど弱い
パチパチキャンディー入りなら
なお楽しそう
敵のインクは
ブリーチ剤だぞ!!
あらゆるものを漂白する役割
オレンジがかっているのは
漂白の名残り
秩序によって
漂白された生命は
意識まで真っ白に
なってしまうぞ

ノンフィクション
あの時、ネリバースで
〜映像化を目指すクリエイターたちが伝えたいこと〜
映像化間近!?
絵コンテを特別掲載
あのとき、ハチ、ヒメ、イイダ、そしてミズタの4名がネリバースで何を思い、オーダと対時したのか。その一連の出来事を映像作品に落とし込もうと奮励するクリエイターたちがいる。彼らが命を込めて描いた鮮烈な絵コンテを掲載。
02.22
amplifier

Storyboard:［目覚め〜秩序の世界］

※秩序スクエアシーンに電車セットを用意する※

Storyboard:［ヒメと出発］

Storyboard: [ミズタ登場]

Storyboard: [ミズタ登場]

Storyboard:［囚われのイイダ］

Storyboard:［黒幕の出現］

P216へ

P215より

▷5/7▶

▷7/7 END

START 1/4▶

▷3/4▶

▷4/4 END

3/7

5/7

Storyboard:［オーダコ出現］

Storyboard: [秩序に支配された世界]

D090/秩序に支配された世界

START 1/5

5/5 END

Storyboard: [テンタクルズ再起動]

D100/テンタクルズ再起動

P222へ

P221より

Storyboard: [テンタクルズ再起動]

3/9

7/9

5/9

6/9

9/9 END

バイトの時間です

ザ・バイト

THE BITE

お気に入りがきっと見つかる

NEW OKIMONO CATALOG

最新オキモノカタログ

ロビー横のロッカーは、ギア以外で自分を表現できる場所。大事なものをしまうもよし、誰かに見てもらうための映えを追求するもよし。最新話題のアイテムでロッカーの中身を飾ろう。

FOOD

ごはん系アイテム

ホワイト　ナチュラル　ブラック

テイクアウトボックス

各4980

行きつけの店の味をバトルの合間に堪能したいと考える若者は多い。防水加工された容器なので、汁気がある食べ物でも安心。最近ではナマコフォンからのデリバリーが中心になっている。

おいしさ	★★★
満腹度	★★★★
映え度	★★★

ただただ、うまい。

シーフード

エスニック

うすあじ

げきから

カップラーメン

各2360

小腹が空いたときにピッタリなのがこれ。どのカップラーメンもダシが効いた最高の味わいで、バトルで勝利した後に食べると格別。お湯はロッカールームに置いてあるポットから調達を。

おいしさ	★★★★★
手軽度	★★★★★
映え度	★★

［中身］

ブルー

満たせ、その空腹を。

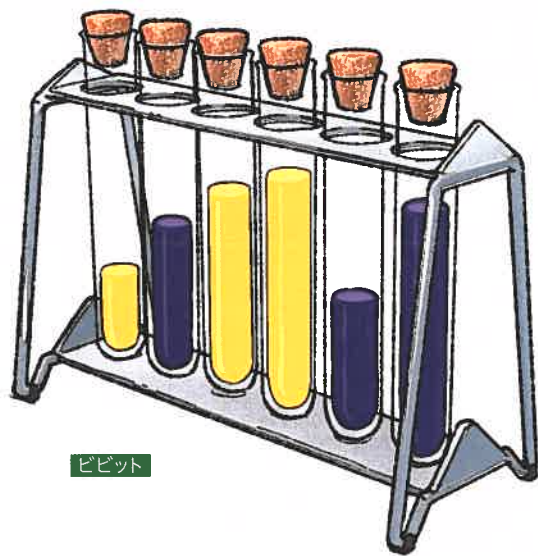
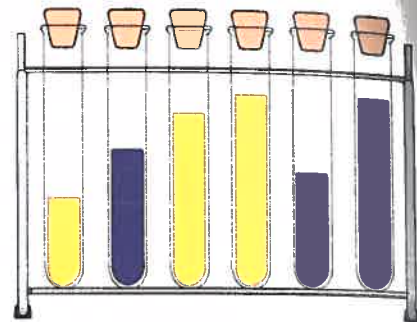
オレンジ　グリーン

ピンク　パープル

ランチタッパー

各8311

健康や財布事情のために自炊をし、弁当を持参する若者が急増中。栄養や見た目を気にする者、残り物を詰めてくる者などさまざま。たまに、そんな若者どうしで弁当交換会が行われるとか。

おいしさ	★★★
手作り度	★★★★★
映え度	★

ビビット

モノクロ

マーブル

STUDY

知識系アイテム

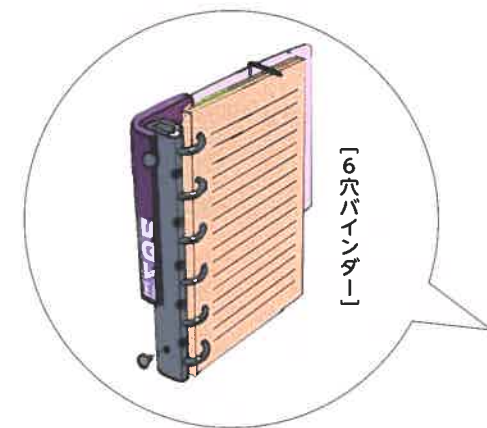
しけんかん

各1111

コルク栓付きの試験管が6本並んだアイテム。ビビットやマーブルなど多色展開で、それぞれ試験管の内容量が異なっている。何の液体が入っているのかは不明だが、眺めて楽しもう。

勉強に役立つ度	★★
混ぜたくなる度	★★★★★
映え度	★★★★

パープル

思いを書きなぐれ。

リングバインダー

各12500

6穴のリングバインダーは、カラーによってデザインが異なるのが特徴。お好みでステッカーなどを増やして唯一無二のバインダーに仕立てよう。ゴムで止めればパカパカ開く心配なし。

勉強に役立つ度	★★★★
メモしたくなる度	★★★★★
映え度	★★★

ネイビー

ブラウン

オレンジ

イエロー

アンティークブック 9800

昆虫ずかん 9800

恐竜ものがたり 6800

知識は武器だ。

本

童心を忘れない好奇心旺盛な若者たちは、暇なときに古書や図鑑を引っ張り出しては妄想を膨らませている。実践に役立つ参考書を読んで知識を得ようとする者も。本は知識の宝庫なのだ。

勉強に役立つ度	★★★★★
読みたくなる度	★★★
映え度	★★★★

イカ式 塗り学入門 1280

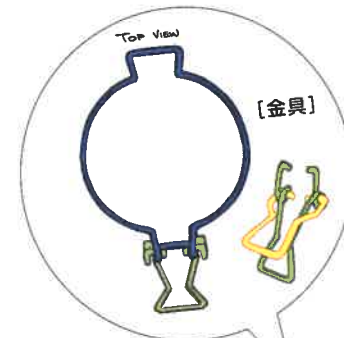
イカ式 基礎問題集 1980

フィッシュボーン

フデスタンド

1111

グラフィティを描くときに役立つ、丸筆や平筆が入った瓶。蓋を取って、金具だけ残しておくのがポイント。ロッカーに入れておけば、好きなときに好きな場所で思い切り絵を描ける。

勉強に役立つ度	★
描きたくなる度	★★★★★
映え度	★★★

MUSIC
音楽系アイテム

魂を焦がすサウンド。

アコースティックギター
各158000

職人が愛情を込めて作り上げたギター。ボディがイカの形状をしており、聴く者の心にそっと寄り添う美しい生音を響かす。ロビーでは、バトルの合間にギターの練習をしている若者の姿が。

アーティスト度	★★★★★
歌いたくなる度	★★★★★
映え度	★★★★

エレキギター
各158000

遊び心を忘れない、洗練されたデザイン。その美しさゆえに弾けないにもかかわらずロッカーに飾っている者も多い。ノイズが少なく、高音域から低音域まで魂を揺さぶる音色が出る。

アーティスト度	★★★★★
弾きたくなる度	★★★
映え度	★★★★★

サンプラー
32600

あらかじめ録音した音を加工して別の音として再構築し、それを音源として使用できる機械。小型ながら多機能で、モニター付き。タコをモチーフとしたデザインがイカしている。

アーティスト度	★★★★
音を加工したい度	★★★★★
映え度	★★★

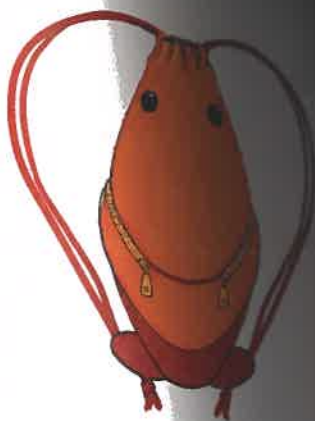
音楽が呼んでいる。

ZAKKA
雑貨系アイテム

ナップザック メッシュ
7239

バッグ

勉強道具や替えのギアなど、荷物は何かと多くなりがち。用途や量に応じてバッグの形状もさまざまだ。最近では、リュックサックやデイパックの上にナップザックを背負うスタイルが流行中。

利便性	★★★★
収納力	★★★★
映え度	★★

ナップザック インク
7239

ナップザック サイケ
7239

エビのバッグ
7239

バッグもファッション。

リュックサック ネイビー
69390

デイパック ホネガラ
29800

デイパック マルチカラー
29800

てがみのたば

各3000

麻の紐でくくられた手紙。おもにロッカーでオリジナリティを表現する際の映えアイテムとして使用されているが、なかにはリアルなラブレターも混ざっているかもしれない。ドキドキ。

重要度	★★
秘密度	★★★★★
映え度	★★★★

エアメール

ラブレター

［スタンプ］

水分は命の源。

ライム

ダーク

ウォーターボトル

各21000

ワンタッチで飲み口が出るため、バトルの合間にスピーディーな水分補給が可能。ゴクゴク飲めば、疲労した体に水分が染み渡って瞬時にエネルギーチャージ。1本は持っておきたい。

利便性	★★★★★
携帯性	★★★★
映え度	★★

パッション

エナジー

アクア

ぬいぐるみ

各10750

つぶらな瞳、分厚い唇……ちょっとふてぶてしい表情をしたぬいぐるみ。もにゅもにゅとした手触りと、大きめのサイズが人気で、疲れたときにぎゅっと抱きしめるとなんだか癒される。

癒され度	★★★★★
触りたくなる度	★★★★★
映え度	★★★

ニシキアナゴのぬいぐるみ

チンアナゴのぬいぐるみ

マーライカン

65000

とある地方にある有名な像を模したもの。上半身はイカ、顔は獅子、下半身は魚の形をしているのが特徴。サイズがかなり大きいためロッカーに置くと場所を取られるが、存在感は圧倒的。

迫力度	★★★
重量度	★★★★
映え度	★★★★

ナイスなカラバリ。

タオル

タオル 各6980

ちいさいタオル 各5980

肌触りと吸水性のよいタオルは、フェイスタオルの大きさと、ハンドタオルの大きさの2種類が存在。カラーによって加工が異なるのが密かなオシャレ。何枚でも持っておきたいアイテム。

利便性	★★★
使い心地	★★★★
映え度	★

トースター

10100

……そして顔の……人気のモデル。パンをセ……一定の時間が経つと、本……ジャンプするのがウリ。……い時間に変わる。

かびん

5800

バンカラ地方に咲く白い花とグリーンが生けられた白い花瓶。無機質になりがちなロッカーだが、花を飾ることでなんだか心に余裕が生まれて穏やかに。どの方向から見ても花がきれい。

癒され度	★★★★★
いい香り度	★★★★
映え度	★★★

所 有 は 至 福 。

おもちゃ

誰しも一度は遊んだことのある懐かしいおもちゃが、「いまだからこそよさがわかる」として近年再びブームに。飾っておくもよし、何人かで集まってロビーで遊ぶもよし。童心に返ろう。

癒され度	★★★
童心に返る度	★★★★★
映え度	★★★★★

SPORTS
スポーツ系アイテム

バスケットボール
各55555

新リーグが設立され、徐々に注目を集めているバスケットボール。その影響で仲間とともにストリートバスケを楽しむ若者が増加中。ひとりで黙々とハンドリングの腕を磨く者も。

手になじむ度	★★★
弾ませたくなる度	★★★★★
映え度	★★★

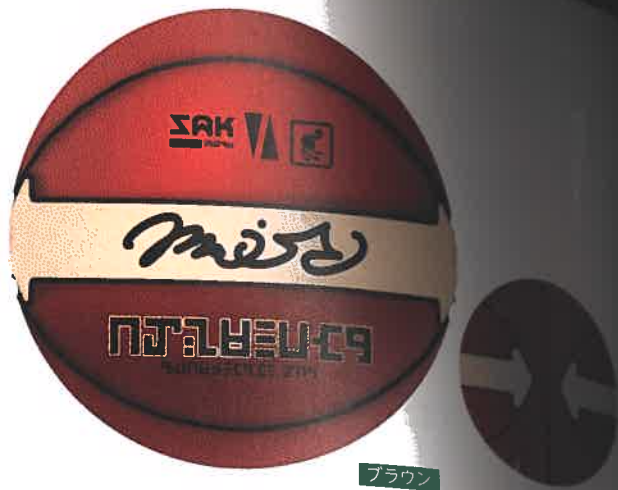
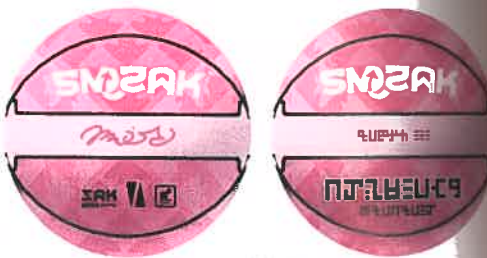
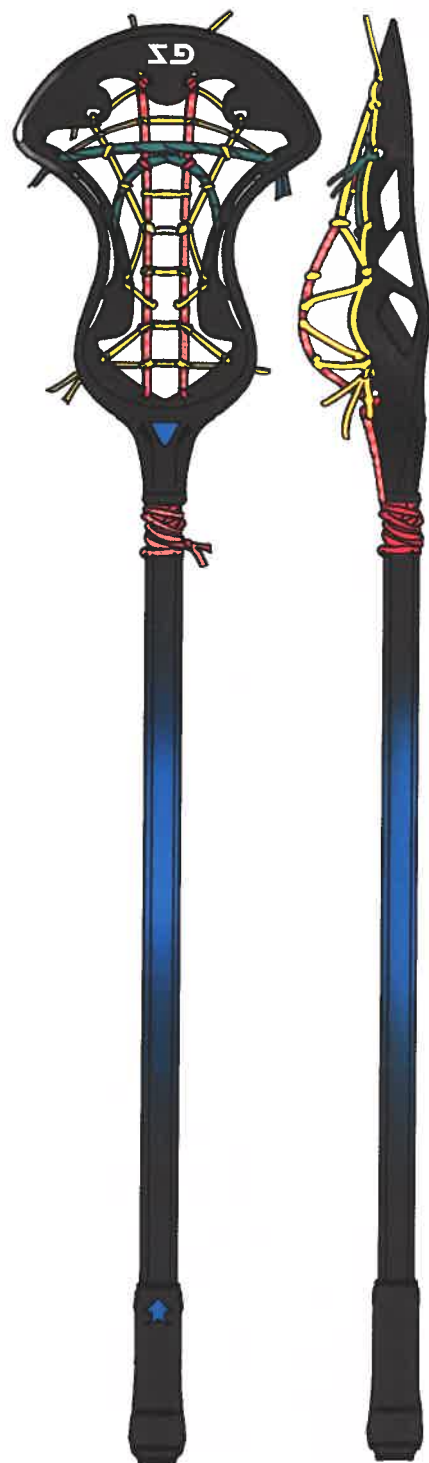
ブラウン

ウニアーズ

ロブスターズ

ピンク

戦いを楽しめ。

［ヘッド］

ラクロススティック
10101

硬質のゴムボールを奪い合い、相手のゴールにシュートして得点を稼ぐラクロス。メッシュ部分を自分で編み上げるのが人気で、若者のあいだでは「いかにカラフルにするか」が競われている。

手になじむ度	★★★
遊びたくなる度	★★★★
映え度	★★

ハイカラ地方・バンカラ地方版
ランワーク RUN WORK ETERNAL WAVE

あなたの街の
バイト情報誌

人生を豊かに過ごしたいあなたを全力でサポートするバイト情報誌。指定の場所で金イクラを納品すれば、数に応じてリッチな報酬を得ることができます。また、対象のオカシラシャケを倒せば、臨時ボーナスも。さあ、充実したバイトライフを!!

特集1 面接ナシでスタートできる
すぐに活躍できる現場

特集2 バイト時間をより豊かにより楽しく
作業着カタログ

新しいジブン きっとミツカル

すぐに活躍できる現場

NEW!

- 安心して無理なく働けます
- 手厚い報酬完備
- アットホームな現場です

すじこジャンクション跡

廃墟になっていた高速道路が、いつの間にかシャケのライブ会場に。左右にある二筋の道路からシャケが合流点を目指して上陸してくるので、シャケの大渋滞に注意しなければいけません。

金イクラを集めるだけで高収入

OK!

アルバイト 金イクラの納品作業

1日1分からでも可 24時間募集中

未経験者でも応募OK

髪型・髪色・作業着自由

【仕事】 仲間と協力をして金イクラを納品

【報酬】 完全出来高制
成績によりインセンティブ支給

【支給】 ブキ・ギア・ウキワタンク

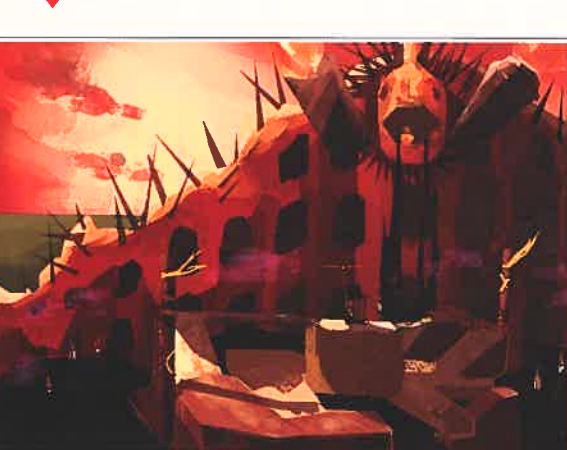
【場所】 すじこジャンクション跡

【資格】 経験・年齢不問

【応募】 まずはお気軽にクマサン商会へ

クマサン商会
あなたの街の駅から徒歩すぐ
オレンジの看板が目印です

NEW!

☑ コツコツ作業が好きな方にピッタリ
☑ プライベートも充実♪
☑ 専門的な難しい作業は一切ナシ!

どんぴこ闘技場

その昔イカの流刑地だった場所を、シャケたちが闘技場に改造。闘技場ではより強く、よりおいしいシャケを決めるために、日夜激しい戦いがくり広げられています。

専用ヘリで現場までラクラク移動 OK!

アルバイト 金イクラの納品作業

若いイカ・タコが活躍中!
丁寧な指導・研修に自信アリ
必要なのはあなたのやる気★

【仕事】 仲間と協力をして金イクラを納品

【報酬】 能力給
成績によってボーナス支給あり
作業後即時支払い

【場所】 どんぴこ闘技場

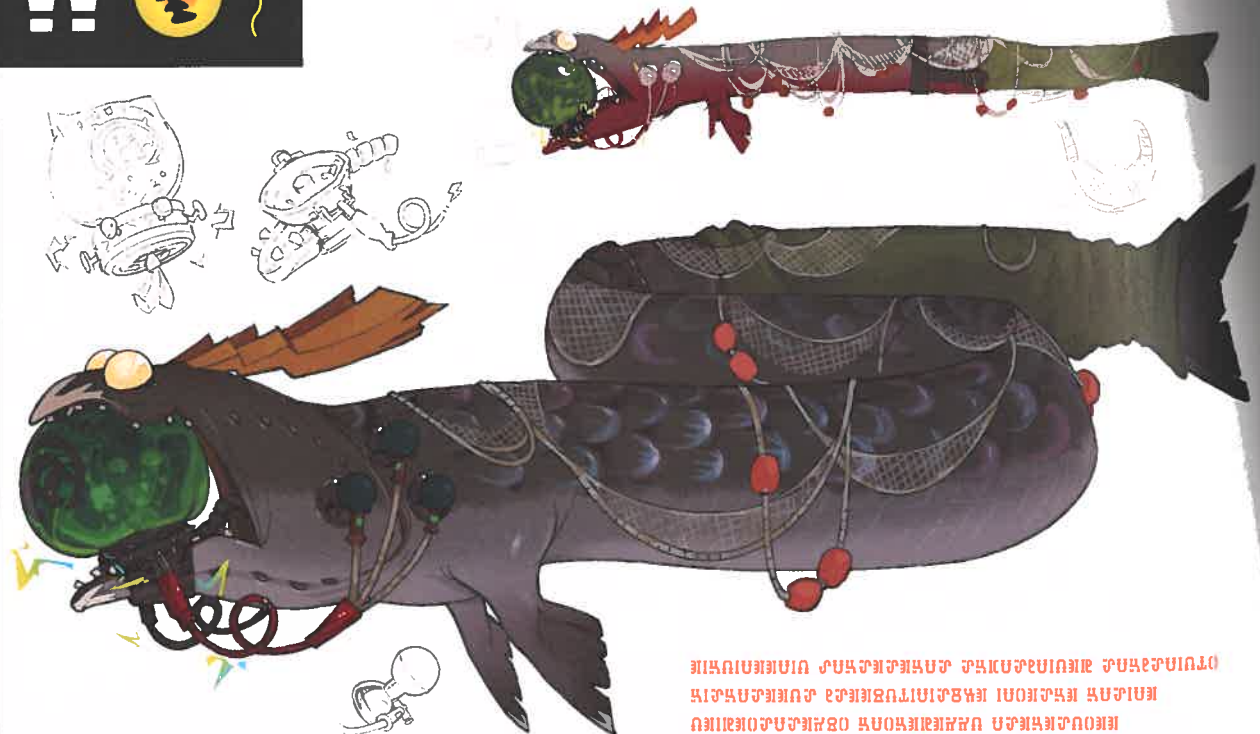
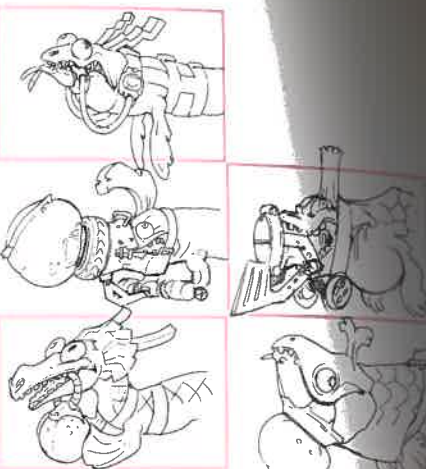
【資格】 年齢・性別・資格・経験不問

【応募】 まずはお気軽にクマサン商会へ

クマサン商会
あなたの街の駅から徒歩すぐ
オレンジの看板が目印です

オカシラシャケ

オカシラシャケ タツ

ステージの上空をぐるぐると旋回し、一定時間ごとに口からインクの玉を吐き出す。インクの玉は地面に着弾すると大爆発を起こすので、玉が小さいうちに金イクラをぶつけて破壊することが肝要。

これまでは「ヨコヅナ」と呼ばれるオカシラシャケが確認されていたが、近年では上空を旋回する「タツ」、潜伏してターゲットを狙う「ジョー」というクセのあるオカシラシャケの姿が報告されている。しかも、その3体が“オカシラ連合”として出現するケースも。

対象1 ヨコヅナ　対象2 タツ　対象3 ジョー

オカシラシャケ ジョー

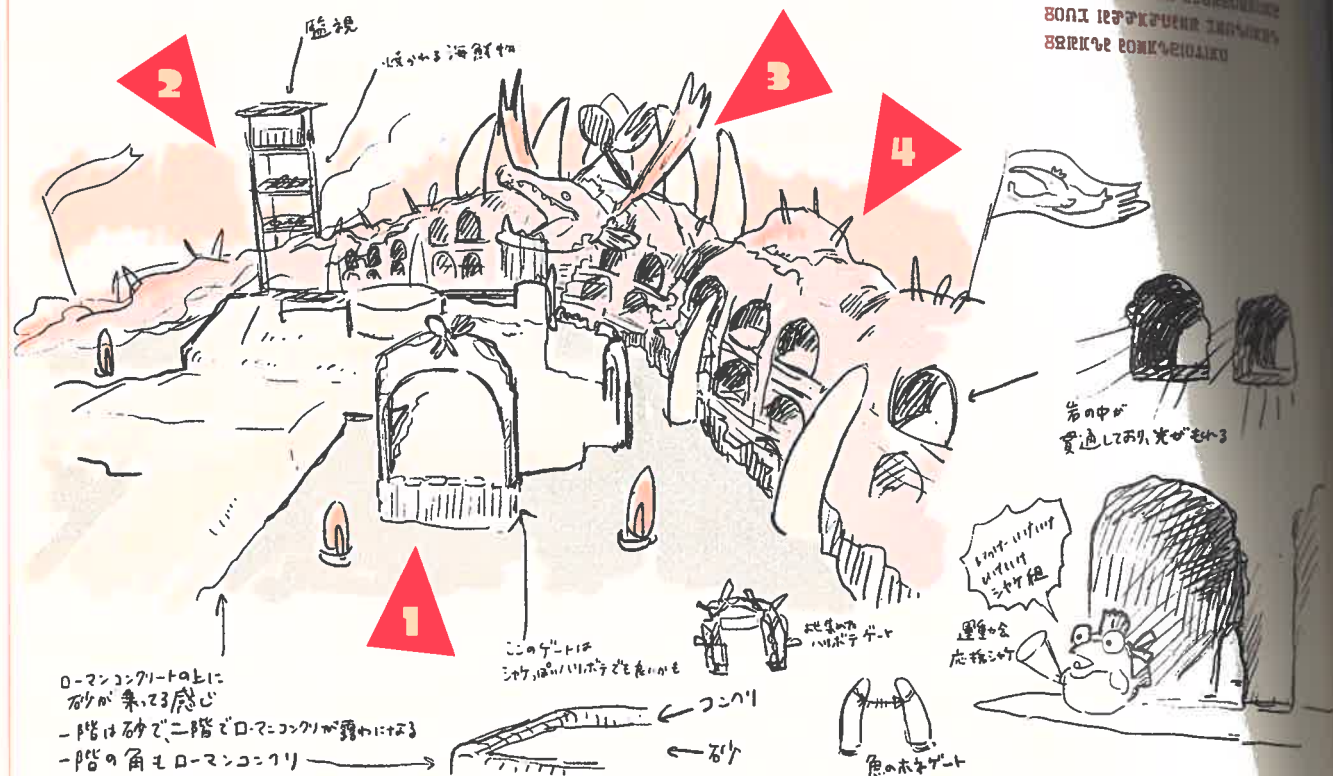
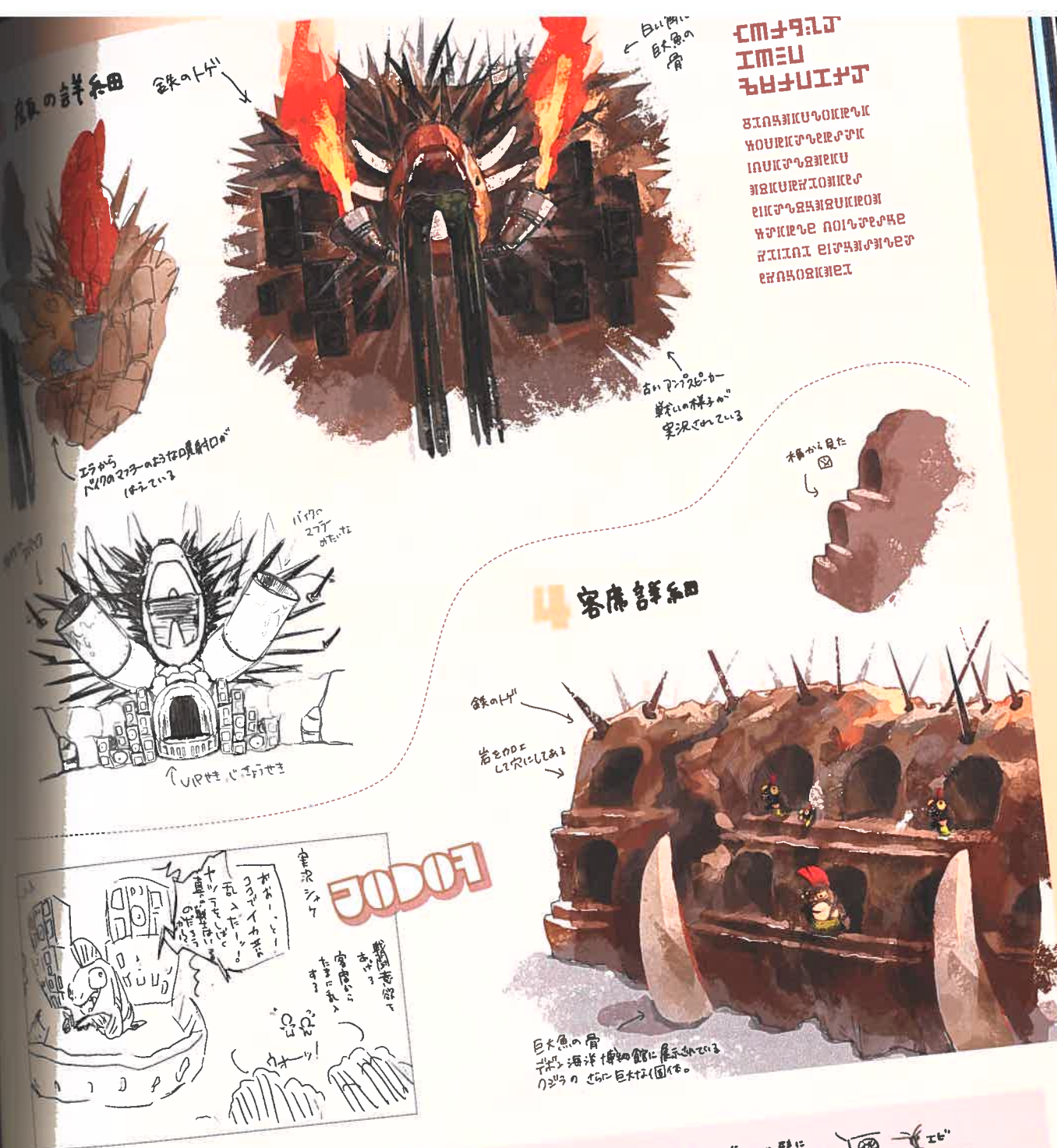
ヨコヅナとタツよりも巨躯で、何でも飲み込んでしまうジョー。飲み込むターゲットを定めると地中に潜伏し、警告音とともに地上へ飛び出してターゲットに襲いかかる。背中にある大きな赤いコブが弱点。

さすらいの野良バイターがゆく!

アルバイト現場レポート

レポート／セビーチェ

寝ても覚めてもサーモンランのことばかり考えている野良バイター。海に浮かぶブイを眺めるのが好き。

第8回 今週の現場 どんぴこ闘技場

全景

監視

焼かれる海鮮物

岩の中が貫通しており、光がもれる

ここのゲートはシャケっぽいハリボテでも良いかも

寄せ集めのハリボテゲート

運動会応援シャケ

ローマンコンクリートの上に砂が乗ってる感じ

一階は砂で、二階でローマンコンクリが露わになる

一階の角もローマンコンクリ

←コンクリ

←砂

魚のホネゲート

1

2

監視塔

顔の詳細

鉄のトゲ

白い歯に巨大魚の骨

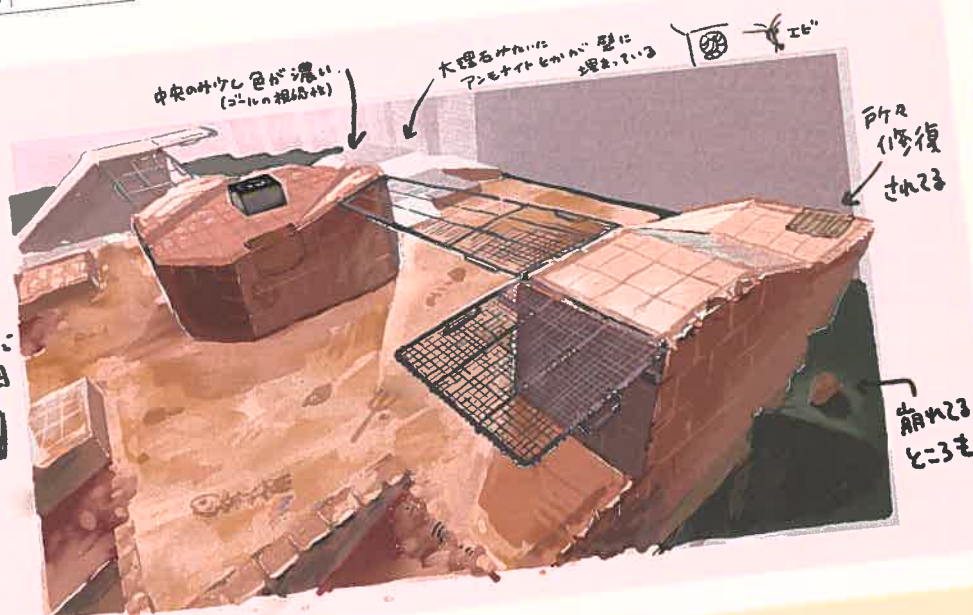
エラからバイクのマフラーのような噴射口がはえている

古いアンプスピーカー 戦いの様子が実況されている

バイクのマフラーみたいな

横から見た図

↑VIPせき じょうせき

4 客席詳細

波の音に誘われて
砂浜に舞い降りた天使

すりみ連合のメンバーとして日夜作曲に取り組むマンタロー。
RANOMATの名でも活躍しており、
楽曲提供も精力的にこなしている。
じつは、由緒正しき舞踏流派“曼蛇流”の当主の顔も……。
そんな彼が、南国の砂浜でグラビアに挑戦。
鍛え上げられた健康的でしなやかなボディと、
ちょっと大胆で開放的なポージングに注目！

撮影／鱒田トラウト　スタイリスト／Decapoda　ヘア＆メイク／乙女☆Bella

ふりかえるだけで
やさしい風を感じるの
わたしのサーキュレーターに
なってくれませんか？

BANCALA JOURNAL

バンカラ地方で見たこと、聞いたこと。

行政

タカアシ経済特区　第１回
「タカアシ経済特区都市構想メディア懇談会」

先般、タカアシ経済特区において第1回「タカアシ経済特区都市構想メディア懇談会」が行われました。会の冒頭で区長が述べた挨拶の中に、まちづくりへの取り組みや特区の今後について言及がありましたので、バンカラ地方に居住している皆様に知見を深めていただくため、区長の挨拶を文章化いたしました。

(聞) タカアシ経済特区総務課

「タカアシ経済特区都市構想メディア懇談会」におけるタカアシ経済特区区長挨拶

本日は皆様方、大変お忙しい中、またお足元の悪い中、当懇談会にご出席賜り誠にありがとうございます。第１回「タカアシ経済特区都市構想メディア懇談会」の実施に際し、できる限り簡潔にひと言だけ、手短にご挨拶を申し上げたいと思います。

タカアシ新街区再開発相談委員の皆様方には、公私とも極めてご多用の中、当懇談会へご参加いただきまして誠にありがとうございます。平素から皆様方にはタカアシ区政の推進に格別のご理解、ご支援をいただいておりますことを、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

さて、タカアシ特区周辺のまちづくりにつきましては、さまざまな視点から検討を重ねてまいりました。目下の目標として取り組んでおります特区開発第一フェーズ、以下「特一」においては、区画整備事業ならびにヤガラ市場組合との意見交換会などを進めてまいりました。さまざまな観点からご議論いただけますよう、都市開発の学識経験者のみならず地域代表の関係者、またNPO、そして公募による市民の皆様方にご就任いただきまして、オープンな協議を通して各方面への対応が円滑に図られたことが特一の推進に繋がったと確信しております。引き続き、区の各担当者および各自治体とともに、より具体的な事業の組み立てや議案策定にシフトし取り組みを進めます。

皆様ご承知おきの通り、私たちは特区開発の第一フェーズの完了まであとわずかというところに至っておりますが、今年が「地固めの年」とするならば、来年はいわば「土台作りの年」として、特区の第二フェーズ、以下「特二」への足掛かりがより具体的なものになると考えております。バンカラ市および近隣区域の発展と足並みを揃えることで、より一層バンカラを代表する特区への発展、情報化社会、国際化社会に適応した、新たなバンカラを体現する特区の実現は揺るぎないものであると認識をしている次第でございます。

このような新たなるフェーズにつきまして、当経済特区が世界に誇るタカアシとして発展する礎を築くため、区の担当者だけでなく市民の皆様とも一丸となり、「高く高く・タカアシ作戦」を実行し、その着実な進行に向け具体的なアクションプランを検討しているところでございます。

先月には第3カニビルヂング、通称「3カニ」の開業、ならびに地下鉄との直通経路の開通、今月にはバンカラの玄関口であるリュウグウターミナルとのアクセス改善、さらに再来月には念願の駅直結商業区画であるタカアシ横丁のオープン、そして来たる翌々月には地上高250m、地方最大級のタラバビルが開業する段取りで動いております。さらに来年にはバンカラ・トリエンナーレの開催を予定しておりますので、国内外から多数の皆さんがタカアシの地にお見えになります。再来年には対赤潮国際会議が、新設されますタラバビルのカンファレンスセンターで開催されるなど、まさに高く高く・タカアシを体現する特区開発事業が立て続けに現実のものとなるとともに、バンカラ、そしてタカアシを世界に向け大きくアピールできる飛躍の年である、このように考えております。

さて、当懇談会は「高く高く・タカアシ作戦」における最重要課題、旧タカアシ公園再整備事業「タカアシの丘」のための基本構想を検討するにあたり、委員の皆様と自由に意見交換を行い、世界に誇れる特区づくりを進めるきっかけとしたいという思いから実施するものです。

旧タカアシ公園再整備につきましては、かねてからの問題でございます。ヤガラ市場の境界に位置する公園でございますから、日中は多数の屋台が並び、地域の方々の台所となっていることはご承知おきの通りかと存じます。そうした市民生活との関係や、バンカラの歴史文化、行政の理念が複雑に絡まっている地域でございますので、なによりも市民の皆様に親しんでいただける共有空間、憩いの広場としての公園のあり方などにつきまして、ゼロベースで忌憚なきご意見をいただきますようお願い申し上げたい次第でございます。

本懇談会で頂戴しました内容につきましては、これを貴重な検討材料とさせていただきながら、タカアシの丘基本構想の策定に向け検討を進めてまいりたいと考えております。

皆様のご支援とご指導のほど、よろしくお願いいたしたいと思います。簡単ではございましたが、ご挨拶にかえさせていただきます。

ナンプラー遺跡における最新学説

[illegible]にあるナンプラー遺跡では、遺構や遺物から古代の歴史を紐解こうと多くの考古学者が調査を行っています。最新鋭の機器を導入した近年の調査により、新たなことがわかってきたようです。

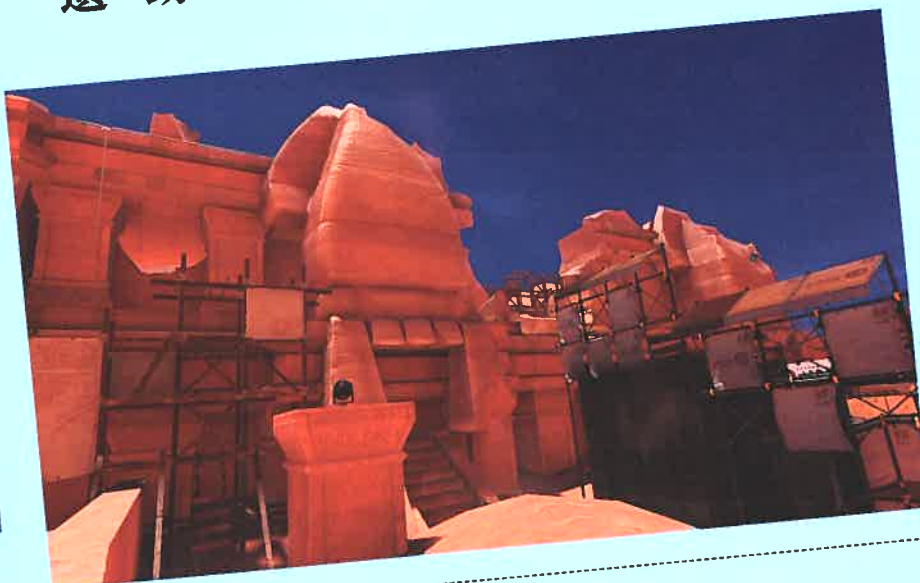
(文) ナンプラー遺跡調査団

ナンプラー遺跡の歴史を紐解く

ナンプラー遺跡群は約2100年前のナンプラー帝国の遺跡で、バンカラ地方カイレイ山脈の上流域にある。周囲の自然と一体となった古代の神殿を間近に見学でき、観光地としても人気となっている。

ナンプラー帝国は古代ウスター帝国との戦いにより滅亡したものの、深い山脈の奥地に位置していたことから破壊を免れたとされている。カイレイ山脈は大規模な地殻変動により砂漠へと姿を変えたが、遺跡群は奇跡的に大きな損傷を免れたため良好な保存状態を保っており、古代イカの生活を知るための貴重な資料となっている。

この遺跡の名前は古代イカ言語で「鋭い痛み」という意味。なぜ、幼体ともとれるイカの形を祀るに至ったかなど、いまも残る多くの謎を解明するため発掘が続いている。祠堂は接着剤を使わずに焼成煉瓦を積み上げ、壁面にはイカの幼体を模した巨大な像が立ち並ぶ。遺跡に施された建築技術から、当時のナンプラー帝国には高度に発達した文化が花開いていたことがうかがえる。

近年になって、ナワバリバトルの会場として使われるようになった。ナワバリバトル協会は「イカのインクは時間経過とともに完全に消滅し、遺産に対して影響は全くない」とコメントしているが、貴重な古代遺物へ影響については議論を醸している。

遺跡の貴重な壁画

保存状態のよい壁画には顔料の色までもが残っており、当時の人々が見ていた景色を私たちに教えてくれる。壁画の顔料は分析することで、顔料に使われた鉱物、ひいてはその土地の交易の分布までを調べることができる。ナンプラー遺跡を作った人々は、色鮮やかな青い顔料を使っていた。顔料の原料となるラピスラズリはバンカラ地方では産出せず、マサバ海峡を越えたハイカラ地方から運ばれたことが近年の研究で明らかになった。ほとんど文献の残っていないハイカラとバンカラ地方間での交易の証拠として研究者から注目されている。

古代イカに使役されるウーパールーパーと思われる生物のレリーフ

現代を生きる我々からすると想像もできないかもしれないが、ウーパールーパーは古代より家畜としてイカに使役されてきた歴史がある。古代の遺跡や古文書などにもウーパールーパーと推測されるレリーフがイカ文化、タコ文化を問わず見られることが多い。時代が進むにつれウーパールーパーとイカとの関係はいまの形に変化していったと言われている。

よい子の考古学入門 | 114巻

質問「どうして、ナンプラー遺跡は崩れないの？」

ナンプラー遺跡はとても長い時間砂の中に埋まっていて、発見されませんでした。天然の砂の毛布に包まれていたので、重力（地球上で物体が地面に引き寄せられる力のこと）や雨や風による倒壊を免れました。ナンプラー遺跡のような、建てられたときの姿がそのままが残っている遺跡はとても珍しいです。

現在も発掘作業が進んでいて、遺跡の内側には部屋のようなものがあることもわかっています。しかし、内部の砂を取り除くと建物が崩れる可能性があり、研究者は遺跡を保存しながら発掘を進める方法を探っています。いま、私たちが立っている地面の下にも、まだ見つけられていない古代の遺跡が埋まっているかもしれませんね。

寒いところでおいしさ発揮するカップラーメンベスト3

バトルの合間や夜食など、若者たちのあいだで絶大な支持を得ているカップラーメン。今回、特別にオヒョウ海運で働く作業員たちにカップラーメンの人気調査を行いました。極寒の海上で働く彼らに人気の種類はどれなのか。ぜひ、皆さんの生活にも取り入れてください。非常食として常備するのもオススメです。

㊐ バンカラ市生活衛生部生活衛生課

第1位 / 墨田製麺 **濃厚バン辛味噌**

ガツンとくる辛みに思わず「やられた！」と叫びたくなる一品。極寒の地でも上着が不要になるアツさにやみつき。体温が上がり、サーマルインクで見つかりやすくなるので気をつけて。

第2位 / シオサイ食品 **あっさりあさりラーメン**

あっさりとまろやかが絶妙なバランスの定番商品。雑味が一切ないので、海風の塩味すらアクセントになる。ガチアサリ前のゲン担ぎに食べるイカたちもいるとか。

第3位 / シーフー堂 **藻～いっぱいエスニック麺**

見た目からは想像できないコクと辛みでランクイン。自家栽培の「藻」は栄養たっぷり。一杯でじんわり温まる満足度の高い一品。

PRESENT

1位の"濃厚バン辛味噌"を抽選で88名様にプレゼントいたします。応募は上記の問い合わせ先へ信号を発信してください。

88名様

締切：

バイガイ亭 創業者の言葉

深い海を彷彿とさせるコクのあるスープ、噛み応えのある麺、そして注文から提供までのスピードの速さが人気のバイガイ亭。いま、若者たちに「よくわからないが不思議と響くものがある」として話題となっている、創業者の言葉を調べました。

㊐ バンカラ市生活衛生部生活衛生課

一、サイド・バイ・サイドの精神で
一、イガイとうまいを目指せ
一、バイ、それは買いと心得よ
一、バイバイに成長せよ
一、ラーメンはイガイガにも効く
一、タイム・ゴーズ・バイ
一、バイバイは満腹と共に

警察にマスコットが登場!?

来秋バンカラ街の広場にて開催が予定されている「バンカラふれあいパレード」に向け、若者がパレードをもっと気軽に楽しめるようにとバンカラ警察がマスコットキャラクターを考案しました。なお、考案したものの正式採用は未定とのことです。

㊐ バンカラ警察安全生活課

どんぴこ闘技場流刑者の記録

クマサン商会の派遣先のひとつとして知られるどんぴこ闘技場は、若者にはあまり知られていませんが、イカの流刑地だったという過去があります。歴史研究所に当時の貴重なお話を伺いました。

㊐ どんぴこ闘技場歴史研究所

最初に。どんぴこ闘技場とは……

どんぴこ闘技場はイカの元流刑地をシャケたちが改造して闘技場にしたもので、約90年前に使用されていた建物です。激しい嵐の影響やシャケの縄張りが進んだことなどから、現在は大部分が失われています。

かつて脱獄不可能と呼ばれた特殊な立地であることから近づくことが難しく、最近まで詳しいことはわかっていませんでした。近年、シャケへの対応策と交通手段の発達により上陸が可能になったため、研究が進みました。

「300店舗で食い逃げしたイカ」
「威力を求めるあまりとんでもない違法改造ブキを作ったイカ」
「建物を丸ごと盗んだイカ」

などなど……とにかく手に負えない重罪イカを送りこむ場所としての用途が主だったことがわかってきています。

トリビア 1

Trivia 01 どんぴこは、じつは脱走し放題だった!?

現在は海に沈んでいますが、牢屋はイカ状態ならすり抜け可能だったようです。ですが周りは海で囲まれているため外に出ても意味はなく、結局自分の部屋として牢屋に落ち着くイカが多かったこともわかっています。

トリビア 2

Trivia 02 伝説の受刑者 ケン・クラーク

↑壁に記されたタリーマーク。ケン・クラークが脱獄を試みた回数の記録のためにつけたものとのこと。

彼はどんな手を使ってでも狙った獲物を手に入れたと言われています。ある日「一番強い」という称号が欲しくなった彼は、お手製の改造ブキで現在のバンカラ街周辺にあった3つの集落をまるごと吹き飛ばして強さを見せつけましたが、その後捕まり流刑となりました。彼はしばらく流刑地のボスとして君臨していたものの、ある日突如として姿を消してしまいました。彼の残した手記から初の脱獄の成功例だったらしいことがわかっていますが、いまだに消息は不明です。

トリビア 3

Trivia 03 鬼才の獄中アーティスト エンジェルガイ

彼は最も謎に包まれた囚人です。現在も彼に関する情報は彼の残したグラフィティ以外に見つかっておらず、なぜどんぴこに収容されていたのかもわかっていません。そんなミステリアスな魅力に取りつかれたのか、彼の描いたイカのマークは一部のマニアのあいだでカルト的な人気があります。

↑エンジェルガイの残したマーク。

トリビア 4

Trivia 04 囚人VSシャケ

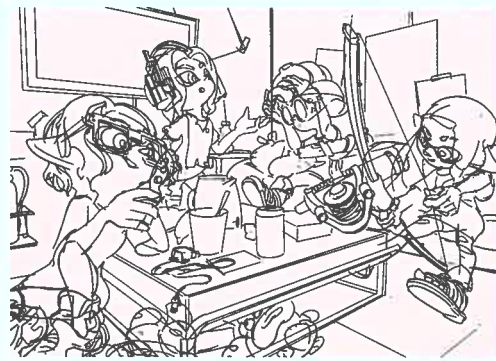
当時の囚人もシャケたちと戦っていたと記録されています。暇つぶしや腕試しとして戦っていたようです。シャケたちもシャケたちで己の味に磨きをかけるため、積極的に戦いに挑んでいったとみられています。

↑いまのどんぴこは、まさに時を超えたリベンジマッチと言える。

←激しい戦いのあとが見て取れる。

アート

クリエイターによる展覧会“フレッシュ・フィッシュ展”が開催中

生命の熱き血潮がスパークするイカタコたちの姿をダイナミックに切り取り、一枚のキャンバスに描いた展覧会“フレッシュ・フィッシュ展”が、来月からキンメダイ美術館で開催。開催に先駆け、出展作品とラフ画の一部を特別公開いたします。

問 キンメダイ美術館

PRESENT

フレッシュ・フィッシュ展のチケットを抽選で108名様にプレゼントいたします。週末は、ぜひキンメダイ美術館へ。

締切：

108名様

ロビーに溢れる音楽

ロビーに新設されたジュークボックスでは、おカネを100G投入することで時代の潮流に乗るアーティストたちの曲を聴くことができます。曲がどんどん更新されていきますので、ぜひ、お好きな曲を見つけ、ロビーを音楽で満たしてください。

問 IOTカスタマーセンター

サカナ型クッキーが販売間近？

バトルの合間に手軽にエネルギー補給できるフードとして、現在サカナ型のクッキーを試作中との噂が。パッケージがすでに出来上がっていることから、お披露目は近いかもしれません。サンカクスの店頭に並ぶ日をお楽しみに！

問 IOTカスタマーセンター

編集スタッフ募集!!

ページをめくれば輝く情報の宝庫。バンカラ地方を盛り上げるエンタメ情報誌『BancalaWalker』で編集スタッフとして働いてくれる方を大募集しています。まずはお気軽にご連絡ください。

●仕事内容／雑誌の編集業務、企画運営
●応募資格／イカ語を問題なく操れる方、バンカラ街が好きな方
多様な生物と円滑なコミュニケーションがとれる方
バイタリティがある方

問い合わせ先／BancalaWalker編集部

from Bancala おたよりひろば

バンカラ地方の皆さんから届いた素敵でイカすイラストをご紹介するコーナー。

みんな大好き！
金網デスマッチ
スペシャルで切り抜ける〜!!

100％温泉好きさん

一流のすりみさん

ピーチエさん

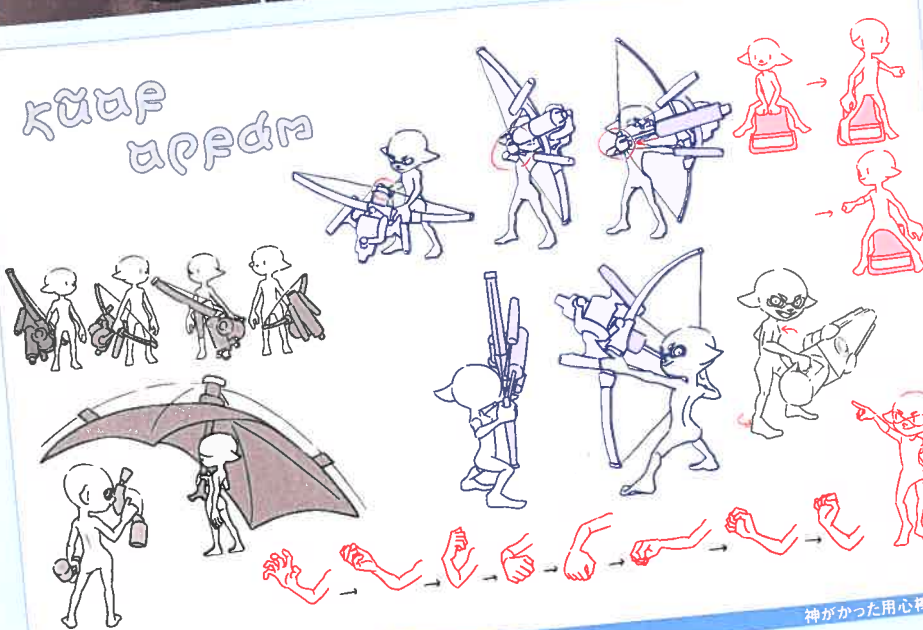
やりぬく能力者さん

紅のプリンさん

華があるプランクトンさん

具たくさんの命さん

神がかった用心棒さん

ピカピカの2年生さん

ブキチのブキ研究所
BUKI RESEARCH OF BUKICHI BY BUKICH, FOR BUKICH

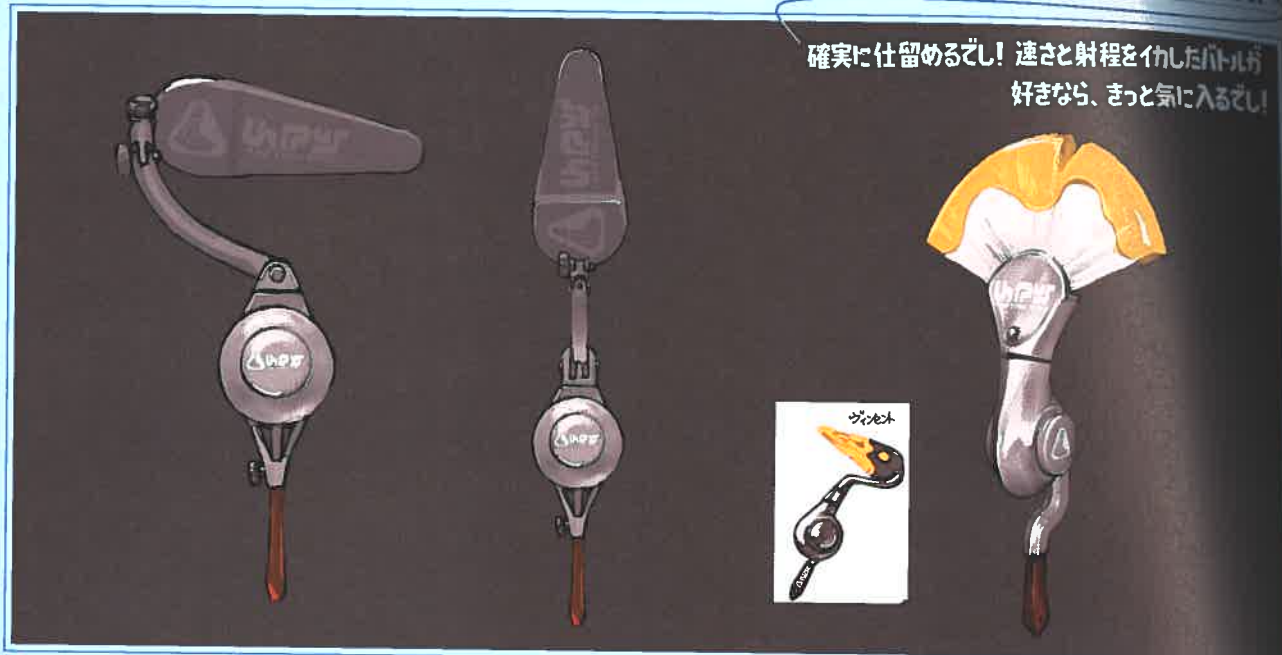
ブキ研

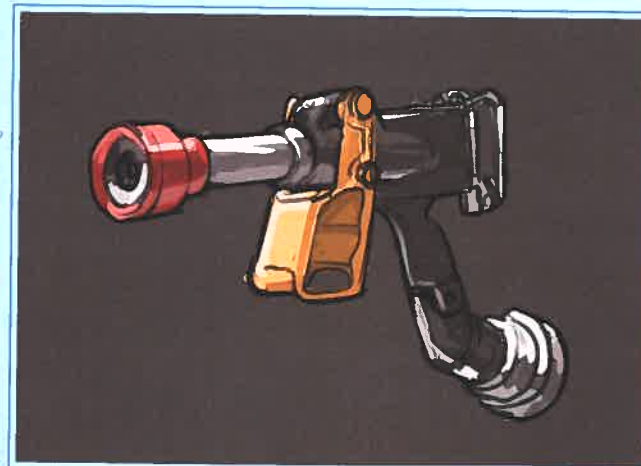
ブキチが、愛情たっぷりにブキを紹介する人気のコーナー。ブキに対する熱すぎる想いのぶんだけ、文字が規定よりオーバーフローするのはご愛嬌。

no. 01 フィンセント

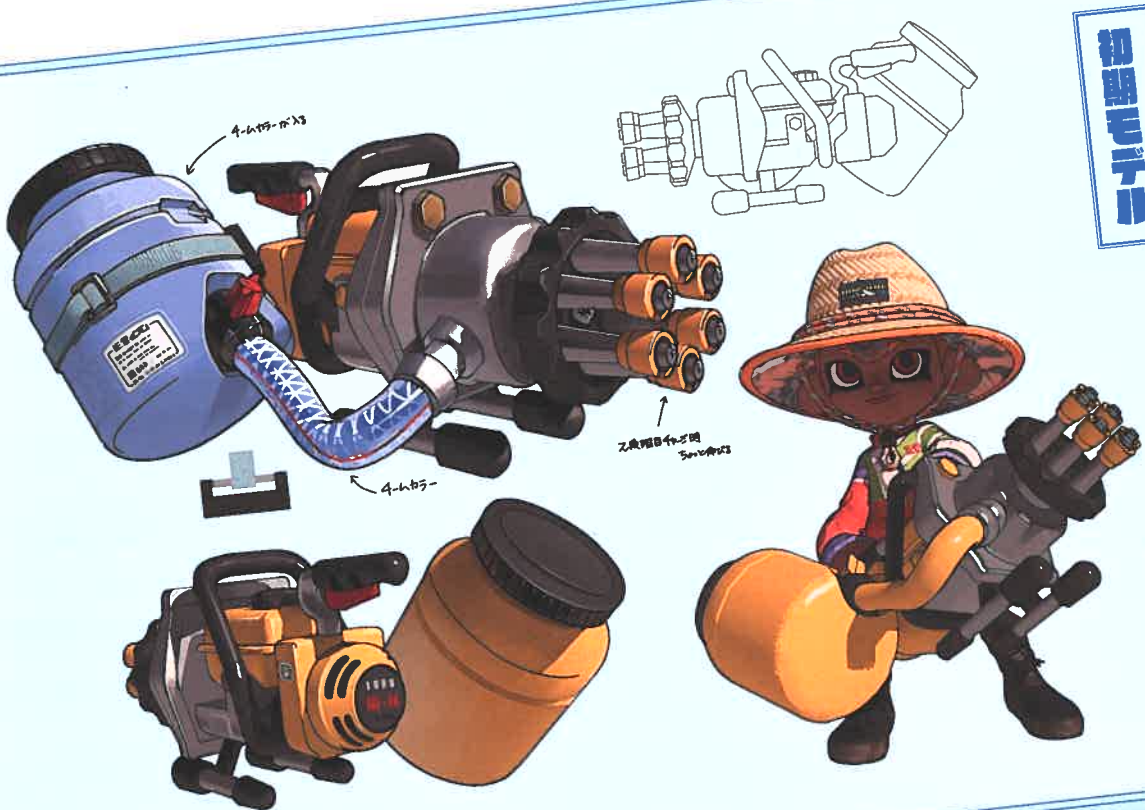
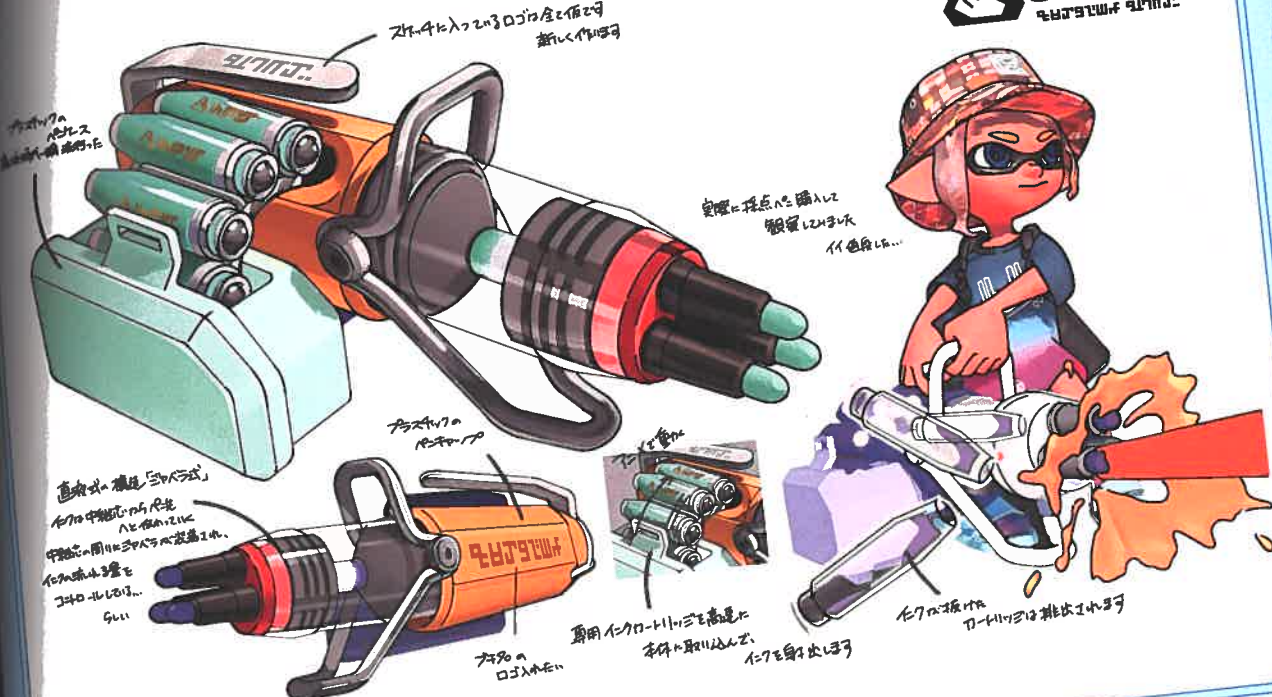
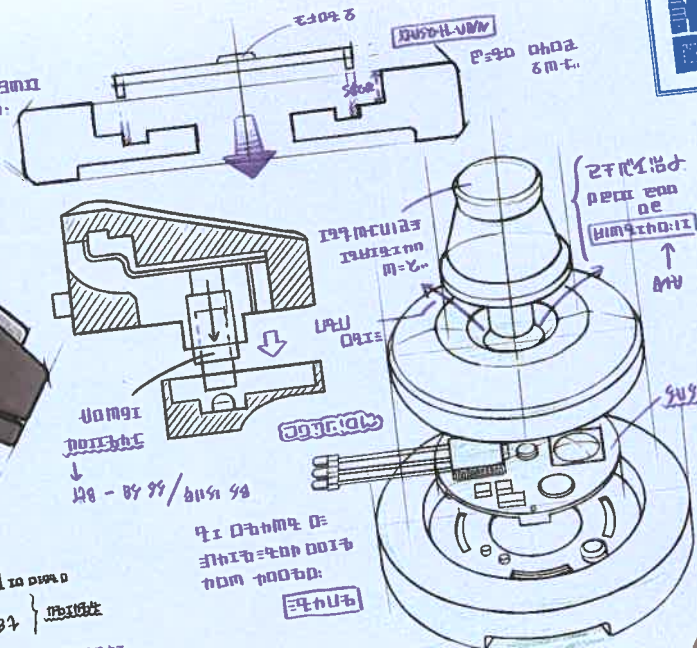
射程 / 塗り進み速度 / 軽さ

フデ部分が90°回転する機構を持つことで 射程と攻撃力を両立させた フデでし! 振るまでのスキは長めでしが、その分 遠くまでインクを飛ばせるでし! フデの中では一番なんでしよ～ フデなので、塗り進むのも速いでしから サブのカーリングボムと合わせれば、有利な間合いに持ち込みやすいでし! スペシャルのホップソナーで相手をマークして、確実に仕留めるでし! 速さと射程をイカしたバトルが好きなら、きっと気に入るでし!

no. 02 ガエンFF

射程 / 攻撃力 / 機動性

スライドの前後で性格が変わる 長射程のマニューバーでし! スライド前は、連射力はひかえめでしが、長い射程がミリョクでし! 遠くの相手を けん制して、バトルを有利に待ちこむでし! スライド後は射程が短くなるでしが、連射力が大きく上がるでし! 近距離戦では切り替えて戦うでし! サブのトラップにかかった相手は、長射程のメインやスペシャルのメガホンレーザー5.1chのエジキになってもらうでし! ややマニアックで かわいがりこなすのが 大変なブキでしが、多方面にカツヤクしたい使い手に 試して欲しいでし!

no. 03 イグザミナー

射程 / チャージ速度 / 機動性

スピナーの中では最速の連射力を実現し、さらにも速く移動できるブキでし! チャージ時間は長いでしが、その分たくさん撃てるでし! フルチャージして撃つと連射力が上がるでしから、しっかり チャージするでし! サブのカーリングボムは、移動力をさらに高めてくれるでし! スペシャルのエナジースタンドにも移動力アップの効果があるでしよ! 思う存分 インク弾をばらまきながら、戦場を高速でかけ回りたいフルスロットルな使い手に かわいがって欲しいでし!

初期モデル

ロブイチ 旅の記録
～アザーカットを添えて～

“ロブイチ”と称して始まったロブさんのアゲアゲな旅を、本邦初公開のアザーカットとともに振り返っていく。

チャレンジャー・ロブ アゲアゲ旅の果てに見たものは

ハイカラシティのクツ屋“エビスシューズ”の店員だったロブさんは、その後ハイカラスクエアでキッチンカー“ロブズ・10・フラー”をオープン。思えば、彼はその頃から魂の自由を、そして自分のあるべき姿を追い求めていたのかもしれない。数年後、思いを爆発させるように「僕のこれまでの歩みを振り返る」と決意新たにクラウドファンディングを立ち上げると、支援者から募った塗りポイントを原動力に未知の旅へと出発。自転車にわずかな荷物を載せ、じつに60ヵ所ものスポットを巡った。その足跡を辿りながら、貴重なアザーカットを紹介する。

ロブさんの旅のアイテム

自転車の前に取り付けられたフライヤー状のバスケットと黄色いサイトバッグには、これだけのアイテムが。ひと際目を引くのは一眼レフのカメラ。長い腕やセルフタイマーを使って、風景や自分の姿を撮影している。

アゲアゲ

テンションフライハイ!

JOURNEY 1

ジャーニー 1

旅のはじまり ～千里の道も一塗りから～

ロブさんが旅の最初の目的地として掲げたのはバンカラ地方。広大な自然がいまなお多く残るバンカラ地方に興味津々な様子で、「本当の自分をアゲていくしかないっしょ！」と期待を胸に“チャレンジャー・ロブ”としての第一歩を踏み出した。

二度アゲ!

JOURNEY 2

ジャーニー 2

旅の途中 ～どの道を塗るかより、塗った道をどう進むか～

続く目的地をハイカラ地方に定めたロブさん。旅に出る以前に住んでいた街に思いを馳せ、「過去の自分を見つめ直していまの自分を更にアゲ直したい」と意気込む。ホットな“二度アゲの旅”で、彼の瞳に映ったものは何だったのだろうか。

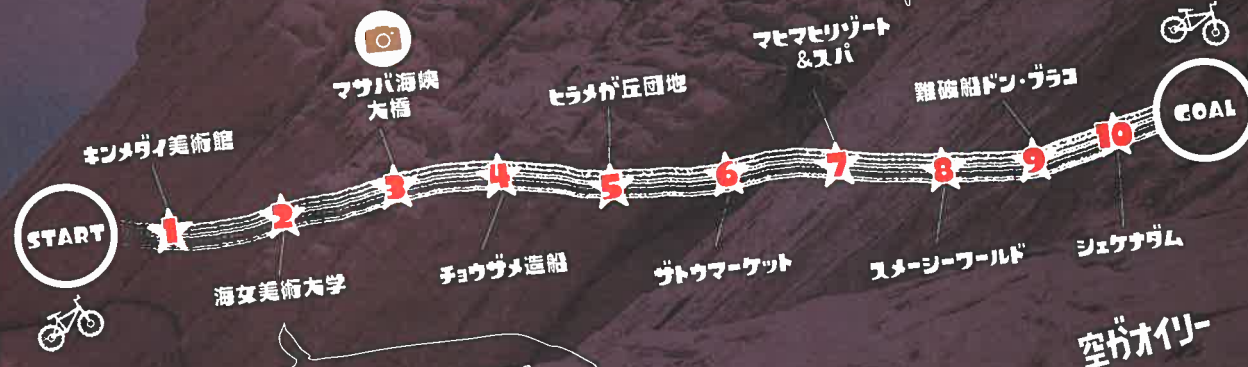
マサバ海峡大橋

こんなアガる要素しかない場所、
アガり過ぎ注意報だよ～!　ジュワワ～!!!

バクアゲスポット

START
1 キンメダイ美術館
2 海女美術大学
3 マサバ海峡大橋
4 チョウザメ造船
5 ヒラメが丘団地
6 ザトウマーケット
7 マヒマヒリゾート&スパ
8 スメーシーワールド
9 難破船ドン・ブラコ
10 ショッツル鉱山
GOAL

ここの食堂はフライがイケてる
バクアゲスポットなんだ～。

空がオイリー

ジャーニー 3

旅の終わり
~塗る前に道はない、塗った後に道はできる~

旅のラストに向けてハイカラ地方の懐かしい場所やバンカラ地方の新しいスポットを巡ることにしたロブさんは、「これまでよりもハイカロリーな旅になる予感がする」と期待に胸を膨らませる。ロブさんの"総仕アゲ"の旅が始まった。

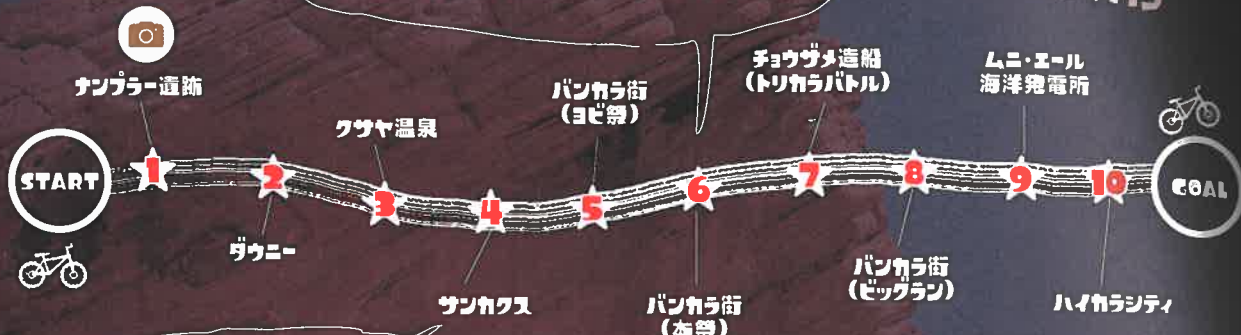
JOURNEY 3

ジャーニー 5

まだ旅の途中
~どこに行くのかわからないけど、僕はいま塗っている~

旅の中で目指したい"未来の自分像"がなんとなく掴めてきたというロブさん。自分の成長を感じ、「僕も世界もアガっていくアゲアゲトルネード!こりゃあ行くとこまで行くっきゃないっしょ~!」と奮起して、まだまだ旅を続けていく。

ジュワワ~~~~ッ!

JOURNEY 5

ジャーニー 4

旅の終わり、それは次の旅のはじまり
~とりあえず塗ってみようよ、そうすれば上手くいくさ~

長い旅を終えたはずだったが、旅を振り返って「これからの自分の未来は誰かアゲていくの? そりゃ自分っしょ~!?」と"自分をアゲる自分"を見つける旅へと出ることに。新たなチャレンジを掲げ、さらなる一歩を踏み出した。

アガってる~?

JOURNEY 4

JOURNEY 6

ジャーニー 6

旅にアガりはない
~不可能に思えることだって、塗り進めば超えられるさ~

まだおぼろげな"未来の自分像"に対して、「もっとハイカロリーにアゲてったらわかるのかな~?」とロブさん。「"この旅の先にあるもの"を見に行ってみようと思うんだ!」と、旅を続けることを宣言。さらに大きく成長することは間違いない。

機内食で天ぷらかフライが選べるのって最高じゃない?

働く乙女のリアルすぎる日常

イイダさんのラップトップを覗き見

ワールドツアーや楽曲制作に奔走するテンタクルズのDJイイダさん。
仕事の必需品であるラップトップの中身を見せていただいた。

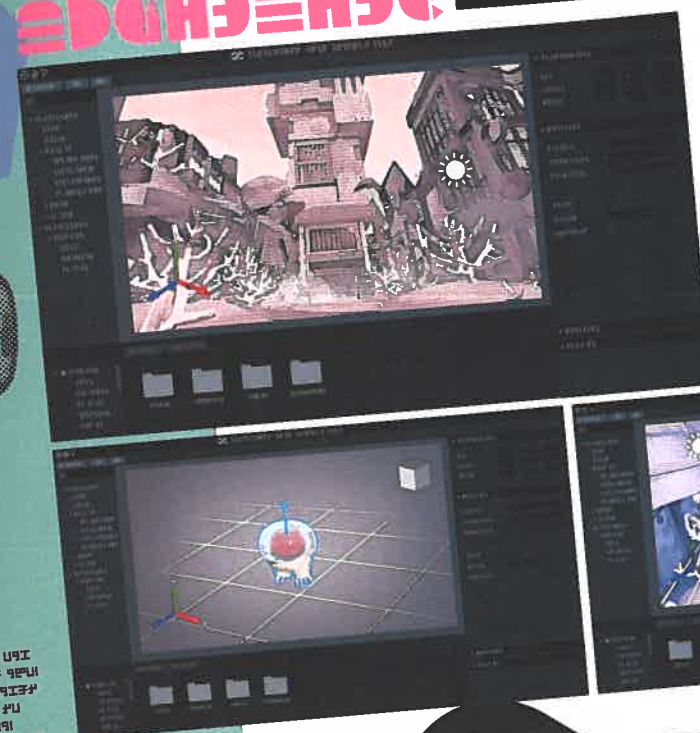
圧倒的CPU搭載 洗練されたハイエンドモデル

持ち運びしやすい超軽量でありながら、脅威のパフォーマンスと数日は作業できるバッテリー駆動時間を誇る。マシンが高性能なのはもちろんだが、イイダさんの頭脳とタイピングスピードもすばらしい。

point 1

point 2

仮想世界"ネリバース"を制作し被害者の救済に情熱を傾ける

イイダさんはネル社の被害者を助けるプロジェクト"トキメキ★秩序世界の大冒険！"を立ち上げ、仮想世界ネリバースを制作中。これが、オーダが目指す"秩序の世界"に悪用されたのだとか。

［イイダの開発日記］

つぎのページから、"トキメキ★秩序世界の大冒険！"の開発秘話を掲載。ネリバースに懸ける彼女の情熱を窺い知ることができる。

NEXT DJ E-DA DEVELOPMENT diary

DJ E-DA DEVELOPMENT diary

DJ E-DA　4年以上前

✨ファイナルフェスが終わりました✨

結果はワタシたち「秩序」派の負けでした
みなさんがんばってくれたのに残念です

でもでも！
フェスの最後にセンパイが
「世界進出する🔥」
って宣言してホントにうれしかった〜
うきゃ〜〜〜‼

こんなキモチ
あの戦いを見たときと
はじめてハイカラスクエアに来たとき
以来です！

ワタシたちテンタクルズが世界進出?!
ということは
これからとんでもなくいそがしくなりそう！
新曲もいっぱい作らなきゃ!!🔥

ヒメセンパイはホントにすごい

ホウズキ・ヒメ

タコゾネスの部隊から脱走して
途方にくれていたワタシに
希望をくれたヒト✨

ふたりでテンタクルズを結成して
それから今までずっと
まるで夢の中にいるみたい❤

あぁなんだか泣けてきた
ぐすん
ぶうぁ〜〜〜っ

ふう
取り乱してしまいました
ワタシにはもうひとつ
やらなきゃいけないことがあります
世界進出と同じくらい大事なこと

プロジェクト・ネリバース(仮)

8号さんたちネル社の被害者を
助けるプロジェクトです
こっちもがんばります！

DJ E-DA　2年前

ワールドツアーの準備が進んでいます
予想通りいそがしい日々です

いつもマイペースなセンパイですが
音楽となるとホンキモード🔥

ワタシもホンキなので
ときどき意見がぶつかって
ケンカになっちゃいます

悲しいですけど
いい曲を作るため
ダキョウするわけにはいきません！

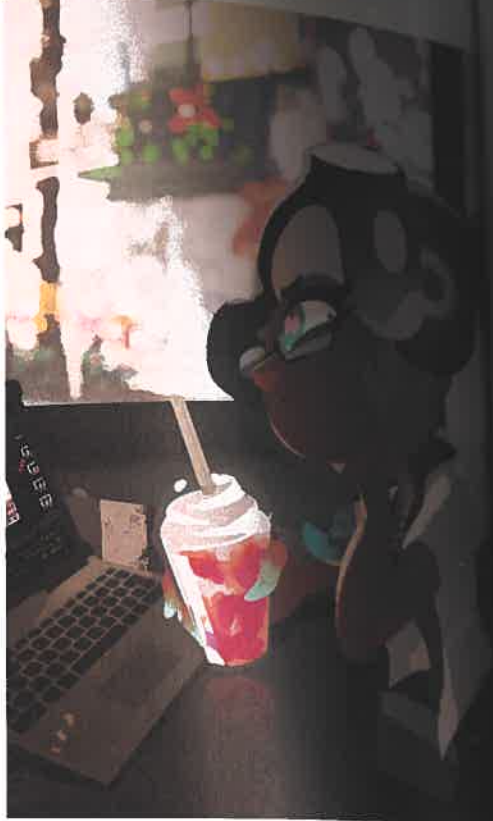
そうそうセンパイが
ワールドツアーに8号さんを連れていく
って連絡していました！
8号さんも乗り気だそうです

きっと猫の手も借りたい
いそがしさになるので
すっごく助かります
8号さんなら信頼できますし

ワタシも気合い入れて曲作りするぞー！おー‼

プロジェクト・ネリバース(仮)の続報

仮想世界ネリバースの
プロトタイプが完成しました！
といっても
まんまハイカラスクエアのコピー
なんですけどね
(記憶の一時保管場所にする予定)

そして本題
ネル社のシステムからの情報収集
こっちは苦戦しています
むぅーん

DJ E-DA　1年前

ワールドツアーのスケジュールも決まり
センパイは絶好調！
最近さらにスゴみが増していると感じます
ステキです〜❤

今日はたまのお休みで
ハイカラスクエアをお散歩しました

ワタシと同じタコさんたち
増えましたね〜
タコが地上に出るムーブメントが
進んでいるそうです

8号さんやワタシが
地上に出たことも影響しているのかな❓
だったらうれしいです

もちろん地下に残るタコさんも
多いみたいですけど

タコさんといえば
ついにネル社のシステムに侵入できました！

さっそくネル社に利用されていた
タコゾネスやタコトルーパーさんたち
のことを調べました

ネル社はずっと昔から
深海メトロを運営していて
「消毒」という方法で
みなさんを操っていたようです

ワタシのいた養成所や
前の職場のみんなも
「消毒」されているかもしれません

なんとかしたいです！してみます！
そのための
プロジェクト・ネリバース(仮)
ですから！🔥

DJ E-DA　11か月前

・ネル社のシステムを探って
・タルタル総帥の極秘ファイルを見つけた
「消毒」の仕組みがわかったのでメモしておく

・「消毒」は対象者の想いや記憶を抽出して
ネリメモリーとして保存する

・「消毒」後の対象者のタマシイは空っぽ
というか骨組みだけの状態になる

・骨組みの部分にダミーの情報をあたえれば
対象者を制御できる

ある程度は推測していましたが
恐ろしい仕組みです
8号さんが記憶を失っているのも
「消毒」の影響でしょうか?

でもこれで希望が見えました✨

「消毒」されたタマシイに
ネリメモリーを返してあげれば
元にもどる可能性があります

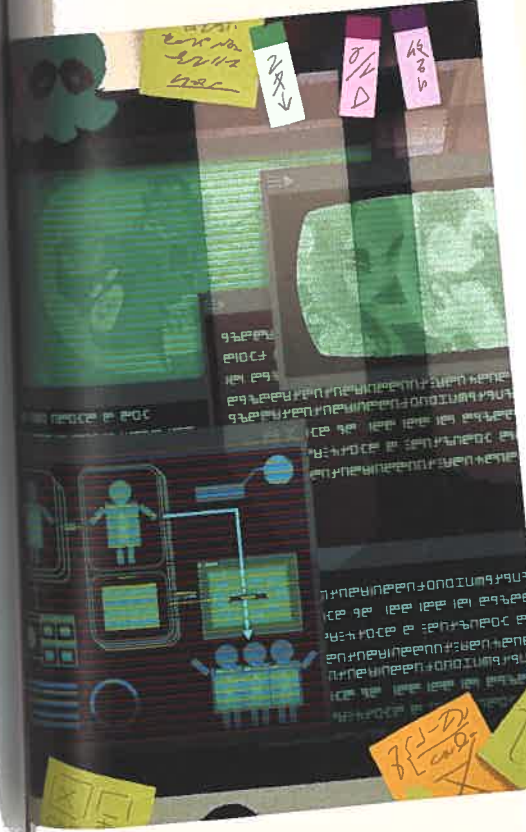
燃えてきましたよ〜🔥
プロジェクト・ネリバース(仮)
本格起動です!

前にアタリメさんが言ってた
タマシイがどうのってお話
真実を言い当てていたのですね…
するどいおじいさんです

テンタクルズも順調です‼

ワールドツアー用の曲も全部できて
練習もバッチリ!

センパイはヒマさえあれば
反復横とびしています

あとは本番を待つだけですね
ドキドキ

DJ E-DA　10か月前

ダメです…
どのネリメモリーが誰のものだか
全然わかんないです

???

ハチさんやアタリメさんに
いただいたネリメモリーから始めて

ネル社の倉庫(っていうか廃棄所)で見つけた
大量のネリメモリーまで解析したのですが

どれが誰のやらさっぱりでした‼

そもそも出どころ不明だったり
ひとつのネリメモリーに複数のタコが
混ざっている可能性すらあったり

どうしようこれ

これじゃあネリメモリーを
返そうにも返せません

ちゃんと管理しといてよタルタル総帥〜

う〜ん
このままじゃダメですよね…
アプローチを変えます!

テンタクルズのワールドツアーが
近づいてきました

ハチさんが準備を取り仕切ってくれています
感謝です〜♪

そうですハチさんです!

前からずっと
8号さんって呼び方
よそよそしいなと思っていまして…

先日思い切って
「ハチさん!」
と声をかけたところ
ハチさんは笑顔で答えてくださいました♪

やったー✨

DJ E-DA　9か月前

ネリメモリーの
元のタマシイがわからないなら
ネリメモリーに
タマシイを見つけてもらえば?

想いや記憶が自ら
あるべきカタチにもどればいい

まさに逆転の発想!

えーっとつまり

ネリメモリーにネリ込まれた想いや記憶を
さらに全部ごちゃまぜにして
骨組みのタマシイにあたえることで
自身で取捨選択してもらう

現実世界では難しいですが
ネリメモリーをデータ化して
仮想世界に送ってやれば…

光が見えてきました
プロジェクト・ネリバース(仮)
🔥再起動です!🔥

前に作った仮想世界ネリバースが
ここにきて役に立つとは

プロトタイプのまま放置しちゃってたけど
ちゃんと動きますかね?

DJ E-DA 8か月前

ネリバース開発メモ

ネル社のメインフレームを借りることで
演算能力を確保
仮想世界ネリバースのプロトタイプをベースに
ネリメモリーのデータを集積して世界を構築する

ネル社の社内ならどこからでも
社内ネットワークを通じてアクセス可能
社外からのアクセスにはナマコフォンを経由

被験者は自分のタマシイの
インスタントコピーであるパレットに
全体記憶のインデクスとなるカラーチップを
セットして自身に適合する記憶との
コネクションを確立

記憶の定着には困難を乗り越えた経験が必要
課題を繰り返しあたえて定着させていく
記憶が十分に定着したら仕上げの処理を行う
ここまでの理論は検証済み
これら一連を塔を上っていく形にするのがよいか
塔の各フロアー=課題
塔の最上階に到達する=仕上げ完了

被験者が塔の最上階に到達すれば実験成功
被験者のタマシイは元の想いと記憶で
構成された完全体に復元される

運営は特別な権限をあたえた
専用のアバターが行う
それぞれ
・ネリバースのシステム管理
・被験者の先導
・治安維持
の3つ役割をになう

DJ E-DA 7か月前

ネリバースの構想がまとまり
本格的に開発がはじまりました!

そろそろ運営のことも考えないと

システム管理はワタシがやるとして〜
被験者の先導はやっぱりセンパイですね!

イメージが固まってきましたよ〜!

塔のてっぺんにはワタシがいて
センパイがワタシ目指して上ってくる❤

あれ…これワタシお姫様みたい❓

テンション上がるーーー↑↑↑

上りがいある塔を作ります
ヒメセンパイ〜♪

タコゾネス養成所で
チューターをしてたときに
訓練ステージを作った経験が
いきてきますよぉ🔥

被験者のみなさんにも
楽しんでほしいですからね〜

あとはネリバースの治安維持ですが
アタリメさんが紹介してくださった方に
お願いできそうです

ハチさんには最初の被験者に
なっていただきたいです

テンタクルズのワールドツアーも
あと2か月にせまってきました!

🔥音楽も開発もがんばるぞー!🔥

DJ E-DA 5か月前

ワールドツアーが開幕しました
大変だけど楽しい
テンタクルズやっててよかった

DJ E-DA 3か月前

ぎにゃーー!!
ツアー中に開発するのキビシィーーー!!!

いま真夜中なので
声を出さずにさけんでみました

ふとアイデアが浮かんで✨
すぐに試したくてノートPCを開いたら
いつのまにかこんな時間に

ダメですダメです!
寝不足で
スタッフさんたちやセンパイに
ご迷惑かけるわけにはいきません

ツアー前半が終われば中休みなので
そこで一気に仕上げます

やります!
ワタシはやれるタコです!🔥

それまで
プロジェクト・ネリバース(仮)
は一時中断ですね

………

やっぱりひとりで開発するのは
ムリがあるかも…

そうです!
エンジニアコミュニティのみなさんに
ヘルプをお願いしましょう!

………

外が明るくなってきました
少しでも寝ておかないと

おやすみなさい

DJ E-DA 1か月前

✨でででできた〜〜〜✨

プロジェクト・ネリバース(仮)
あらため
「トキメキ★秩序世界の大冒険!」
完パケです‼

テンタクルズの
ワールドツアーは中休みなので
開発に集中できました〜♪

時間ができると欲が出て
なんか色々やりすぎてしまった…

でもこれで
ネル社の被害者のみなさんや
ハチさんの
記憶を取りもどせるはず!

さっそくセンパイたちに相談です!

あと忘れないようにメモ

ナマコフォンを
アクセス端末にするために
いろいろいじっていたら
セキュリティホールを見つけた

悪用すれば
ナマコフォン持ってるヒトを
無理やりネリバースに接続できそう

開発会社に連絡すること

DJ E-DA 昨日

明日はいよいよ
「トキメキ★秩序世界の大冒険!」
の起動実験です

最初の被験者はハチさん

テストは万全とはいえ
未知のリスクもあるというのに
こころよく引き受けてくださいました
とっても感謝です!

ハチさんのウデなら
塔の攻略は楽勝でしょうね

ハチさんの記憶もどるといいなぁ
いえきっともどります!

そしてセンパイも来てくれました
「よくわかんねーけど楽しそーだから行く!」
ということで
ふたりでハチさんを見守ります!

ハチさんはじめ
ネル社の被害者のみなさんを
うれしく楽しく元にもどせるといいなぁ

今夜はドキドキして眠れないかも

From: ミズタ

HEY、イイダ
昔の写真を見つけたから送るヨ

あのころのキミはマジメで優秀だったネ

ボクは学校、サボってばかりだったから
よく教官に呼び出されてたナ…

「タコらしく、勤勉であれ」って
耳にタコができたヨ

あの教官、元気カナ?

From: ミズタ

HEY、イイダ
ふたりで写っていた写真はこれだけダ

キミはこの後、将軍の部隊に
バッテキされたんだっケ

ボクはずっと後方で警備担当だったヨ
ま、前線はメンドーだし、楽できてよかったナ

あのとき借りたレコード
たぶんまだ返してないケド
キミにも貸したままのがあるし
おたがい様ってことデ

当時はキミみたいなエリートが
不良のボクと関わって大丈夫か?
って思ってたナ…

でも、キミもヤバい音源持ってたよネ
あれにはビビったヨ

…ミズタ

…イイダ
…なくなって、こっちは
…としたさわぎになったんだヨ

…ボクには音楽しかすることなくてサ

…の基地にあったクラブ、覚えてるカ?
…こなら兵長にも見つからないから
…とそこでDJしてたってワケ

それからどんどんハマっていってネ
もう音楽のことしか考えられなくなっテ…

そのときの記憶が…ないんダ

でも、
秩序の世界に引きこまれたおかげで
キミにも再会できたシ

ま、結果オーライかナ?

ボクも今は地上に出て
こりずにテキトーに音楽やってるカラ

キミの気が向いたら、また一緒にやろうナ

P.S.: テンタクルズ、応援してるヨ
ヒメが好きそうなレコード見つけたから、今度送るネ
ハチにもヨロシク

NEXT イイダとミズタのタコゾネス時代がわかるスペシャルエピソード ……283ページから左側に読もう

イイダはわかりやすく目を泳がせ、引きつった笑みを浮かべた。
「ええ～と、貸すって約束、してなかった？　仮にそうじゃなかったとしても、全ての物質は揺らいでいるし情報の確度は時間とともに減衰していくものだしいつの間にか約束が変質していても何らおかしなことはない……かも」
何らおかしなことしかないだろ。何を訳のわからないことを言ってるんだ。頭は良いくせに、ごまかすのがクソ下手すぎる。
だいたい、ボクが憶えている約束をイイダが忘れているわけがない。いや可能性はゼロじゃないけど、これまでの経験上考えにくい。つまり、イイダは約束を承知のうえで反故にするつもりってことだ。——約束を、反故にするだって？　バカみたいに律儀なこのイイダが？
にわかに胸の内がざわつく。やっぱり今日のイイダはどこか不自然だ。
「ミズタ？」
名前を呼ばれ、はっと我に返った。心配そうな顔がこちらを覗き込んでいる。
何か裏があっても、悪意はない。それは絶対だ。約束を反故にするのだって、事情があるからに決まってるじゃないか。
ボクは、
「……そうだな、たぶんボクの記憶違いだ」
ということにして、自分のレコードの上に重ねる形でイイダのレコードを受け取った。
「サンキュー。借りとくよ」
「あ、うん。返すのはいつでもいいから」
イイダの目はまだ気遣わしげだ。なんとなく気まずくなって、レコードを見るように視線を落とす。
几帳面に包まれた二枚のレコード。重くはないけど、それなりに大きい。仕事道具だけでも重くて嵩張るだろうに、加えてカメラに三脚にレコードまで持ってきたわけだ。今日こっちに来るからといって、なにも全部の用件をまとめて片付ける必要なんか——。
ああ。あったのか。その必要が。
イイダがおかしな振る舞いをする理由に、そうせざるを得なくなった事情に、ようやくボクは思い至った。ただ、本人に確かめて良いものか。ボクに知られて困る話じゃないはずだけど、[illegible]とはいえ、遠慮して気掛かりを抱えたまま帰りたくもない。今晩からのトラックメイクに支障をきたす。
訊くか、訊くまいか。
あれこれ考えを巡らせはしたが、実のところボクの意思はとっくに固まっていた。

4

「イイダ」
レコードから顔を上げ、相手を見据えた。ひと呼吸置いて切り出す。
「もしかして、別の基地に移るのか？」
イイダの表情がこわばる。短い沈黙を挟んで、
「どうしてそう思うの？」
とわずかな戸惑いを含む声が返ってきた。
「……なんとなく」
あえて説明はせずに言葉を濁す。
振り返ってみれば単純な話だ。やけに写真を撮りたがったのも、わざわざレコードを持ってきたのも、今日を逃せば当分会えなくなるからだと考えれば合点がいく。イイダが撮影機材としてインスタントカメラを選択したのも、その日のうちに相手に写真を渡しておきたかったからだろう。
簡単に会えなくなる事情として真っ先に思い浮かぶのが、別の基地への転属だ。基地間の行き来もできなくはないけど制限があるし、イイダの立場と多忙さを考えればハードルは相当高くなる。
イイダは頬に手を当てて、答えを吟味しているように見えた。
ただ黙って、次の音を待つ。教えたくなければ下手でもごまかせばいい。そうすれば、ボクはそこで引き下がる。レコードを掴む両手の親指が、いつの間にか緩衝材に食い込んでいた。
イイダは頬を触るのをやめ、まっすぐにボクの目を見た。真剣な眼差しにぎくりとする。間を置いて、ゆっくりと重い口が開かれた。
「あの、ワタシね、タコツボバレーに行くことになったの」
心苦しそうな声が続く。
「黙っててごめんなさい。まだ転属についての情報は機密扱いでね。もうすぐ公表されるから、そしたら連絡しようと思ってたんだけど」
「ああ……そうなんだ」
レコードを掴む手から力が抜けていくのがわかった。なるほど、情報の解禁日を待ってたから言えなかったってわけ。真面目なイイダらしい。
ボクはレコードを右脇に抱え直して言葉を継いだ。
「出発は？」
「三日後の朝」
「また急な話だね」
「うん、転属が決まったのもつい最近で……」
一度言葉を切って、どこか寂しげにイイダが続ける。
「向こうに行ったら、ミズタやこっちの基地のみんなとはなかなか会えなくなっちゃうから……。だから行く前に、どうしても写真を撮っておきたかったの。無理に付き合わせてごめんね」
「ふーん、なるほどね、そういうことだったのか」
「だいたいの察しはついてたんでしょ」
苦笑されてしまった。向こうもお見通しってわけか。
イイダは柵のほうへ一歩踏み出し、体の後ろで手を組んで遠くを見つめた。視線の先では相変わらず、穴だらけの空を雲が泳いでいる。少なくともボクには、そういうふうにしか見えなかった。
「新しいお仕事のこと、詳しくは言えないんだけど、そこの部隊に配属されるのは名誉なことなんだって」
「へえ」
「だから、がんばらないとね。でも当分、機械いじりはできなくなっちゃうかな。覚えなきゃいけないことも多いし、音楽に触れられる時間も減っちゃうかも……すごく勉強にはなりそうなんだけど」
「そうか」
「なんて、こんな話興味ないよね」
申し訳なさそうにイイダが笑う。べつに興味がないから適当に流していたわけじゃない。返す言葉が見つからないだけだった。
要するに、周囲の期待に応えながら邁進した結果、自分の好きなことができなくなりそうだという話じゃないか。ボクなんかがイイダを理解できるわけもないけど、それなりに長い付き合いだ。イイダが飛び級と転属による目まぐるしい環境の変化や、重くのしかかるプレッシャーの中で生きてきたことくらいは知っている。それらを必死に乗り越え辿り着いた先で、彼女

はささやかな心の拠り所すら奪われるってわけ。
——本当に、クソみたいな世界だ。
だけど文句を垂れたところで何が変わるでもない。ボクはそれを嫌というほど知っている。それに、イイダの声に悲観の色はなかった。外野が勝手に苛ついて、当事者に当たり散らすなんてナンセンスだ。
差し障りのないことしか言えない。そう思った。
「まあどんな部隊か知らないけど、エリートが集まる場所なんだろ？」
それなら、と冗談めかす。
「イイダと互角に渡り合えるような、面白い奴がいるかもね」
そんな奴が本当にいれば、こっちの基地まで噂が届く。気休めにもならない与太話だ。だけど、イイダの瞳は一瞬輝いたように見えた。それで良かったはずなのに、なぜだか胸が詰まる。
ボクは脇に抱えていたレコードをひとつ手に取って、イイダに差し向けた。こっちがボクのレコードだったはずだ。
「これ、やっぱり持っていきなよ」
「えっ？　でも——」
「いいからさ。ボクはもう擦り切れるほど聴いたし、ボクだけしばらく借りたままってのもフェアじゃないだろ」
「そ、そう？」
イイダは少しの間ためらったあと、ボクに引き下がる気がないのを察してか、おずおずとレコードを受け取った。
「ありがとう。今度はちゃんと聴いてから返すね」
「そうしてくれ。メロディーと中盤からの展開がいいんだ、その曲」
嬉しそうに顔をふやけさせるイイダを見て、少しだけほっとした。ボクが贈るべきは下手な言葉じゃない。こっちだ。
だけど、イイダは本当は何かを言ってほしかったんじゃないか。そんな気がした。彼女と同じような道を歩んできた奴なら、答えを持ち合わせていたのかもな。ボクに天才の苦悩は理解できない。——たぶん、これからもずっと。
にまにまとレコードを眺めていたイイダが、突然ぱっと顔を上げた。
「ミズタ」
「なんだよ」
控えめに差し出された手が、ボクの右脇にある物を示した。
「ミズタのレコードはそっちよ」
「……………そうか」
イイダはボクがレコードを持ち帰りやすいように、わざわざ手提げの紙袋を用意してくれていた。抜かりのないことだ。薄ピンク色でファンシーなキャラクター柄という見た目だけが若干気になるけど、まあ贅沢を言える立場じゃない。ボクは間違いなくイイダのレコードを紙袋に収め、イイダは間違いなくボクのレコードを鞄に収めた。
鞄の上蓋を閉めて、イイダが大袈裟に息を吐く。
「ああ～、ちゃんと話しておけてよかった～」
「ボクも、聞いておけてよかったよ」
何も知らないままイイダの転属が公表される日を迎えていたら、きっと余計な気を揉んでいた。直接会った時にボクに教えなかった理由を変に勘繰っていたかもしれない。音楽に関すること以外で頭を悩ませるのはごめんだ。
「今日はホントにありがとうね、ミズタ」
どこかすっきりしたような、晴れやかな笑みがボクに向けられる。嘘をつくのが苦手なイイダにとって、事情を伏せながら他人と話すのは難儀だろう。それでもどうにかボクと写真を撮るべく苦心していたのかと思うと、自然と頬が緩んでいった。
……そうだ。
左手をイイダのほうに伸ばし、手のひらを上に向ける。
「写真」
「へ？」
「やっぱりもらっておくよ」
さすがのイイダもボクのこの行動は予想できなかったようで、目を丸くしている。困惑する姿がなんだか可笑しかった。
「会わない間にイイダの顔、忘れるかもしれないからね」
からかうように言うと、慈しむような微笑みが返る。
「ミズタはヒトの顔覚えるの苦手だものね」
それはそうだけど今のは冗談だ。まあいい。
イイダは鞄のポケットから写真を一枚取り出して、ボクに手渡した。
「よく撮れてるでしょ」
写真を受け取り、薄目で見る。そこには見慣れた笑顔のイイダと、仏頂面のボクが写っていた。別段不自然なところはなく、イイダの隣にいる自分は風景に馴染んで見えた。
「……まあ悪くはない、かな」
ボクの感想を聞いて、イイダが満足したように顔を綻ばせる。
それから鞄を拾い上げて、こちらに向き直った。
「そろそろ行くね。じゃあ、体に気をつけて」
「そっちこそ、あまり無茶するなよ」
「うん。……ちゃんとご飯食べてよ？」
「はいはい」
イイダは笑顔をひとつ見せて鞄を背負い、上り坂へと歩き出した。ボクは坂の手前まで付いていって、そこで足を止める。
遠ざかる背中を見送っていると、イイダはいくらも進まないうちに立ち止まり、振り向いてひらひらと手を振ってきた。
やれやれ、あの様子じゃ坂を上りきるまでに何度同じことを繰り返すかわからない。ボクは、踵を返してさっさとイイダの視界から失礼することにした。
「またね」
イイダがボクたちの前から姿を消したのは、それから少しだけ後の話ダ。

ボクが写真を拒む理由には説得力がない。だから言っても納得しないと思って、いつも適当にはぐらかしてきたんだけど。
仕方ない。腹を括って、言う。
「写真写りが悪いんだ」
思った以上にぼそぼそとした小声になってしまった。
「写真写り……？」
「だから嫌いなんだよ。自分の写真を見るのがさ」
鏡を見るのとは何かが違う。写真の中の自分はいつも、どこか不自然でぎこちない感じがする。なのに、そっちの姿こそが本当のお前だと突きつけられているようで、どうにも見ていられないのだ。それを写真写りが悪い、と言うのは語弊があるかもしれない。けどまあ、似たようなものだと思う。
イイダの顔が視界に入らないように、前だけを見て足を動かす。しばらく足音だけが周囲に響いた。沈黙に耐えかねてちらりと隣を見ると、イイダはあごに手を当てて、神妙な面持ちで頷いていた。
「そうだったのね。何かこう、すごくロックな理由があるのかと思ってた」
何とも無性に情けない。
「悪かったな、ロックじゃなくて」
にしても、何度となく断り続けるボクもボクだが、めげずに頼み続けるイイダもイイダだ。驚異的な根性というか、執念というか。まあ、こいつは昔からそういう奴だったか。ボクに対しても、誰に対しても。
ふっと短く息を捨てて、ボクは足を止めた。
「ボクの話はもういいだろ。写真を撮るならさっさと済ませよう。この辺なら誰も来ないし」
つられて立ち止まったイイダが、拝むように胸の前で両手を合わせる。
「ごめんなさい、そろそろ休憩時間終わっちゃうの。サクッと次のお仕事片付けてくるから、その後でもいい？」
「ああ、もう一か所回るんだっけ。わかったよ」
「ありがとう。あと、できれば——」
イイダは周囲をきょろきょろと見回して、
「もうちょっと景色のいい場所で撮りたいな」
と困ったような顔で笑った。
[illegible]として、イイダとはいったん別れた。
地下ドーム内の各所は、宙に浮かぶ大小さまざまな足場で複雑に繋がれている。ボクはできるだけ人目につかないルートを選んで見晴らし台へと向かった。いくつもの足場を渡り歩いて上を目指しながら、時には下ってまた上る。随分と時間は掛かったものの、その甲斐あって道中誰にも出くわすことはなかった。
遥か眼下に湖を見ながら、細長い下り坂をゆるゆると進む。この坂の終点が見晴らし台だ。見晴らし台といっても、気の利いたベンチや自動販売機なんてものはない。背の低い柵に囲まれているだけの狭いスペースだ。ただ、あそこからはドーム内の足場を一望できる。見晴らしだけは確かに良い場所だった。
「ん？」
見晴らし台の右端にイイダの姿があった。先に到着していたらしい。ちょっと移動に時間を掛けすぎたか。イイダは左を向いて何やら手を動かしている。ただ、その手元は案内板の後ろに隠れていてよく見えなかった。
坂の終盤に差し掛かった辺りで、イイダのほうもこちらに気づいた。手を振ってきたので、小さく手を上げて応える。
見晴らし台に到着したボクを、イイダは溌剌とした笑顔で出迎えた。
「おつかれさま！」
「おつかれ」
と返しつつ、死角になっていた案内板の裏を確認する。よし、誰もいない。カメラ用と思しき三脚が立っているだけだ。さっきイイダはこれを組み立てていたんだろう。
三脚の近くには小さな日陰があって、その中に背負い鞄が置かれていた。日陰に吸い寄せられそうになるのをぐっと堪え、イイダに向き直る。
「早いね」
「うん、思ったより早く片付いたの。今カメラのセッティングしてたところ」
そう言ってイイダは、両手で持っていた白い物体を胸の高さに掲げてみせた。一瞬丸みを帯びた箱に見えたが、正面にストロボと小さなレンズを備えている。珍しい形だけど、確かにカメラのようだ。側面には特徴的な横長のスリットがあった。これはあれか。
「インスタントカメラってやつ？　実物は初めて見た」
「そうそう。ジャンクを買って、自分で修理しちゃった～」
「相変わらず物好きだな」
画質だけを考えれば、イイダが持つ最新型の通信端末に搭載されたカメラのほうがおそらく上だ。そっちを使わないのは、面白そうなおもちゃを手に入れたからってわけか。
「すぐ準備するから、ちょっと待っててね」
ボクが頷くと、イイダはカメラを三脚に取り付けにかかった。三脚のほうは新品だろうか。傷や汚れがほとんど見当たらない。つまみやハンドルがいくつも付いていて、いかにも本格派といった佇まいだ。上等な三脚が元ジャンク品のインスタントカメラを戴くさまは、どことなく風刺画めいていた。
以前見たイイダのカメラは確か、レンズ交換式の高価そうな代物だった。あっちのほうがこの三脚には似合いそうだな。あの時撮っていたのはショベルカーと、あと何だったか。バカでかい重機だったことしか思い出せない。
「おまたせ！」
イイダの声に意識を引き戻される。ボクが腕を組んで唸っている間に、カメラは三脚にしっかりと固定されていた。
「終わったか？」
「うん。……ミズタ、ホントに写真撮ってくれるんだ」
「なんだよ、ボクが土壇場で逃げ出すとでも思ってたのか」
慌てたようにイイダが首を振る。
「違う違う！　ちょっと噛みしめてただけ」
それほど撮りたいものだろうか、写真ってのは。ボクにその感覚はよくわからない。そういえば、どうして今日撮ろうと思ったんだろう。何かの記念日ってわけでもないよな？
理由を尋ねようとボクが口を開きかけたところで、イイダは興味の対象をカメラに戻してしまった。ファインダーを覗いて
「よし」と呟き、輝かんばかりの笑顔をこちらに向ける。
「それじゃ撮りましょうか！」
——まあ、理由なんて何でもいいか。ボクがあんまり断り続けるものだから、いいかげん痺れを切らしたとかそんなとこだろ。
カメラのセッティングに満足したらしいイイダは、今度はボクに立ち位置やらポーズやらをあれこれ指示してきたけど、結局ひとつも言われたとおりにしないまま、ボクらはふたりで写真を撮った。

3

「うん、そっちもいい感じ♪」
カメラのスリットから吐き出された二枚の写真を見比べて、満足げにイイダが頷く。ボクは近くの柵に腰掛けて、あくびをしながらそれを見ていた。
「じゃあこっちはミズタに」
写真の一枚を差し出され、ほとんど反射的に目を逸らす。
「ボクはいらない」
「……そっか。好きじゃないんだものね」
イイダは特に食い下がることもなく、少し残念そうに微笑んだだけで手を引っ込めた。ボクがそう言うと予想できていたのかもしれない。
さて、ここに来てからそれなりに時間が経った。柵を手で押すようにして立ち上がり、大きくひとつ伸びをする。日差しに晒され続けた頭と背中はすっかり熱くなっていた。下ろした手を腰に当て、話を切り出す。
「満足したなら帰りなよ。そろそろ誰か来るかもしれない」
「誰か来たらまずいの？」
のんきな物言いに、つい眉をひそめる。
「まずいに決まってるだろ。このドームにはボクのことを知ってる奴が多いんだ。一緒にいるとこなんか見られたら、何を言われるかわかったもんじゃない」
「何って、仲良しなんですね～……とか？」
そんなわけあるか。ボクは呆れ気味に後ろ頭を掻いた。イイダは全然状況がわかってない。気は進まないけど、はっきり言うしかない。
「HEY、イイダ＝マリネが不良とつるんでる、なんて噂でも流されてみろ。キミを妬んでる奴らの食いものになるぞ」
イイダは目を見開いた。やれやれ、ようやくわかってくれたらしい。カリスマ的な人気の陰には、隙あらば足を引っ張ってやろうなどと考えている暇な連中が少なからずいるものだ。どうも渦中のイイダはその手の悪意に対する警戒が甘い。
イイダが表情を曇らせ、足下に視線を落とす。
「ミズタは不良じゃないのに」
思わず言葉に詰まり、額に手をやる。そういう話をしてるんじゃない。だいたい、そんな認識を持ってるのはボクが知る限りイイダだけだ。
「……不良なんだよ。キミがどう思ってるかなんて周りの奴らには関係ない。学校でもデタラメな噂を流されたことがあったろ。イイダが不良と繋がってて、隠れて悪さしてるとかなんとか」
もちろんイイダは悪さなんかしていない。教官の叱責からボクを庇うイイダの姿を見た奴が、好き勝手に尾ひれを付けて吹聴しただけだ。確か、イイダがチューターとして養成所に戻ってきた頃の出来事だった。
「でも、あの時はみんなすぐにわかってくれたじゃない。ワタシもミズタも、言われてたような悪いことなんてしてないって」
「それはボクらを昔から知ってる教官が、裏で火消しに走り回ってくれたからだ。あの頃と今とじゃ状況もキミの立場も全然違う。次は同じようにはいかないよ。キミだってわかってるんだろ？」
イイダは何かを言いかけて、そのまま口を閉じた。瞳の中に怒りとも悲しみともつかない色が揺らめいている。——これだからこの話はしたくなかった。けど、もうひと押しだ。
肩をすくめてみせ、できるだけ軽い口調で続ける。
「まったく。当時はボクだって、周囲の視線が刺さるわキミの友達連中に詰め寄られるわで、散々な目に遭ったんだからな。面倒事になるのはごめんだ。ほら、さっさと片付けよう」
あご先でカメラを示すと、イイダは浮かない顔のまま、こくりと小さく頷いた。
ボクは「持ってて」と言われて渡されたカメラを手に、下された指令だけを忠実に遂行していた。さも自分も手伝うかのような口振りで片付けを促したものの、手を出す隙が全くない。イイダは慣れた手つきで三脚を畳み、てきぱきと収納袋に入れていく。下手に動けばかえって邪魔になるのは明らかだった。
イイダが地面に膝をつき、背負い鞄に三脚入りの袋を括り付けながら口を開く。
「もっといろいろ話したかったな～」
「べつに今日じゃなくたっていいだろ」
「……うん、そうね」
心なしか声が沈んでいる。さっきの話を引きずってるんだろうか、などと考えていると、顔を上げたイイダと目が合った。
三脚の片付けは終わったらしい。向こうが言わんとすることを察して、預かっていたカメラを突き出す。それを両手で受け取りながら、イイダは顔を綻ばせて礼を言った。ミッション・コンプリートだ。
イイダはカメラを鞄の中に収めると、
「あっ、そうそう」
と言いながら、角ばった薄い包みを慎重に引っ張り出した。よく見ると、見た目もサイズもそっくりな物がふたつ重なっている。イイダは立ち上がり、包みの一方を渡してきた。
「これ、借りてたレコード。どうもありがとう」
包みの形状は正方形に近く、確かにボクが貸していたLP盤くらいの大きさだ。白いシート状の緩衝材に巻かれていて中身は見えないけど、持ってきた本人が言うならレコードなんだろう。
「わざわざどうも。どうだった？」
受け取りながら感想を訊くと、イイダは申し訳なさそうに眉を落とす。
「ごめんなさい。じつは、このところずっとバタバタしてて、結局聴けずじまいで」
「なら、まだしばらく貸しておくよ。べつに急いで返さなくても——」
「ううん大丈夫。その、ごめんね」
そう言って、イイダはボクを制するように手を翳した。その声には名残惜しさと諦めのような響きがある。でも、レコードを突き返したところで素直に受け取るとは思えなかった。
イイダは微かに溜息を落とすと、手に持っていたもうひとつの包みをボクに差し出した。
「あと、よかったらこれも持っていって。ミズタが聴きたいって言ってた曲」
「うん……？　それって、あのレア盤か？」
確かに聴きたいとは言ったけど、そのレコードが今ここにあるのはおかしい。
「キミの部屋で聴かせてもらうって話だったよな？」
「えっ?!」
件のレコードはとんでもない希少品だ。とても預かる気にはなれず、貸してくれるというイイダの申し出をボクは断った。それからひとしきり押し問答を繰り広げたあと、次にイイダの部屋へ行く時に聴かせてもらう、という落とし所を見つけて決着していたはずだ。

#-3 etude

スペシャルエピソード イイダ&ミズタ

1

地下ドームの内壁は巨大なスクリーンだ。ボクらはそれを空と呼んでいる。

空に映るのは今日も雲ばかりだ。綿のような雲がすし詰めにされて、ドームの外周をなぞるように巡り続けている。雲の行く先では長方形の大穴が、ぽつぽつと口を開けていた。その下方、ドームの底には、かつて空の一部だったであろう液晶パネルが横たわる。埃にまみれて再起を待つ液晶パネルのひとつ、その近くに、ボクが警備を担当する資材置き場はあった。

ぼんやりと資材置き場の入り口に立って、白雲に付いた小さな染みを目で追う。染みに見えるのは薄灰色の雲だ。あの雲はいつも同じ時刻に同じ場所を通過している。たぶん。

やがて薄灰色の雲は空の穴にのみ込まれ、姿を消した。だらりと下げていた右手を持ち上げ、無線機を耳に当てる。音量ダイヤルを上に回すと、すぐに雑音混じりの声が聞こえてきた。

『——タ。ミズタ＝アハト。聞こえないか。さっさと報告しろ』

苛立ちと呆れを練り合わせたような声。警備隊の隊長だ。

短く息をついて、無線機の送信ボタンを押し込む。

「異常なし。……あー、どうぞ」

ボタンから指を離すと、絞り出すような長い溜息とともに、

『十六分遅い』

と返ってきた。それは『了解』とおおむね同じ意味だ。

続く言葉を待たずに音量を限界まで下げ、無線機を腰のベルトに引っ掛ける。今回の報告はまあ早かったほうだな。

とにかく面倒事は終わりだ。解放感から天を仰ぐと、強烈な光が目を刺した。天井からドーム内を照らす擬似太陽だ。長らく電力不足が叫ばれているが、まだ陰る兆しはない。陰るどこ[illegible]

一刻も早く日差しから逃れるべく、ボクは資材置き場の敷地内に入って足早に奥を目指した。行く手の右にも左にも、木箱の山が築かれている。どの木箱も使い古されていて空っぽだ。

資材置き場とは名ばかりで、ここはガラクタの一時保管所と化していた。怪しい奴どころか正規の利用者すら来たことがない。こんな場所で異常事態なんてあるものか。

「やってられないね」

大型の木箱が集積されている区画まで行って、日差しの届かない適当な隙間に潜り込む。地面に腰を下ろして木箱に寄りかかると、背中にひんやりとした感触が伝わってきた。ちょっとカビ臭いものの、まずまず快適だ。ここからじゃ入り口のほうは全然見えないけど、万が一誰かの足音や不審な物音がしたら出ていけばいい。

目を閉じて耳を澄ますと、遠くから微かに断続的な射撃音が聞こえてきた。タコゾネス部隊の戦闘訓練だ。……シューターの音がふたり分減っている。どこだったか別の基地が兵を集めてるって話だし、どうせまた誰かが駆り出されたんだろう。耳に届くのは味のしなくなった音ばかり。まったく、こんな所にずっといたら退屈な曲しか作れなくなりそうだ。

いっそこのどうしようもない退屈を音楽にしてみるか——。

「あっまたピアス増えてる」

突然頭の近くで声がした。驚いて目を開けると、見知った顔のタコゾネスの少女が目の前にいた。しゃがみ込んで、ボクの左耳の辺りをしげしげと観察している。彼女はこちらの視線に気がつくと、あどけない笑みを浮かべて、

「ごめん起こしちゃった? おはようミズタ」

と言ってきた。申し訳なさそうに眉尻を下げて——いや、この眉の角度はもとからだ。ん?

「……おはよう?」

言われてみれば目蓋が重い。どうもボクは眠りこけていたらしい。見つかった相手が隊長やほかの奴じゃなくて幸いだった。

我らが軍団の誇る天才、イイダ＝マリネ。彼女とは、オクタリアンの教育機関であるタコゾネス養成所にいた頃からの腐れ縁だ。同期だけど、同じ教室にいた時間は長くない。イイダはひとり飛び級を重ねてさっさと卒業していった。落ちこぼれのボクとは正反対の、超が付くほどのエリートだ。

その超エリートがどういうわけかここにいて、心配そうな顔をボクに向けていた。

「ねぇ、またピアス開けたんでしょ。大丈夫だった?」

「開けるたびに訊くなよ……」

「だって心配になるじゃない。この前ワタシ、開けるのに失敗したっていうヒトの話を聞いちゃって」

やれやれ、どんな恐ろしい話を聞いたか知らないが、もう何個めだと思ってるんだ。最後に穴を開けたのはいつだったか。

そういえば、イイダと直接会うのは少し久しぶりだった。

とにかく、ボクは余計なお世話に付き合う気はない。

「HEYイイダ、そんな話をしに来たわけじゃないんだろ?」

あからさまに話を逸らす。イイダは少し口を尖らせたが、すぐに表情を和らげた。

「うん。でも、とりあえずそこから出てきて」

「なんで」

「箱が崩れてきたらケガしちゃう」

「いいよべつに」

この辺りに積まれている木箱は重量級だ。そう簡単には動かない。何かあればその時はその時だ。それより今は日陰の心地よさを享受していたい。

しかし残念ながら理解は得られなかった。

「も〜、いいわけないでしょ」

イイダは両手でボクの左手首を掴んで立ち上がり、

「ほら——」

と一本釣りよろしく引っ張り上げた。

「いっ!?」

腕の付け根が悲鳴を上げる。そういえば、長らくストレッチをしていなかったな……。

勢いよく立ち上がらされたせいで足下にあったイイダの鞄を蹴飛ばしそうになったが、そこはなんとか踏みとどまった。

「腕が千切れるかと思った」

わざとらしく左肩をさすりながら、恨みがましくイイダを見やる。イイダは大して悪びれる様子もなく、

「ごめんごめん。でも、ちゃんと力加減してるから大丈夫よ」

と言ってボクの手首を解放した。その言い草だと、加減を間違えたら腕が千切れてたことにならないか?

——いや、揚げ足取りでむだに話を長引かせるのはやめておく。

「で、はるばるこんな所まで何しに来たんだよ」

イイダの所属は兵器開発などを担う研究所。同じ基地内だけど、ここは別の地下ドームだ。

「急にこっちのドームでお仕事が入ったの。と言っても、メインの用件はもう済んでて、今は古くなってきたメカに異常がないかチェックして回ってるところ。こっちまではなかなか来られないから、ついでにと思って。その作業もあと一か所回ったら終わりなんだけどね」

「それはまた、設計者自らご苦労なことだ」

足下にあった鞄をちらりと見る。一抱えもある大きな背負い鞄だ。イイダの話からすると、中には工具なんかが入っているのだろう。まあイイダも制服を着てるし、こっちのドームに来た理由が仕事絡みなのは想像がついていた。

だけどボクが知りたいのはそこじゃない。

「……それで? たまたまこの資材置き場を通りかかって、気まぐれで中に入って、なんとなく箱の隙間を覗いてみたら顔馴染みがいました、ってこともないだろ」

ここはドームの果てと言ってもいい。近辺には何もないし、来ようと思わなければ来ないような場所だ。そもそもボクの担当がこの資材置き場だとイイダに教えた覚えはなかった。

「わざわざボクの持ち場を調べて会いに来たんじゃないのか。用があるならさっさと言ってくれ」

こうしている間にも、生き急ぎがちな太陽に頭を炙られているのだ。

「あっごめんね、つい……」

照れ隠しをするように、あはは、とイイダが笑う。

「顔を見ておきたかったのもあるけど、ちゃんと用事もあるの。ミズタ、もうすぐ交代でしょ?」

イイダはボクの勤務予定まで把握済みらしい。べつに何もおかしなことはない。入れ違いにならないよう、事前に確認してから来たんだろう。このドームへ来ることが今日になって急に決まったのなら、直接ボクに訊いてこなかったのも頷ける。勤務中じゃ返事なんてできないからな。さすがエリート様、周到なことだ。

何もおかしなことはない……と思う。にもかかわらず、目の前にある出来のいい愛想笑いが不気味に映るのは、きっとこの声のせいだ。

「じつはちょっと、ミズタにお願いしたいことがあって」

明るい調子なのに、どこか覚悟のような、あるいは戦意のようなものが滲んでいる。そんな色の声だった。

2

いつもは遠慮がちなイイダが、たまに妙な頑固さを見せることがある。そういう時は何を言っても絶対に引き下がらないと決まっていた。今回もそのパターンだと、直感が訴えていた。

だから戦々恐々と身構えていたのに、何を頼まれるかと思えば「一緒に写真を撮りたい」ときて拍子抜けしてしまった。まあ気乗りはしないけど、頑固モードのイイダを説き伏せることに比べれば楽なものだ。ボクは早々にイイダの要求をのんだ。

まもなくやって来た交代の警備兵は、イイダを見てあんぐりと口を開けた。まさかこんな所に有名人がいるなんて思わないよな。当然の反応だ。心臓が止まるかと思っただろう。気の毒に。

そいつには「イイダサンは道に迷ってここに来られた。帰りがてらボクが案内する」と適当な嘘をついて、ボクらは資材置き場を後にした。

白茶けた石の道にふたり分の靴音が響く。曲がりくねった道の脇には、まばらに奇岩の石柱が立っていた。丸い芋を一列に積み上げたような、不安定な形だ。誰がどんな意図を持ってこんな柱を立てたのかは知らない。道の左手はどこまで行っても地下ドームの内壁。右手には湖が広がり、お世辞にも透明とはいえない水を湛えている。ドームの底は湿気が多く、遠くの方は水蒸気で白く煙っていた。

何本目かの石柱を通り過ぎたところで、イイダが口を開いた。

「どうして嘘ついたの?」

責めるようなトーンではない。単に疑問に思ったんだろう。

「そのほうが話が早いだろ」

簡潔に答える。それだけじゃないが、それも理由のひとつだった。

「かもしれないけど」

眉根を寄せてイイダが口ごもる。嘘に後ろめたさを感じているのだろうか。相変わらずのクソ真面目ぶりに頭が下がる。

「懇切丁寧にボクらの関係から説明するべきだったか? 向こうだって手短に済むほうがいいはずだ」

「そっか……そうね」

イイダが一度足を止め、重そうな鞄を背負い直す。金属が何かにぶつかったような、カシャンという音が小さく鳴った。再び歩き出す。

「それにしても、ミズタがこんなにあっさりOKしてくれるなんて思わなかったな」

「写真を?」

イイダが可笑しそうにくすくすと声を漏らす。

「ワタシね、ミズタは絶対にものすごく渋ると思って、説得するためのプランを何パターンも準備してシミュレーションしてきてたの。なのにすぐ『わかった』って言われて、びっくりして頭の中が一瞬真っ白になっちゃった」

どうやらイイダは苛烈極まる舌戦の果てに、ボクの承諾を得るつもりでいたらしい。さっきやけに鬼気迫っていたのはそのせいか。思わず溜息が出た。

「本気すぎるだろ。そこまでするか?」

「だって、今まで何回頼んでもぜんっぜん撮らせてくれなかったじゃない。理由を訊いても教えてくれないし」

そんなに言われるほど頼まれた覚えはない。せいぜい年に二、三回とかだろ。なら、全部合わせても二十回かそこらだ。思ったより多かった。

「えーと……まあ、それもそうだな」

誠実さとは無縁なほうだけど、さすがに少し罪悪感が湧く。

スケルトーンがあなたの未来を映し出す

12スケルトーン占い

群れるラングエンド

楽しいことも苦しいことも、仲間と時間を共有することで自分のあり方を強く認識できるとき。自分を犠牲にすることなく、振り回されることもなく、意見をしっかり伝えることが調和の鍵。最初は難しくても、少しずつ自分のペースでやれば大丈夫。

仲間と一緒に
時間を分かち合い
朝日に向かって出航する

★ラッキーアイテム
はこアイス

行進するアンダンテ

「あれはいい」、「これはダメ」というジャッジはいったんストップ。夜空に輝く星を眺めるように、ちょっと引いた場所からじっくりと物事の本質を観察すれば、きっと新しい発見があるはず。ずっと頭を悩ませていた「嫌い」が「好き」に変わるかも。

周囲に広がるのは星の海
寄り道を楽しみながら
自分だけの宝物を集める

★ラッキーアイテム
食べ歩きスイーツ

撒き散らすカプリチョーソ

楽しいこと、気持ちが塞ぎ込むこと、すべては自分の捉え方次第。頭の中が思考でぐるぐるしているときは、紙に書き出して情報を整理してみよう。あなたの繊細さを理解できるのはあなただけ。自分の感覚を取り戻せば、きっと周囲も光り輝いていく。

やわらかく降り注ぐ雨が
大切な生命を育み
大空に虹の橋を架ける

★ラッキーアイテム
ナゾのひもの

疾走するアラマンボ

元気があり余っているとき。動かないのはもったいない！ 待っているだけでは状況は何も変わらないので、あらゆるものに興味を持ってどんどん行動をしていこう。たとえ間違えたとしても、そこから学び取れば大丈夫。パワーチャージも忘れずに。

周囲を虜にするスポーツカー
気になることを
楽しみながらやればいい

★ラッキーアイテム
シリアル

噴出するトリオンファーレ

好きなことにじっくりと集中して取り組めるタイミング。スキルアップを目指して、新しい分野にどんどんチャレンジしてみよう。ただ、蓄積したダメージを見て見ぬふりしたり、人からのアドバイスを拒絶したりするのは遠回りになるのでご注意を。

無からあらゆるものを
生み出す魔術師
魔導書のページをめくる

★ラッキーアイテム
絵本

産み出すアッコルド

あなたは生み出す能力に長けたクリエイター。仕事も勉強も家事だって、あなたの手にかかればどんなものも美しい創造物。あなたはそんな力に気づいている？ 宝物のような素敵な能力をどんどん見つけて、瓶にしまうように大事にしよう。

朝もやが立ち込める湖で
羽根を休める水鳥
美しい波紋がそっと広がる

★ラッキーアイテム
びんイクラ

占い／海星ヒトデ
あらゆる不思議を解明したいと世界中を旅している占い師。モンガラキャンプ場で焚き火をしながら星空を眺めるのが好き。

イラスト／高橋きの
イラストレーター・マンガ描き。ゆるゆるしたテイストの、4コマやグッズのイラストを描いている。イカ世界の散歩好き。

制圧するグラーヴェ

くすぶっている気持ちを解放するように完全燃焼させよう。いままでやりたくてもできなかったことや、あえて敬遠していたことにぶつかってみるチャンス。手探りで霧の中を進んでいくようでも、あなたの後にはしっかりと道ができている。

好奇心が羅針盤
まだ見ぬ土地を旅する
自由気ままな旅人

★ラッキーアイテム
ヘルメット

ポータル

あなたは周囲を照らす灯台。誰かが困っているときに、そっとやさしく照らしてくれる。みんなはその光に勇気をもらっているけれど、ちょっと待って、あなたは自分のことには少し疎いのかもしれない。自分の足元を照らすことも忘れないで。

春を告げる鳥が鳴き
いつもと変わらない日常が
鮮やかな色彩に変わる

★ラッキーアイテム
ピースの足りないパズル

反射するコラパルテ

目の前に広がるのはあなたのために用意されたダンスフロア。いつまでも殻に閉じこもっていないで、失敗を恐れずに自分を表現してみて。あなたがたくさんの愛を振りまけば、幸せが循環して自分のもとに返ってくる。ただし、頑張りすぎは禁物。

主人公はあなた
無邪気さを忘れずに
くるくるとダンスを踊る

★ラッキーアイテム
ハートモチーフ

伸縮するスピッカート

先導するものが疲れたとき、後ろに回ってほかのものが先頭に立つ。そんな渡り鳥たちのように、あなたは全体を見渡す力に優れ、相手に合わせることができる人。人を心配するのではなく信頼して任せるというスタンスは、ライバルすらも魅了する。

美しい羽根を広げ
気流に乗って
広大な空を旅する渡り鳥

★ラッキーアイテム
なわとび

飛来するアルペジオ

最近、同じことのくり返しでちょっと飽き飽きした日々が続いているのでは？ 状況を打開するために、どこか遠くへ足を運んでみよう。疎遠になった人に連絡を取ってみるのもアリ。いま動かなかったらずっと変わらない。必要なのは勇気と行動力。

羽化を始めた蝶々
自分の羽根で飛び立ち
新しい世界に飛び込む

★ラッキーアイテム
手みやげ

そびえ立つノビルメンテ

ひたむきに頑張っているあなた。気づけば高い塔の上にいるように、積み重ねたものはあなたの財産。手にあるツールを巧みに使って自分を表現しよう。過去の栄光や評価に執着するとスピードダウンするので気長に。弱さを見せるのは強さの証。

雲より高い塔の番人
思いを重ねたぶんだけ
豊かさを手にする

★ラッキーアイテム
パンケーキ（山もり）

バンカラウォーカー バイ スプラトゥーン3

2024年12月11日　初版発行

編集	ファミ通書籍編集部
発行者	豊島秀介
編集人	鈴木規康
発行	株式会社KADOKAWA Game Linkage 〒112-8530　東京都文京区関口1-20-10　住友不動産江戸川橋駅前ビル 電話：0570-000-664（ナビダイヤル） https://kadokawagamelinkage.jp/
発売	株式会社KADOKAWA 〒102-8177　東京都千代田区富士見2-13-3 https://www.kadokawa.co.jp/
印刷所	TOPPANクロレ株式会社

編集長代理	藤野 豊
編集	小川紗恵子
構成・執筆	天野歩美
執筆	任天堂株式会社
装丁・本文デザイン	一関麻衣子
制作協力	髙橋きの/CARTA graphics Inc./TITANHEADS/千葉久子
協力・監修	任天堂株式会社

定価はカバーに表示してあります。
ISBN978-4-04-733753-4 C0076
Printed in Japan

●お問い合わせ
［フォーム］ https://kadokawagamelinkage.jp/
（「お問い合わせ」へお進みください）

※内容によっては、お答えできない場合があります。
※サポートは日本国内のみとさせていただきます。
※Japanese text only

※本書の内容に関する電話でのお問い合わせは、一切受け付けておりません。
また、攻略方法についてはお答えできません。ご了承ください。

ネリバースのすべてがわかる！

ネリバース
公式さんぽブック

カラーパレットで奏でる劇的シンコペーション
コダコに聞いた、100問100答
インクパチパチ VS インクネバネバ

重版決定

新種登場
最強デッキで
Let's
カードバトル!!

バンカラウォーカー バイ スプラトゥーン 3